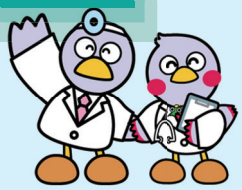
彩の国
埼玉県

埼玉県
臨床研修病院
ガイドブック
2020



埼玉県のマスコット
「コバトン」「さいたまっち」

伸びゆく埼玉県

埼玉県は首都圏の中央に位置し、東北・関越・圏央道をはじめとした６つの高速道路や、東北・上越など６つの新幹線により東日本の主要都市と結ばれるなど、全国屈指の交通の要衝です。また、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックでは県内４会場で５競技が行われ、世界中のみなさんが埼玉県に起こしになります。

都市の賑わいと、ゆとりある自然の魅力を併せ持つ埼玉県は、医学の研鑽の場としても、生活の場としても、とても魅力あふれる県です。

高度医療を提供する、魅力ある医療機関

埼玉県内には、現在 342 の病院があります。（平成 31 年４月１日現在）

このガイドブックで紹介する臨床研修病院をはじめ、各地域ごとに、救命救急センター、周産期母子医療センター、地域医療支援病院、災害拠点病院など高度医療を提供する中核的な医療機関が整備されています。

「埼玉県総合医局機構」が医師をバックアップ

埼玉県では、埼玉県医師会、県内医療機関、大学などとともに「埼玉県総合医局機構」を創設し、医師の確保・派遣と、キャリアステージに応じた医師支援に取り組んでいます。

また、さいたま新都心にある「埼玉県総合医局機構　地域医療教育センター」では、高機能のシミュレータ機器などを備えた高度な教育・研修環境を医療従事者の皆さまに提供するとともに、各種教育研修会を開催しています。

埼玉県の臨床研修は人気上昇中

県内の臨床研修病院のマッチング者数は７年連続で過去最高を更新するなど、埼玉県の臨床研修は人気上昇中です。多くの先輩が選んでいる埼玉県で、医師としての第一歩を踏み出してみませんか。

表紙（写真提供：埼玉県観光課）
左上：時の鐘、秩父夜祭
右下：羊山公園の芝桜、長瀞岩畳

INDEX 埼玉県臨床研修病院ガイドブック2020

埼玉県総合医局機構～KOBATON.med～ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

基幹型臨床研修病院（保健医療圏別）

【南部保健医療圏】
1 川口市立医療センター ・・・・・・・・・・・・・・ 5
2 済生会川口総合病院 ・・・・・・・・・・・・・・・ 7
3 埼玉協同病院 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
4 戸田中央総合病院 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

【南西部保健医療圏】
5 TMGあさか医療センター ・・・・・・・・・・・・・ 13
6 国立病院機構　埼玉病院 ・・・・・・・・・・・・・ 15
7 新座志木中央総合病院 ・・・・・・・・・・・・・・ 17

【東部保健医療圏】
8 春日部市立医療センター ・・・・・・・・・・・・・ 19
9 秀和総合病院 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
10 春日部中央総合病院 ・・・・・・・・・・・・・・・ 23
11 越谷市立病院 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
12 草加市立病院 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
13 みさと健和病院 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
14 三郷中央総合病院 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

【さいたま保健医療圏】
15 埼玉メディカルセンター ・・・・・・・・・・・・・ 33
16 さいたま市立病院 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
17 さいたま赤十字病院 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
18 彩の国東大宮メディカルセンター ・・・・・・・・・ 39
19 さいたま市民医療センター ・・・・・・・・・・・・ 41

【県央保健医療圏】
20 上尾中央総合病院 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43

【川越比企保健医療圏】
21 小川赤十字病院 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
22 関越病院 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47

【西部保健医療圏】
23 国立病院機構　西埼玉中央病院 ・・・・・・・・・・ 49
24 埼玉石心会病院 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51

【利根保健医療圏】
25 行田総合病院 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53
26 羽生総合病院 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55
27 済生会栗橋病院 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57
28 新久喜総合病院 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59

【北部保健医療圏】
29 熊谷総合病院 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
30 深谷赤十字病院 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63

大学病院

【東部保健医療圏】
31 獨協医科大学埼玉医療センター ・・・・・・・・・・ 65

【さいたま保健医療圏】
32 自治医科大学附属さいたま医療センター ・・・・・・ 67

【県央保健医療圏】
33 北里大学メディカルセンター ・・・・・・・・・・・・ 69

【川越比企保健医療圏】
34 埼玉医科大学病院 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71
35 埼玉医科大学総合医療センター ・・・・・・・・・・ 73

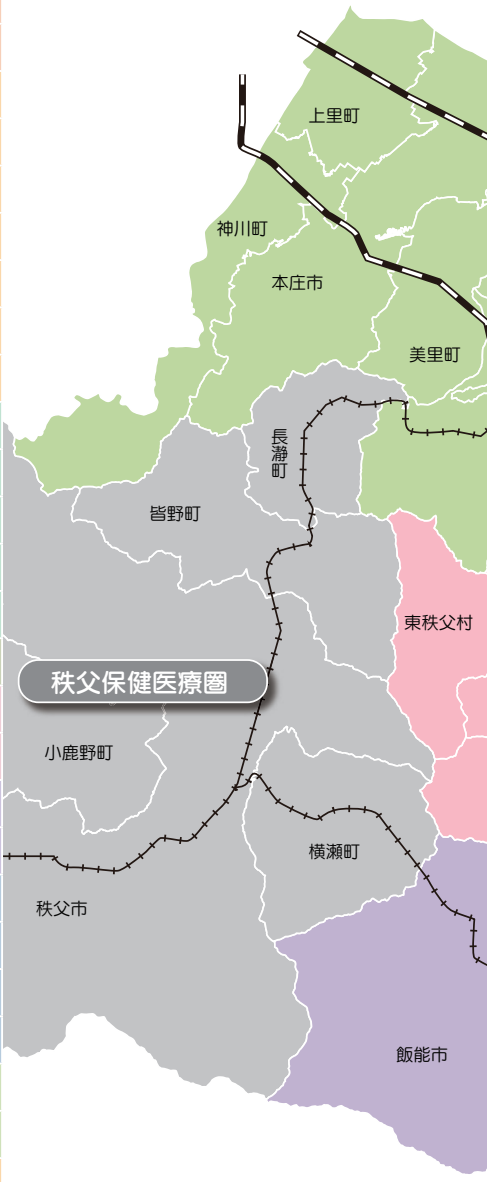
【西部保健医療圏】
36 埼玉医科大学国際医療センター ・・・・・・・・・・ 75

その他の臨床研修病院

【西部保健医療圏】
防衛医科大学校病院

※このガイドブックは、主として医学生の方に埼玉県内の臨床研修病院（防衛医科大学校病院を除く。）を紹介するため、各病院から提供のあった情報を基に作成したものです。
※このガイドブックの「病院の概要」にある指導医とは、厚生労働省「医師の臨床研修に係る指導医講習会の開催指針」に基づく講習会を修了した者です。
※各病院ページの「卒後臨床研修評価機構認定病院」については、令和2年3月末時点の認定状況を掲載しています。

病院名	〒	所在地
① 川口市立医療センター	333-0833	川口市西新井宿 180
② 済生会川口総合病院	332-8558	川口市西川口 5-11-5
③ 埼玉協同病院	333-0831	川口市木曽呂 1317
④ 戸田中央総合病院	335-0023	戸田市本町 1-19-3
⑤ TMG あさか医療センター	351-0023	朝霞市溝沼 1340-1
⑥ 国立病院機構 埼玉病院	351-0102	和光市諏訪 2-1
⑦ 新座志木中央総合病院	352-0001	新座市東北 1-7-2
⑧ 春日部市立医療センター	344-8588	春日部市中央 6-7-1
⑨ 秀和総合病院	344-0035	春日部市谷原新田 1200
⑩ 春日部中央総合病院	344-0063	春日部市緑町 5-9-4
⑪ 越谷市立病院	343-8577	越谷市東越谷 10-47-1
⑫ 草加市立病院	340-8560	草加市草加 2-21-1
⑬ みさと健和病院	341-8555	三郷市鷹野 4-494-1
⑭ 三郷中央総合病院	341-8526	三郷市中央 4-5-1
⑮ 埼玉メディカルセンター	330-0074	さいたま市浦和区北浦和 4-9-3
⑯ さいたま市立病院	336-8522	さいたま市緑区三室 2460
⑰ さいたま赤十字病院	330-8553	さいたま市中央区新都心 1-5
⑱ 彩の国東大宮メディカルセンター	331-8577	さいたま市北区土呂町 1522
⑲ さいたま市民医療センター	331-0054	さいたま市西区島根 299-1
⑳ 上尾中央総合病院	362-8588	上尾市柏座 1-10-10
㉑ 小川赤十字病院	355-0397	比企郡小川町大字小川 1525
㉒ 関越病院	350-2213	鶴ヶ島市脚折 145-1
㉓ 国立病院機構 西埼玉中央病院	359-1151	所沢市若狭 2-1671
㉔ 埼玉石心会病院	350-1305	狭山市入間川 2-37-20
㉕ 行田総合病院	361-0056	行田市持田 376
㉖ 羽生総合病院	348-8505	羽生市下岩瀬 446
㉗ 済生会栗橋病院	349-1105	久喜市小右衛門 714-6
㉘ 新久喜総合病院	346-8530	久喜市上早見 418-1
㉙ 熊谷総合病院	360-8567	熊谷市中西 4-5-1
㉚ 深谷赤十字病院	366-0052	深谷市上柴町西 5-8-1
㉛ 獨協医科大学埼玉医療センター	343-8555	越谷市南越谷 2-1-50
㉜ 自治医科大学附属さいたま医療センター	330-8503	さいたま市大宮区天沼町 1-847
㉝ 北里大学メディカルセンター	364-8501	北本市荒井 6-100
㉞ 埼玉医科大学病院	350-0495	入間郡毛呂山町毛呂本郷 38
㉟ 埼玉医科大学総合医療センター	350-8550	川越市鴨田 1981
㊱ 埼玉医科大学国際医療センター	350-1298	日高市山根 1397-1
● 防衛医科大学校病院	359-8513	所沢市並木 3-2



埼玉県内の臨床研修病院 MAP

埼玉県総合医局機構

平成 25 年 12 月に創設された埼玉県総合医局機構は、「医師の確保・派遣」と「医師の支援」を二本柱として、県医師会や県内の医療機関等と一体となって総合的な取組を行うことにより県内全域の医療水準の向上を目指しています。

「医師の確保・派遣」のための取組

■「臨床・後期研修医研修資金」貸与事業

～産科、小児科、救命救急センターの医師を目指す研修医の皆さんを支援！～

産科、小児科、救命救急センターの医師を目指す方へ資金を貸与 → 埼玉県の病院で医師として勤務 → 貸与された資金の返還が免除！！

	臨床研修医研修資金	後期研修医研修資金
対象者	埼玉県内の臨床研修病院の臨床研修医	埼玉県内の周産期母子医療センター又は救命救急センターにおいて、産科、小児科又は救急医療に係る後期研修を受講している後期研修医
貸与金額	月額 10 万円以内	月額 20 万円以内
貸与期間	2 年以内	3 年以内
返還免除条件	埼玉県内の病院の産科、小児科又は救命救急センターで貸与期間の 1.5 倍勤務すること	

■「交流会」「病院見学会」事業

～埼玉県内での病院勤務に関心のある医学生はどなたでも参加できます！～

医学生と県内医療関係者が交流する機会を提供するため、「埼玉県総合医局機構交流会」を開催しています。交流会には、県内での勤務に関心のある医学生や県内医療機関で勤務する研修医などが参加し、県の医療現場の現状や県内で勤務する魅力などについて意見交換をしています。

また、医学生の皆さんに県内病院の魅力をより深く実感していただくための病院見学会を実施しています。

「医師の支援」のための取組

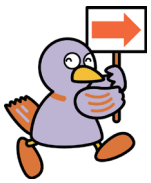
■「女性医師の支援」事業　～埼玉県の女性医師を応援！～

埼玉県女性医師支援センターを運営し、女性医師等が産休や育休から復職する際の相談等に対応しています。

また、短時間勤務等のために代替医師の雇用等を行った病院に経費を助成しています。

埼玉県女性医師支援センター

○**相談窓口**（受付時間　平日９：００～１７：００）
　埼玉県さいたま市浦和区仲町 3-5-1 県民健康センター内
○**電話相談窓口**（受付時間　平日９：００～１７：００）
　TEL：048-815-7115　　FAX：048-815-7175
○**電子メール**　info@saitama-joi.jp



「トップランナー医師育成留学支援」事業 ～海外留学を行う医師の皆さんを支援！～

産科、小児科、救急、総合診療等の診療科における留学を行う方へ補助金を交付 → 海外の病院で臨床または臨床に関する研修の実施 → 埼玉県の病院で医師として勤務

	トップランナー医師育成留学支援事業補助金
対象者	以下の全ての条件を満たす医師 ①臨床研修病院または専門研修基幹施設に勤務する者　②専門医資格取得者 ③県内の地域医療に貢献する意欲のある者　④留学後、埼玉県内の医療機関で勤務できる者
補助金額	最大１年・300万円
補助内容	小児科、産科、救急、総合診療等の診療科における臨床又は臨床に関する研修のための留学（以下の２コースから選択）に対し、渡航費及び研修・滞在費を補助 ①留学先自由選択コース…自身で海外医療機関と調整の上留学先を決定して応募 ②留学先斡旋コース…県が指定するオーストラリアの病院(Princess Alexandra Hospital,Queensland Children's Hospital)の留学を希望する者が応募

地域医療教育センター ～県内の医師のスキルアップをサポートします！～

さいたま新都心にある「地域医療教育センター」は、医療手技トレーニング用の機器を各種取り揃えたシミュレーションセンターです。

埼玉県が事務局を担っており、県内医師のスキルアップを目的として、各種研修会を開催しています。

研修会は、特定の病院や大学に偏らずに、県内勤務の臨床研修医ならどなたでも参加できます。

埼玉県には、やる気さえあれば、臨床研修病院の外でもスキルアップを図ることができる環境があります。

センターが開催する臨床研修医向け研修

医療手技ハンズオンセミナー

超音波検査、ＣＶ穿刺、内視鏡など様々な手技のハンズオンセミナーを定期的に開催しています。

日本救急医学会　ＩＣＬＳ
日本内科学会　ＪＭＥＣＣ

各学会認定ディレクターによるコースを定期的に開催しています。

また、受講者だけでなく、指導者側（アシスタント）も募集しますので、インストラクター資格を目指す方にもオススメです。

産科・小児科・救急科の魅力を学ぶ研修

特に医師が不足している産科・小児科・救急科について、各分野の第一線で活躍している医師を講師に招き、各科の魅力を伝えていただきます。

また、シミュレータを利用して各科の患者対応の模擬体験を行います。

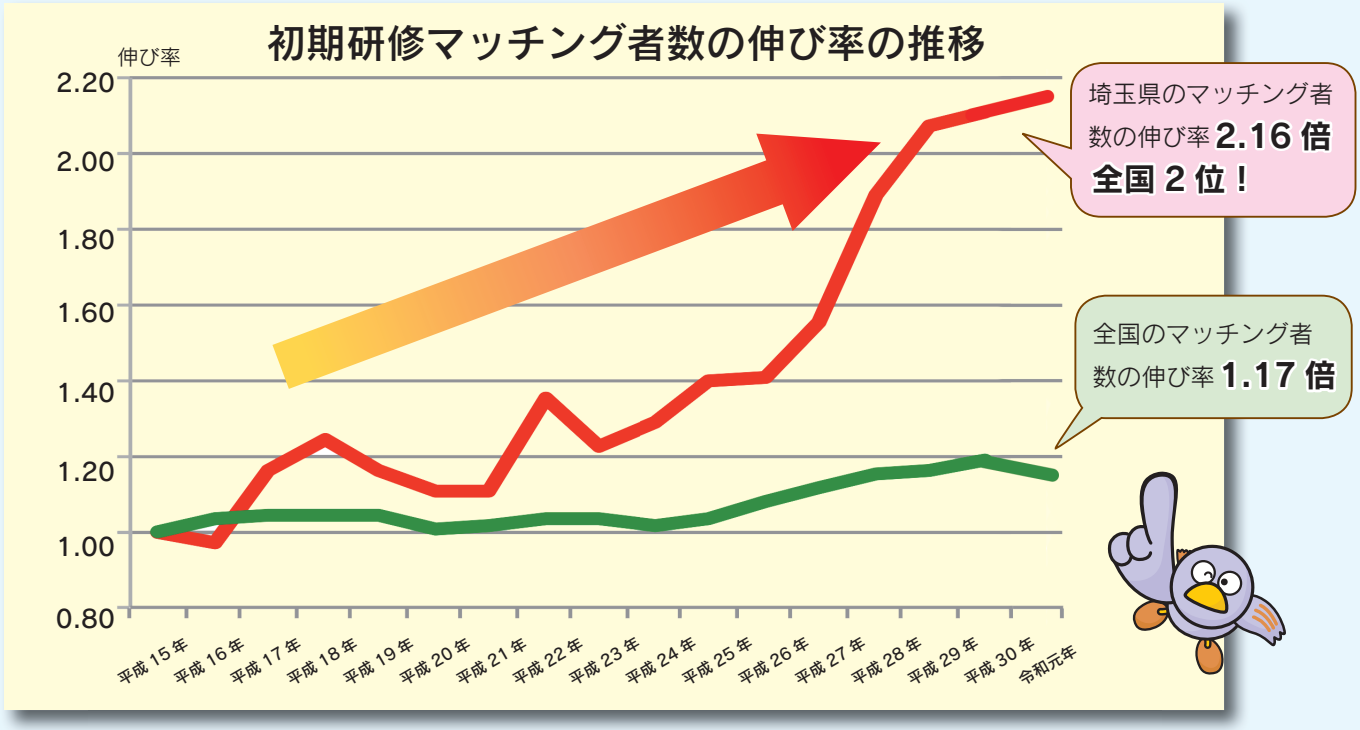
その他のセンター主催研修

- １次救命処置研修（ＢＬＳ）
- 小児２次救命処置研修（ＰＡＬＳ）
- 在宅医療研修
- 母体救命研修（Ｊ－ＣＩＭＥＬＳ）
- 医療安全研修（チームＳＴＥＰＰＳ）
- 感染管理研修
- 急変患者対応シミュレーション研修
- 小児救命処置研修（ＰＥＡＲＳ）

埼玉県での臨床研修

埼玉県内の臨床研修病院のマッチング者数は７年連続で過去最高を更新しています。平成 15 年度の臨床研修制度開始から令和元年度までのマッチング者数の増加数は、全国の都道府県の中で１位となっており、多くの研修医の皆さんが埼玉県内で活躍しています。

また、埼玉県では、臨床研修病院の研修プログラムの質の向上・改善を図り、質の良い研修医の育成に資することを目的として、全ての臨床研修病院がＮＰＯ法人卒後臨床研修評価機構（ＪＣＥＰ）の認定病院となることを目指しています。

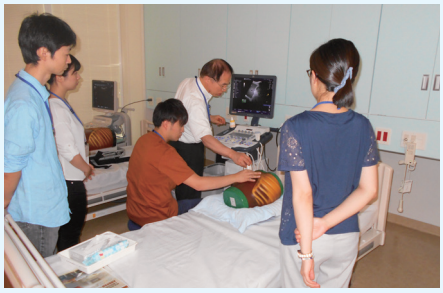


過去５年間のマッチング者数の推移

年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
マッチング者数	255 人	312 人	342 人	348 人	357 人

■ 研修医の皆さんを支援します！

埼玉県総合医局機構では、埼玉県で臨床研修を受ける医師の皆さんを支援する取組を行っています。県内の臨床研修病院に所属する研修医の皆さんを対象とした交流会や、各分野の第一線で活躍する医師による教育研修会の開催をはじめ、専門医へのキャリアアップの支援などの取組を通じ、研修医の皆さんをバックアップします。



（詳しくはこちら）→ http://kobaton-med.jp/

お問い合わせ先
埼玉県総合医局機構（埼玉県医療人材課内）
TEL：**048-601-4600**　E-mail：**a3560-02@pref.saitama.lg.jp**

令和２年度開始専門研修プログラム　県内基幹施設の状況

新たな専門医制度における各診療科の基幹施設の指定状況は表のとおりとなっています。（詳細については、医療機関に確認してください。）

二次医療圏	基幹施設名	臨床研修病院	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理	臨床検査	救急科	形成外科	リハビリ	総合診療科
南部	済生会川口総合病院	●	○	○				○													
	埼玉協同病院	●	○																		○
	川口市立医療センター	●	○	○											○			○			
	戸田中央総合病院	●	○												○	○					
	戸田病院					○															
南西部	TMG あさか医療センター	●													○						
	国立病院機構埼玉病院	●	○	○					○						○					○	○
東部	春日部市立医療センター	●	○																		
	獨協医科大学埼玉医療センター	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○
	みさと健和病院	●	○																		○
	草加市立病院	●	○												○						
	順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院					○															
	南埼玉病院					○															
さいたま	自治医科大学附属さいたま医療センター	●	○	○	○		○		○	○	○			○	○	○		○			○
	さいたま市立病院	●	○	○			○								○						
	彩の国東大宮メディカルセンター	●	○																		○
	さいたま赤十字病院	●	○				○		○	○					○			○			
	浦和神経サナトリウム					○															
	大宮厚生病院					○															
	さいたま北部医療センター																				○
	さいたま市民医療センター	●		○																	○
	埼玉県立小児医療センター			○																	
	埼玉メディカルセンター	●	○					○											○		
県央	上尾中央総合病院	●	○				○	○			○				○						○
	北里大学メディカルセンター	●	○					○				○			○						
	埼玉県立精神医療センター					○															
	済生会鴻巣病院					○															
川越比企	埼玉医科大学総合医療センター	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○		○	○		
	関越病院	●																			○
	埼玉医科大学病院	●	○	○	○	○		○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○
西部	埼玉石心会病院	●	○																		○
	埼玉医科大学国際医療センター	●	○				○						○	○	○	○		○			
	防衛医科大学校病院	●	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
利根	久喜すずのき病院					○															
	国立病院機構　東埼玉病院																				○
	羽生総合病院	●																			○
北部	熊谷生協病院																				○
	深谷赤十字病院	●	○															○			○
秩父	秩父市立病院																				○

（令和元年８月に提供された日本専門医機構からの情報に基づく）

1 川口市立医療センター

JCEP
Japan Council for Evaluation of Postgraduate Clinical Training
卒後臨床研修評価機構
認定病院

病院の概要

●**医師数(研修医を除く)**　129 名(うち指導医数　67 名)
●**研修医数**　1 年目　12 名　2 年目　11 名
●**研修医の主な出身大学**　日本大学・山梨大学・東邦大学・昭和大学・千葉大学・福岡大学・浜松医科大学・東京女子医科大学・東京医科大学・高知大学・弘前大学・東京慈恵会医科大学・筑波大学・杏林大学
●**診療科**　内科　消化器内科　血液内科　脳神経内科　呼吸器内科　腎臓内科　糖尿病内分泌内科　循環器科　小児科　精神科　外科　消化器外科　乳腺外科　呼吸器外科　小児外科　脳神経外科　整形外科　形成外科　心臓外科　産婦人科　眼科　耳鼻咽喉科　皮膚科　泌尿器科　放射線科　麻酔科　歯科口腔外科　リハビリテーション科　病理診断科
●**1 日平均外来患者数**　1097.5 名　●**1 日平均入院患者数**　468.4 名
●**主な認定施設**　地域医療支援病院、地域周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院(基幹災害医療センター)、病院機能評価認定病院、エイズ診療協力医療機関、災害派遣医療チーム埼玉(DMAT)指定病院

研修プログラムの特色

○各科・各部門にわたる医師として必要基本的な姿勢・態度及び救急処置の初期治療等プライマリ・ケアを中心とした、医療知識・技能を習得するための内容で構成されています。
○ 2020 年のプログラム見直し以前より外科・産婦人科・小児科を必修としており、一般臨床医に必要な緊急時に必要な基本手技の充実を図っています。
○地域医療は同じ埼玉秩父の国保町立小鹿野中央病院にて医療・保健・福祉が一体となった地域包括ケアの実践を学ぶことができます。
○精神科研修は同じ埼玉南部の北辰病院または戸田病院での研修となります。

プログラム　例　川口市立医療センター卒後臨床研修プログラム(総合コース)(募集人数 12 名)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目	内　科							救　急		外　科		小児科
2 年目	産婦人科	救　急	精神科	地域医療	選　択							

研修 1 年目に救急部門 8 週、研修 2 年目に精神科 4 週、地域医療 4 週の研修を行います。

研修医の処遇

給　　与▶ 1 年次 33.92 万円、2 年次 35.3 万円
諸 手 当▶ 通勤手当、時間外手当
保　　険▶ 社会保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
勤務時間▶ 8 時 30 分～ 17 時 15 分
当　　直▶ あり(4 回 / 月)
休　　暇▶ 2 日 / 週、有給休暇、夏季休暇
宿　　舎▶ あり(使用者負担 2 万円 / 月)

主な臨床研修協力病院 協力施設

【協力型臨床研修病院】
・医療法人秀峰会北辰病院
・医療法人髙仁会戸田病院
【研修協力施設】
・医療法人刀水会齋藤記念病院
・医療法人健寿会北條胃腸科外科
・医療法人時任会ときとうクリニック
・国保町立小鹿野中央病院
・川口市高齢者総合福祉センター「サンテピア」
・本町診療所　・安行診療所

当院の魅力

プライマリ・ケアから高度専門医療まで！

当センターは昭和 22 年に開設され、平成 6 年 5 月に川口駅前から現在の場所に移転し、その名称も川口市民病院から川口市立医療センターに変更されました。 同時に救命救急、周産期および画像診断の各センターを設置し、専門医が中心となり各医療スタッフが一丸になって高度医療の充実に寄与しています。 診療科数 29 科 539 床を有し、平成 30 年 4 月から地域医療支援病院となるなど、地域の基幹病院としてプライマリ・ケアから高度専門医療まで広範な医療を展開しています。日本医療評価機構の認定施設であり、さらにエイズ診療協力医療機関及び基幹災害医療センターにも県より指定されています。

研修責任者から message

研修責任者・院長
國本　聡

初期研修を受ける施設として「豊富な症例、安心して働き学べる環境、厳しい指導医」が条件でしょう。

当院は 1 日の外来患者数約 1100 名、入院患者数は約 500 名であり、全くの初診の一次患者から、救命救急センターでの治療を必要とする三次の患者まで幅広い症例を扱っています。

また、地域周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院 災害拠点病院（基幹災害医療センター）も擁していることからも、症例の豊富さは折り紙つきです。

指導医は数が豊富なだけでなく極めて教育熱心であり、研修医のバックアップにも上級医が必ずついています。

自主的かつ積極的に貪欲に学びたい若き国手にとっては、単なる臨床的な知識や技術の獲得のみならず、人間形成にも役立つすばらしい 2 年間が過ごせると確信しています。

先輩研修医から message

研修医 2 年目
石田　竜之

初期研修は一般病院で研修したいと考え、小児科、産婦人科を含め多くの科が揃っていること、３次救急があること、研修医の数が多すぎないことを条件に川口市立医療センターを選びました。

実際に研修してみると研修医が経験できる手技や症例が多く、２年間でどんどん成長できると思いました。また毎年様々な大学出身の研修医が集まっており、かけがえない仲間や先輩、後輩ができました。さらに熱心な指導医の先生がとても多く、相談もしやすいため、勉強になる機会が多い恵まれた環境です。

初期研修の病院を選ぶのは難しいですが、実際に見学に行ってみて研修医が生き生きと働いているかが一番大事だと思います。ぜひ当院に見学に来てみてください。

女性医師支援コーナー

- 院内保育所の設置（時間外保育も対応）
- 妊娠中、育児中の当直勤務免除あり
- 育児短時間勤務も可能

連絡先　**川口市立医療センター**

病院総務課職員係人事担当

〒 333-0833　川口市西新井宿１８０

TEL 048-287-2525（代表）　FAX 048-280-1566
E-mail 170.01005@city.kawaguchi.saitama.jp
URL http://kawaguchi-mmc.org/
アクセス 埼玉高速鉄道線　新井宿駅から徒歩７分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●**病院見学を随時受け付けしています。**
下記必要項目を明記の上、左記アドレスにメールにてお申し込み下さい。

【必要項目】
- 氏名
- 大学名
- 連絡先
- 見学希望日・見学希望診療科（１～２科程度、必ず明記下さい）
- 緊急連絡先（携帯電話の番号等）
- レジナビフェアでのブース説明を受けたことの有無
- 当院での病院見学経験の有無（初めてか、2回目以降かでお答え下さい。）

2 済生会 川口総合病院

JCEP
Japan Council for Evaluation of Postgraduate Clinical Training
卒後臨床研修評価機構
認定病院

病院の概要

●**医師数（研修医を除く）** 115 名（うち指導医数　47 名）
●**研修医数**　1 年目　11 名　2 年目　12 名
●**研修医の主な出身大学**　愛知医科大学・秋田大学・旭川医科大学・岩手医科大学・金沢大学・北里大学・岐阜大学・杏林大学・群馬大学・高知大学・埼玉医科大学・佐賀大学・産業医科大学・滋賀医科大学・島根大学・順天堂大学・昭和大学・信州大学・聖マリアンナ医科大学・千葉大学・筑波大学・帝京大学・東海大学・東京医科大学・東京医科歯科大学・東京慈恵会医科大学・東京女子医科大学・東邦大学・東北大学・獨協医科大学・鳥取大学・名古屋市立大学・新潟大学・日本大学・日本医科大学・浜松医科大学・福井大学・福島県立医科大学・北海道大学・三重大学・宮崎大学・山形大学・山梨大学・琉球大学（五十音順）
●**診療科**　内科　循環器内科　消化器内科　呼吸器内科　腎臓内科　糖尿病・内分泌内科　神経内科　腫瘍内科　放射線科　外科　整形外科　脳神経外科　泌尿器科　産婦人科　血管外科　呼吸器外科　眼科　耳鼻咽喉科　皮膚科　麻酔科　小児科　精神科　リハビリテーション科　病理診断科　臨床検査科
●**1 日平均外来患者数**　1265 名　●**1 日平均入院患者数**　368.1 名
●**主な認定施設**　地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院、日本医療機能評価機構認定病院、卒後臨床研修評価機構認定病院、ＩＳＯ 9001：2008 認定　等

研修プログラムの特色

当院は 424 床の総合病院で、救急車受入台数は約 4,500 台となっています。当直においては内科系・外科系・循環器内科・ICU・小児科・産婦人科の 6 科体制となっています。救急外来でのファーストタッチは研修医が行うので、様々な症例（特に脳神経領域）を経験する事が可能です。また、地域医療研修に関しては救急車同乗研修や岩手県にある済生会岩泉病院での研修もできます。選択科は 36 週設定されており、年度内での選択科変更も可能となっています。1 学年 12 名という過不足ない人数且つ、指導医数 50 余名の中で時間に追われる事なく豊富な症例経験が可能です。
※ 2020 年 4 月 1 日からプログラムに変更が生じます。

プログラム　例　済生会川口総合病院臨床研修プログラム（募集定員 12 人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目	内　科						外　科		麻酔科		産婦人科	救　急
2 年目	小児科		救　急	地域医療	精神科	選択科、一般外来						

○必修科目 64 週：内科 24 週（消化器内科・循環器内科各 8 週のほか、腎臓内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科から 8 週選択）、救急 8 週（救急外来での 8 週の研修の他に、日当直業務および各診療科ローテート時の救急当番での研修を加えて、合計 12 週の研修とします。）、地域医療 4 週、外科 8 週、小児科 8 週、産婦人科 4 週、精神科 4 週、一般外来 4 週
○病院必修：麻酔科 8 週
○選択科目 36 週：上記「病院の概要」の診療科目のほか、保健・医療行政から選択。ただし、精神科を選択した場合は、協力病院である順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院若しくは埼玉県済生会鴻巣病院での研修となります。※ 2020 年 4 月 1 日からのプログラムとなります。

研修医の処遇

給　与	1 年目：36 万円 / 月、2 年目：40 万円 / 月　（※医師手当含）
諸 手 当	（準）夜勤手当、住宅手当、通勤手当
保　険	健康保険、厚生年金保険、雇用保険あり
勤務時間	労働基準法に準ずる
当　直	あり（4 回 / 月）
休　暇	2 日 / 週、夏季休暇、年次有給休暇
宿　舎	あり（世帯用も用意）
そ の 他	賞与 1 年目：10 万円 / 年 2 年目：20 万円 / 年 健康診断 2 回 / 年、ワクチン接種

主な臨床研修協力病院 協力施設

・川口市消防局
・地域診療所
・訪問看護ステーションきゅうぼら
・順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院
・埼玉県済生会鴻巣病院
・岩手県済生会岩泉病院
・川口市保健所
・済生会特別養護老人ホーム彩光苑
※済生会鴻巣病院は 2020 年 4 月 1 日からのプログラムとなります。

当院の魅力

～基本的診療能力と医師としてのプロ意識を培う～

1 週間スケジュール （ 研修料：呼吸器内科 ）

曜日	～ 8:45	8:45 ～	12:00 ～	13:00 ～	17:00 ～	夜勤等
月曜日		病棟	昼食	腹部エコー	カンファレンス	
火曜日		病棟	昼食	気管支鏡検査		
水曜日	院内勉強会					有り
木曜日	休み					
金曜日		病棟	昼食	腹部エコー	カンファレンス	
土曜日	休み					
日曜日						有り

※あくまでも一例である事を予めご承知おき願います。

1 日スケジュール (研修料：循環器内科)

時間	内容
08:15 ～ 08:45	カンファレンス
08:45 ～ 12:00	病棟業務・カテーテル検査等
12:00 ～ 13:00	昼食
13:00 ～ 17:00	病棟業務・緊急入院対応等
17:00 ～ 19:00	緊急入院対応･医局会等(月３～４回)

研修責任者から message

プログラム責任者、
救急・総合内科主任部長
笠井　英裕

当院は、荒川をはさんで東京都と接する埼玉県川口市に位置する病院です。そして、地域中核型の急性期病変としての使命を果たしています。医療の質向上への終わりなき挑戦を日々続け、次世代に継承しうる病院創りを確実に進めています。本館の改築と ICU14 床の開設により、救急と周産期部門が充実しました。また、東館のオープンにより、健診、透析、リハビリ部門が拡充されました。常勤医 115 名中 47 名が厚生労働省の指針による講習会を受講した指導医で、十分な指導体制が確保され医療人育成強化を推進しています。当院での患者中心の医療を経験することにより、優れた技術、メディカルスタッフとのチーム医療、患者との信頼関係、プロ意識等を体験し、臨床研修の 2 年間で、プライマリ・ケアを中心とした医師として最低必要な態度、知識、技術を体得できるよう研鑽を積んでください。研修医個々人の立てた目標に向けた取り組みを継続的に支援し、できる限りの協力をおしみません。

先輩研修医から message

済生会川口総合病院での研修について、当院研修医に聞きました！

第 16 期研修医　初期臨床研修医

- 研修医は都内、地方出身者と色々
- 小児科は NICU 有（小児・産婦志望ならお薦め）
- 自身が望めば色々とやらせてもらえる
- 手技が取り合いにならない
- 指導医が充実
- 先輩研修医が優しい
- 週に１回、座学の機会もある（朝の勉強会）

女性医師支援コーナー

- 産前産後休暇
- 育児休業

連絡先　**済生会川口総合病院**

臨床研修室　　久木田　篤史

〒 332-8558　　川口市西川口 5-11-5

TEL 048-253-1551（代表）　FAX 048-256-5703
E-mail kensyu @ saiseikai.gr.jp
URL http://www.saiseikai/gr.jp
アクセス ＪＲ京浜東北線西川口駅から徒歩 10 分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

● 病院見学を随時受け付けしています。（申し込みは、当院 HP より）

3 医療生協さいたま生活協同組合 埼玉協同病院

JCEP Japan Council for Evaluation of Postgraduate Clinical Training
卒後臨床研修評価機構 認定病院

病院の概要

●**医師数（研修医を除く）**70 名（うち指導医数　45 名）
●**研修医数**　1 年目　8 名　2 年目　7 名
●**研修医の主な出身大学**　筑波大学・秋田大学・日本大学・帝京大学・順天堂大学・旭川医科大学・群馬大学・東京女子医科大学・岐阜大学・福島県立医科大学・山形大学・聖マリアンナ医科大学・北里大学
●**診療科**　内科　循環器内科　呼吸器内科　消化器内科　緩和ケア内科　神経内科小児科　外科　呼吸器外科　消化器外科　乳腺外科　整形外科　脳神経外科　産婦人科　泌尿器科　皮膚科　眼科　耳鼻咽喉科　精神科　放射線科　麻酔科　リハビリテーション科　病理診断科　リウマチ科　臨床検査科　腎臓内科　血液内科　糖尿病内科　救急科　泌尿器科（人工透析）　緩和ケア科
●**1 日平均外来患者数**　985 名
●**1 日平均入院患者数**　293 名
●**主な認定施設**　埼玉県がん診療指定病院、日本医療機能評価機構認定病院、日本消化器病学会認定施設、日本糖尿病学会認定教育施設、日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設　他

研修プログラムの特色

初期研修は、まず基本的に総合内科で４ヵ月間一貫した指導を受け、その後内科、救急（麻酔科含む）、外科、小児科、産婦人科、地域医療等の研修を行います。指導の体制は、屋根瓦方式をとっており、指導医の下、２～６年目の医師が日常的な相談にのり研修を行っています。さらに、看護師、医療相談員（ＳＷ）などのメディカルスタッフと一緒にカンファレンスをすることで患者さんに寄り添った医療を行う姿勢を身に付けます。

プログラム　例　埼玉協同病院初期総合臨床研修プログラム（募集定員 8 人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目	総合内科				内科		救急・麻酔			外科		産婦人科
2 年目	内科		地域医療		小児科		精神科	救急、地域医療、外科、小児科、産婦人科、整形外科				

○必修項目・病院が定める必修項目　内科（32 週）、救急（12 週：麻酔科での 4 週間の研修を加えて合計 12 週の研修とします）、地域医療（8 週）、外科（8 週）、小児科（8 週）、産婦人科（4 週）、精神科（4 週）、一般外来（並行研修）
○選択（28 週）　内科、救急科、地域医療、外科、小児科、産婦人科、精神科、整形外科、皮膚科、麻酔科

研修医の処遇

給　与	1 年次：35.8 万円 / 月、2 年次：39.8 万円 / 月　賞与年 2 回（2019 年度実績 3.4 ヶ月）
諸 手 当	住宅手当、家族手当、当日直手当、年末年始勤務手当
保　険	社会保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険、医師賠償責任保険（病院において加入）
勤務時間	平日 8 時 30 分～ 17 時、土曜 8 時 30 分～ 13 時
当　直	あり（4 回程度 / 月）
休　暇	4 週 6 休、夏期休暇、年末年始休暇、特別休暇（結婚、忌引きなど）、有給休暇（1 年次：10 日、2 年次：12 日）
宿　舎	なし（住宅手当【月額 5 万円まで支給】）
そ の 他	常勤採用　学会・研修会参加補助　院内保育所（病児保育）あり　健康診断 2 回 / 年、ワクチン接種

主な臨床研修協力病院 協力施設

・熊谷生協病院
・秩父生協病院
・埼玉西協同病院
・浦和民主診療所
・大井協同診療所
・川口診療所
・さいわい診療所

当院の魅力

KyoudoPRIDE

埼玉県の南部地域において、地域医療に力を注ぎ、地域の方たちとの保健予防活動、救急医療（2018 年救急車搬入台数 4,240 台）、慢性疾患医療、リハビリ、在宅医療まで一貫した総合的医療を患者さんの立場にたって実践しています。診療圏は川口市、戸田市、蕨市、さいたま市を中心とした急性期医療を担う中核病院です。当院では、内科を中心に救急、小児科、麻酔科、外科、産婦人科、精神科、選択 4 ヵ月のローテーション研修を行い、総合的な力量を身につけます。地域に密着した診療所（法人内）での地域医療も含め、プライマリ・ケアをしっかり学べます。また、疾病だけでなく、患者の生活背景や労働環境の問題にも目を向けた医療を行う医師養成を目指しています。初期研修では、基本的に総合内科病棟から研修を開始し、基本的な診療スタイルを最初の 4 ヵ月で身に付けます。バラエティに富んだ症例を経験し、症候から病気を捉えることができるようになります。また、高齢者は複数の疾患を持っていることが多く、総合的に診ることが必要です。主体的に治療を行うことで、基本的臨床能力を身に付けます。当院の医局は、一つの部屋にすべての診療科が集まった総合医局です。そのため、診療科間の敷居が低く、研修医も各診療科へのコンサルテーションがしやすく、出身大学も様々で、医局全体で研修医を育てる雰囲気に満ちています。

研修責任者から message

研修管理委員長（病院長）
増田　剛

医師人生にとって初めの 2 年間をどのように過ごすかはとても大切です。知識や技能の習得は勿論ですが、医師として相応しい基本的な態度や姿勢を学び身に付けることが重要だと私たちは考えています。単に病気を診るのではなく人間を診るということ、社会的背景にしっかり対応すること、常に学習を怠らず謙虚に学び続けることなど、医師人生の土台をこの 2 年間で創っていただきます。

当院は開院以来、全職種と地域住民の協力で地域で役に立つ臨床医を育ててまいりました。2011 年に教育研修センター（ＳＫＹＭＥＴ）を立ち上げ、生涯研修を見据えた全職種のための教育研修部門として、講演会や研修会を運営しています。初期研修から後期研修、その後の資格獲得やスキルアップなど、個々の医師のライフサイクルに合わせた援助が出来ると考えています。

熱いハートを持った指導医集団と良きパートナーを育てることに心血を注げるメディカルスタッフ、そしてその活動を地域から支える住民組織が皆さんのお越しを心待ちにしております。

先輩研修医から message

研修医 2 年目
山本　茂輝

研修医が主体的に研修を行うことができる病院だと思います。実際に研修では想像以上に多くの経験をすることができました。1 年目は主に内科病棟を回り、入院後のアセスメントからご家族への病状説明、退院調整までの一連の流れを、看護師・MSW・リハビリ・事務職などメディカルスタッフの方と関わりながら、勉強させて頂きました。また手技も採血、ルート確保から始まり、CV カテーテル留置や腹腔穿刺なども上級医の指導の下で経験でき、医師としての基本を学ぶことができました。

指導医の先生だけでなく、多職種の方々が研修医を育てようとして指導してくれる環境があり、感謝の毎日です。

研修医はそれほど多くはありませんので、一人一人に合わせた指導をしてもらっていると思います。また研修内容に関しても途中で変更したり希望の科をいいタイミングで回らせてもらったりそういった支えも心強いです。ぜひ一緒に働きましょう！

女性医師支援コーナー

当院では常勤医師の約 30%が女性医師であり、その多くの医師が出産・育児をしながら活躍しています。また産婦人科、小児科、皮膚科の各部長は女性医師が担当しております。短時間勤務制度（当直免除）や院内保育所、病児保育にも対応しながら、『誰もが安心して働ける職場』を目指して取り組んでいます。

院内保育所

連絡先　**埼玉協同病院**

教育研修センター 藤元純司

〒 333-0831　川口市木曽呂 1317

TEL 048-296-5822（直通）　FAX 048-296-8247
E-mail skymet@mcp-saitama.or.jp
URL https://www.skymet.jp/
アクセス JR 武蔵野線東浦和駅から徒歩 15 分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学の申込方法
・埼玉協同病院 SKYMET ホームページから見学申し込みフォームにてお申込みください。毎月研修説明会を予定しておりますので、ぜひご参加ください（事前申込み）。

4 医療法人社団東光会 戸田中央医科グループ 戸田中央総合病院

JCEP Japan Council for Evaluation of Postgraduate Clinical Training
卒後臨床研修評価機構 認定病院

病院の概要

●**医師数(研修医を除く)** 110 名(うち指導医数 35 名)
●**研修医数** 1 年目 8 名 2 年目 8 名
●**研修医の主な出身大学** 東京医科大学・東京女子医科大学・順天堂大学・獨協医科大学・埼玉医科大学・昭和大学・金沢医科大学・岩手医科大学・日本大学・福島県立医科大学・愛知医科大学 等
●**診療科** 内科(糖尿病、内分泌) 消化器内科 循環器内科 神経内科 呼吸器内科 腎臓内科 泌尿器科 移植外科 救急科 小児科 外科 消化器外科 呼吸器外科 乳腺外科 整形外科 脳神経外科 眼科 心臓血管外科 形成外科 皮膚科 耳鼻咽喉科 麻酔科 放射線科 緩和医療科 病理診断科、在宅医療部、メンタルヘルス科
●**1 日平均外来患者数** 1154.9 名 ●**1 日平均入院患者数** 425.4 名
●**主な認定施設** 地域がん診療連携拠点病院、日本内科学会認定医制度教育病院、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本小児科学会専門医研修施設、日本整形外科学会専門医研修施設、日本麻酔科学会認定病院 等

研修プログラムの特色

病院理念と特徴に沿った指導体制を基本に、厚生労働省が指定する必修科目(内科系 6 ヶ月・救急 3 ヶ月・外科、小児、産科、精神、地域各 1 ヶ月)に加え、外科系 2 ヶ月・麻酔 1 ヶ月を必修とすることにより研修の到達目標の達成を図り、後期研修への移行が円滑に進む様なプログラムとなっています。

また、募集する研修医数を 8 名とすることで、指導医と研修医が直接的な臨床現場での教育を行っています。

更に、2020 年 4 月に E 館が稼働し、より充実した研修が可能となります。

プログラム 例 戸田中央総合病院初期臨床研修プログラム(募集定員 8 人)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目	内科系						外科系			救急科		
2 年目	産婦人科	精神科	小児科	麻酔科	地域医療	自由選択						

○当院は月単位での研修となります。
内科 6 ヶ月(一般、消化器、循環器、脳神経、腎臓 + 消化器 or 循環器) 外科 3 ヶ月(外科 2 ヶ月 + 外科 or 整形外科) 救急科 3 ヶ月 小児・麻酔・産科・精神・地域各 1 ヶ月 自由選択 7 ヶ月 一般内科・消化器内科・循環器内科・腎臓内科・神経内科・救急科・外科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科・緩和医療科・小児科・眼科・心臓血管外科・皮膚科・耳鼻咽喉科・麻酔科・呼吸器外科・病理診断科・産婦人科(外部研修)・精神科(外部研修)・地域医療(外部研修)

研修医の処遇

給 与 ▶ 1 年次 36 万円 / 月・2 年次 40 万円 / 月
諸 手 当 ▶ 当直手当 等 ※その他当院規程による
保 険 ▶ 組合健康保険、その他各種保険有り
勤務時間 ▶ 9 時～ 17 時 30 分
当 直 ▶ あり 義務当直 (2 回 / 月)・手挙当直 (救急車初療・救急外来・CCU 等)
休 暇 ▶ 土曜午後・日曜・祝日・年末年始・夏季休暇 等
宿 舎 ▶ あり

主な臨床研修協力病院 協力施設

・戸田中央産院(戸田市)
・佐々総合病院(西東京市)
※産婦人科領域
・戸田病院(戸田市)
※精神科領域
・永尾醫院(戸田市)
・辻川ホームクリニック(蕨市)
・熱海所記念病院(熱海市)
※地域医療領域

当院の魅力

戸田中央総合病院の初期研修とは・・・

救急ベッド、ICU、CCU を有し 24 時間体制で救急疾患に対応するだけでなく、地域がん診療連携拠点病院として、がん診療にも積極的に取り組んでおり緩和ケア病棟も有しています。救急件数も約 19.0 件 / 日、約 570 件 / 月で大変忙しい病院ですが、Common　Disease も非常に多く初期研修には大変適した病院です。また、当院では研修医も「一人の医師」として接します。その為、「研修医だから …」という制限を設けず、やる気と知識さえあれば、責任者許可の元、治療計画や手術、検査なども実践できます。更に、腎移植をはじめ県内初のダ・ヴィンチ導入など最先端医療を積極的に取り入れているところも魅力のひとつです。

その他、月 1 回開催する「研修医近況報告会」ではその月に開催された臨床研修委員会で出た各研修医評価のフィードバック、研修医からの意見の収集とその結果報告や研修医が希望した内容の勉強会等を行い研修医との意見交換の場、勉強の場を設けています。

当院は 1 学年 8 名で全国より研修医が集まってきますが、初日から友人だったかのように打解け、指導医や上級医も研修医に気さくに接し、とてもフレンドリーな職場となっています。

研修責任者から message

プログラム責任者（副院長）
田中　彰彦

鉄は熱いうちに打てといいます。臨床研修に望む医師は多くの希望と不安を抱きながら社会人としての一歩を踏み出される事でしょう。

私たち研修病院の使命は、そうした皆さんの情熱を消すことなくきちんとした教育を行い後期研修への礎を築くことにあります。その為には私たち自身が教育するための質の向上を絶えず模索して行かなくてはならないと考えております。研修医と指導医ともに切磋琢磨できる環境を一緒に構築できる研修病院をつくって行きましょう。

先輩研修医から message

研修医 2 年目
佐野　圭

地域密着型の病院であるため Common Disease を多く見ることができると考え、戸田中央総合病院を選びました。症例数も多く、多くの診療科が揃っているということもあり多彩な疾患を経験することができます。プライマリーケアはもちろん、入院患者においては治療方針を主体的に考えることもあるため、やりがいはあると思います。熱心に指導してくださる先生がとても多く、重要な場面では必ず指導医のサポートやアドバイスが入る恵まれた環境です。一般的に市中病院は手技が多いとの印象ですが、たしかに当院も手技をやる機会はかなり多く、1 人 1 人の実力に応じて IVH 挿入からオペレーターまで経験できます。

また、看護師をはじめ他の院内職員の方々にも気軽にアドバイスいただける雰囲気のため、チーム医療が行いやすいのも良い所だと思います。

女性医師支援コーナー

戸田中央総合病院では働く女性の為に国内最大規模の 200 名受入れ可能な保育室を平成 27 年 8 月にリニューアルオープンしました。更に、院内には病児保育施設もあり安心して働くことができる環境作りをしています。

また、院内では常勤医の約 23% にあたる 28 名の女性医師が働いており、1 名の医師が育休を取得中です。

連絡先　**戸田中央総合病院**

医療秘書課 臨床研修担当　遠藤・尾田

〒 335-0023　戸田市本町 1-19-3

TEL 048-442-1111（代表）　FAX 048-433-4076
E-mail rinsyou-kensyu @ chuobyoin.or.jp
URL https://www.chuobyoin.or.jp/
アクセス JR 埼京線戸田公園駅から徒歩４分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学随時募集中

戸田中央総合病院では、病院見学を随時募集しています。

ご希望の方は氏名・大学名（学年）・見学希望日（第三希望まで）・見学希望科（第三希望まで）等を左記メールアドレスまでお送りください。

※詳細は当院ホームページをご参照ください。

5 医療法人社団武蔵野会 戸田中央医科グループ TMGあさか医療センター

病院の概要

- **医師数（研修医を除く）** 75 名（うち指導医数　10 名）
- **研修医数**　1 年目　5 名　2 年目　4 名
- **研修医の主な出身大学**　東北大学・旭川医科大学・近畿大学・藤田保健衛生大学・岩手医科大学・産業医科大学・獨協医科大学・弘前大学・香川大学・東京医科大学・名古屋市立大学・高知大学・京都府立大学・宮崎大学・北里大学・帝京大学
- **診療科**　内科　呼吸器内科　循環器内科　消化器内科　腎臓内科　心療内科　外科　呼吸器外科　消化器外科　小児外科　肛門外科　整形外科　脳神経外科　形成外科　小児科　皮膚科　泌尿器科　婦人科　眼科　耳鼻科　リハビリテーション科　麻酔科　放射線科　精神科　神経内科　救急科　緩和ケア内科　歯科口腔外科　血液内科　糖尿病内科　乳腺外科
- **1 日平均外来患者数**　918 名　**1 日平均入院患者数**　380 名
- **主な認定施設**　埼玉県がん診療指定病院、日本内科学会教育関連施設、日本脳神経外科学会指定訓練施設、日本救急医学会専門医指定施設、日本整形外科学会認定施設、日本外科学会専門医制度修練施設　他

研修プログラムの特色

初期研修プログラムでは、総合診療・救急医療・地域医療を基本とし、総合的臨床能力を有する医師の育成を目的としています。内科・救急部門・地域医療を外科・麻酔科・小児科・産婦人科・精神科を必修としています。研修医の募集定員を 5 名と少人数制にすることで、指導医とマンツーマンでの研修を実現しています。初期救急医療からプライマリーケアを主とした研修をベースに問診・初期治療の実際から適切な判断能力を身につけらます。当院は第二次救急医療機関として地域医療の一端を担っていますので、全科の研修時に第二次救急医療を研修できるのが特徴です。臨床研修医の皆さんが経験を積むには最良の環境だと思います。

また、平成 30 年 1 月に新築移転し、最新鋭の設備で臨床研修という大事な時期をともに学び喜びを共有しましょう。

基本コース （募集定員 5 人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目	内　科						外科＋整形外科			救急科（麻酔科含む）		
2 年目	産婦人科		精神科		小児科		麻酔科	地域医療	自由選択			

○内科系（一般・消化器・糖尿病・脳神経・腎臓＋消化器・循環器）　28 週　○外科系　12 週　○救急科　12 週　※麻酔科を４週含んで可（※但し、４週を上限とする）
○産婦人科・精神科・小児科・麻酔科・地域医療 ４週以上　○自由選択科目 選択科目から選択
※期間割りに沿って研修医を配置する。但し人数により変更することがある。

研修医の処遇

- **給　与**　1 年目 :36 万円 / 月　2 年目 :40 万円 / 月
- **諸 手 当**　通勤手当・時間外手当
- **保　険**　健康組合保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
- **勤務時間**　9 時～ 17 時 30 分（月～金曜日）
- **当　直**　手当 :1 年目 /1 万円　2 年目 /2 万円
- **休　暇**　土・日曜日・祝日・年末年始休暇・夏季休暇・介護・育児休暇
- **宿　舎**　あり（単身用）　住宅補助 :5 万円・引越代補助 :20 万円
- **そ の 他**　・診療見舞金制度（グループ病院受診時、月 3000 円以上超えた分の治療費支給）
  ・スポーツクラブ、ヘアサロン等の福利厚生制度
  ・学会参加費　年 2 回分病院負担（交通・宿泊・学会費）

主な臨床研修協力病院 協力施設

■戸田中央医科グループ
・戸田中央総合病院（小児科）
・戸田中央産院（産婦人科）
・佐々総合病院（産婦人科）
・菅野病院（精神科）

・大泉病院（精神科）

当院の魅力

TMG あさか医療センターの特徴

昨年度は年間 4,745 件の救急車を受け入れており、手術件数は年間 4,593 件です。地域医療に力を注いでおり埼玉県南西部地域において、非常にアクティブに活動している病院です。特に、内科・外科・整形外科・脳神経外科の 4 科は県内トップレベルの診療実績があります。院内の行事も数多くあり、院内旅行・運動会といった場では、医師・看護師・医療技術部・事務の結びつきが強く、カンファレンスも活発です。

TMG あさか医療センターでは救急・専門医療の拡充として、ICU・CCU　10 床・SCU の稼動、てんかんセンターでは患者様を 24 時間モニタリング検査ができ、外科的治療も可能です。手術室も 4 室から 8 室に拡大し、多職種で協力して生命の危機がある患者様を 24 時間体制で対応致します。また、脊椎内視鏡手術センター・最新鋭のアンギオ装置を 2 台設置、20 床個室の緩和ケア病棟・小児病棟といった各部門の強化を図り、幅広い医療を学ぶことが出来ます。新病院では地震の被害を低減する「免震構造」を採用し、被害の影響を受けにくい構造となっています。ホスピタルコリドール内には医療ガス設備を設置し、災害時でも医療を継続することが可能です。最新鋭の設備の中で充実した研修生活を共に過ごしてみませんか。

先輩研修医から message

研修医　1 年目
小澤　千尋

僕が初期研修先を決めるにあたり、福利厚生や勤務体制、都心部へのアクセスの良さなどを重要視していました。条件的には複数の病院がありましたが、当院に決めた最大の理由は病院全体の雰囲気の良さです。当院は平成 30 年 1 月に開院し、約 2 年が経過しました。この 2 年間で研修医の要望なども取り入れていただき、指導体制の確立などより良い研修体制に変化してきました。もちろん、今後も柔軟に意見を取り入れてくださると思います。また研修医だけでなく、コメディカルスタッフもしっかり育てていこうという方針もあり、病院全体で成長できる雰囲気があります。

この空気感や雰囲気は文章だけでは伝わりにくいので、ぜひ見学に来てください！！

先輩研修医から message

研修医 2 年目
正木　健司

研修プログラムに望むことはみなさんそれぞれあるでしょう。しかし、2 年間でどれだけ成長できるかは結局自分の頑張りによるところが大きいと思います。当院では研修医の情熱に応えてくれる「環境」があります。急性期病院としての診療科・症例数の多さ、ヤル気を出せばとことん付き合ってくれる指導医、いわゆる病院のイメージとは違う綺麗で新しい設備、優しくて親切なコメディカルの方々、お互い高め合える同期・・・。これにみなさんの情熱が加わればきっと実りある 2 年間が過ごせると思います。医師になるための勉強も大事ですが、そこからの勉強はもっと大切です。当院での研修を通じて、なりたい医師像に近づきましょう！

女性医師支援コーナー

当院では 25 名の女性医師が活躍しており、女性医師の比率が 29% となっています。当直業務は希望制となっています。

当直業務を行う際は、内科・外科・整形外科・脳神経外科の先生について研修が可能です。24 時間利用可能な保育室も完備していますので長期にわたって勤務することが可能となっています。後期研修医になれば子育て支援の観点から、時短勤務が可能です。

現在、初期臨床研修医で女性の医師が 4 名在籍しており、1 名は子育てをしながら研修を行っております。

TMG あさか医療センターは、女性の初期臨床研修医を大歓迎します。是非、病院見学に来て下さい!!"

連絡先　医療法人社団武蔵野会 **TMG あさか医療センター**

総務課

〒 333-0833　朝霞市溝沼 1340-1

TEL　048-466-2055（代表）　FAX　048-466-2059

E-mail　asaka_info@tmg.or.jp

URL　http://www.asakadai-hp.jp

アクセス　武蔵野線　北朝霞駅から徒歩 10 分

東武東上線　朝霞台駅から徒歩 10 分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●病院見学（随時受付中）

見学希望の方は、メールまたは電話で受けつけております。

※希望者は氏名・大学名（学年）・見学科目・希望日を左記メールアドレスまでお送り下さい。

6 独立行政法人国立病院機構 埼玉病院

JCEP
Japan Council for Evaluation of Postgraduate Clinical Training
卒後臨床研修評価機構
認定病院

病院の概要

- **医師数（研修医を除く）** 146 名（うち指導医数　42 名）
- **研修医数**　1 年目　15 名　2 年目　16 名
- **研修医の主な出身大学**　慶應大学・杏林大学・帝京大学・女子医大学・日本大学・昭和大学・鳥取大学・東北大学・宮崎大学・琉球大学・旭川医科大学・新潟大学・群馬大学・埼玉医科大学・日本医科大学・山形大学・札幌医科大学・浜松医科大学・東京医科大学・北里大学・順天堂大学・聖マリアンナ医科大学・信州大学
- **診療科**　内科　呼吸器内科　循環器内科　消化器内科　脳神経内科　内視鏡内科　外科　呼吸器外科　心臓血管外科　消化器外科　乳腺外科　小児外科　整形外科　脳神経外科　形成外科　内視鏡外科　精神科　小児科　皮膚科　泌尿器科　産婦人科　眼科　耳鼻咽喉科　リハビリテーション科　放射線科　麻酔科　緩和ケア内科　病理診断科　救急科　総合診療科　歯科口腔外科
- **1 日平均外来患者数**　1113.1 名　**1 日平均入院患者数**　386.8 名
- **主な認定施設**　日本内科学会認定医制度教育病院、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本循環器学会教育認定施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本小児科学会専門医研修関連施設、日本周産期、新生児医学会専門医制度指定施設

研修プログラムの特色

基本コース

基本コースでは内科、外科、小児科、産婦人科、救急科、精神科、地域、麻酔科が必修です。救急外来では、年間 5,000 件を超える救急車の受け入れがあり、そのファーストタッチは研修医が担当します。将来どの診療科に進んでも怖くない救急の知識と度胸が身につきます。また、年間通して抄読会や症例検討会が行われ、国立病院学会、埼玉県医学会その他の学会発表を通して、学会発表の指導も受けられます。

小児科・産婦人コース

小児科または産婦人科希望者を対象としています。4 月から主科で研修を開始することで、その後、将来をイメージしながら他科での研修ができるようになっています。2 年目には大学病院などの専門病院やクリニックで研修し、視野を広げられるようにしています。すでに小児科や産婦人科と決めている方にはお勧めです。

基本コース （募集定員１２人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目	内　科								救急	麻酔科		小児科
2 年目	外科	産婦人科	地域医療	精神科	選択科目							

必修科目として内科系 32 週、救急科 6 週、産婦人科、外科、小児科、地域医療、精神科各 4 週、麻酔科 6 週があります。1 年目で、主に内科系診療科で研修します。救急研修では、救急科に所属する 6 週間の研修以外に月に 4 ～ 5 回の全科当直を行い、継続的にトレーニングを受けます。2 年目に約 4 週間の地域医療研修を診療所等で実施し、約 32 週間を研修医自身が希望する選択科目に充てます。また、各科別プログラムとは別に全科共通の臨床医として当然身につけておくべき医療の基本を共通プログラムとして研修します。

研修医の処遇

給　与	約 43 ～ 46 万円 / 月 (諸手当・当直料含、通勤手当別)
諸 手 当	通勤手当
保　険	社会保険、厚生年金保険、雇用保険、労働保険
勤務時間	8 時 30 分～ 17 時 15 分
当　直	あり(4 ～ 5 回 / 月)
休　暇	祝日、年末年始、有給休暇(1 年次：12 日　2 年次：13 日)
宿　舎	あり(希望者多数の場合は入居できないことがあります)
そ の 他	健康診断年２回、インフルエンザ予防接種無料

主な臨床研修協力病院 協力施設

- 慶應義塾大学病院
- 日本大学板橋病院
- 大泉病院
- 勝海外科
- 天野医院
- 志木北口クリニック
- 志木駅前クリニック
- 大塚産婦人科
- 秩父市立病院　他

当院の魅力

2018 年から新館がオープンし 550 床へ！

○当院は地域に根ざした中核病院として、国や埼玉県より地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、循環器病基幹医療施設、肝疾患診療地区拠点病院として指定を受けています。また平成 27 年 10 月より地域周産期母子医療ｾﾝﾀｰに指定され、小児・周産期医療も推進しています。そして更なる機能向上のため、平成 30 年 11 月に新館 200 床を開棟しました。現在職員一丸となって質の高い医療を行っております。

○研修医は年 1 回実施される国立病院医学会や埼玉県医学会の参加のほか、月 1 回実施されれる地元医師会との合同ｶﾝﾌｧﾚﾝｽや抄読会、症例検討会、各種勉強会に出席することができるなど、研修環境も充実しています。
また、研修期間中半年に 1 回、研修担当責任者が面接を実施して研修状況を確認し、きめ細かい指導を行っています。

○立地は都心からのｱｸｾｽも良好ですので、将来に備えて都内での講習会の参加が容易です。一度見学していただき、当院の雰囲気を感じて、自分の求める研修があるかを確認して下さい。やる気のある方大歓迎です。

研修責任者から message

小児･周産期センター部長
プログラム責任者
上牧　勇

埼玉病院は、地域で中核となる公的病院として、地域医療を実践しています。救急の現場では、指導医とともに研修医が多くを学んでいます。また、当院には、埼玉県内でも有数の特徴ある診療科があり、選択研修の幅が広くなっています。

学術面は院内学会、国立病院学会、埼玉県医学会での発表を通じて学会発表についても指導を受けます。指導医とともに全国で開催される学会に参加し、発表を経験することは貴重な経験となるでしょう。共通講義、抄読会、症例検討会その他の勉強も豊富です。

このような環境で、積極的な姿勢を持ち、2 年間の研修生活を仲間とともに過ごせば 3 年目以降の飛躍に役立つと信じています。

先輩研修医から message

研修医 2 年目
西川 美由希

埼玉病院は働きやすい、学びやすい環境が整っています。 研修医は 1 学年に 16 人と程よい人数です。少し多いかな？という印象を受けるかもしれませんが、別の科をローテーションするので、手技の取り合いになる事もなく、上級医からご指導いただく時間も多いです。1 人 1 人の患者に対して、入院から退院までをマネジメントする事もあり、コメディカルとのチーム医療を実践する事ができます。 定期的な勉強会も多く、年に 2 回は学会で発表する機会があります。

そして当院の魅力は雰囲気の良さ ！病院全体が温かい雰囲気で他科の先生にも気軽に相談しやすい環境の為、沢山の先生方にご指導いただきながら日々成長を実感しています。都心に近く待遇も十分です。 言葉では伝えきれない良さが沢山あるのでぜひ 1 度見学に来てください。

女性医師支援コーナー

○産前休暇制度（6 週間）　○産後休暇制度（8 週間）
○育児休業制度　○院内保育園（0 歳から）

連絡先　独立行政法人国立病院　**埼玉病院**
医療支援室　研修医事務担当

〒 351-0102　和光市諏訪 2-1

TEL 048-462-1101（代表）　FAX 048-464-1138
E-mail ushino.miki.rx@mail.hosp.go.jp
URL http://saitama-hospital.jp/
アクセス 東武東上線　成増駅より東武バス・西武バスともに 7 分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- 病院見学は随時受け付けています。病院見学応募申請書を左記住所まで郵送して下さい。詳しくは HP をご覧下さい。
- 埼玉病院説明会は 3 月と 8 月に開催予定です。
- 埼玉病院 facebook をご覧下さい。
  https://www.facebook.com/ 埼玉病院 -644568159012220/timeline

7 医療法人社団武蔵野会 戸田中央医科グループ（TMG） 新座志木中央総合病院

病院の概要

- **医師数（研修医を除く）** 63 名（うち指導医数　14 名）
- **研修医数**　1 年目　3 名　2 年目　2 名
- **研修医の主な出身大学**　杏林大学・北里大学・獨協医科大学・山梨大学・帝京大学・筑波大学・新潟大学・鹿児島大学
- **診療科**　内科　消化器内科　循環器内科　神経内科　小児科　外科　肛門科　消化器外科　呼吸器外科　整形外科　リウマチ科　脳神経外科　皮膚科　形成外科　泌尿器科　婦人科　眼科　耳鼻咽喉科　麻酔科　リハビリテーション科　救急科
- **1 日平均外来患者数**　827.6 名　**1 日平均入院患者数**　346.5 名
- **主な認定施設**　日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本循環器学会認定循環器研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本整形外科学会研修施設、日本脳卒中学会認定研修教育病院

研修プログラムの特色

当院では、プライマリケアの基本能力の充実のために、内科と救急科を、1年目に行います。内科系は、一般、消化器、循環器、糖尿病、神経、呼吸器などを含む幅広い領域での指導体制となっています。また外科系も一般·消化器·呼吸器·脳神経外科·整形外科·皮膚科なども同様に多くの症例を経験できます。さらに、麻酔科研修でも救急医療の基礎を成す呼吸循環管理や、臨床薬理の充実した指導を受けることが出来ます。また小児科·産婦人科·精神科·地域医療の分野では、協力医療機関での研修となるため、より深く専門的に学ぶことができます。

当院は、研修医枠を少なくし、研修医一人あたりの指導医数を多くし、濃厚な指導を保証致します。さらに、看護師・コメディカルスタッフなど、あらゆる職種が一丸となり研修を支援する体制が築かれています。

新座志木中央総合病院初期臨床研修プログラム（募集定員 4 人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目	内科							救急			外科系	
2 年目	産婦人科	精神科	地域医療	小児科	自由選択							

○内科と一般外来研修は平行研修となります。
○内科ローテーション例（一般→糖尿病→循環器→消化器）
○救急科に麻酔科研修を含みます。

研修医の処遇

給　与	1 年次：36 万円 / 月　2 年次：40 万円 / 月
諸 手 当	通勤手当
保　険	社会保険、厚生年金保険、雇用保険、労働保険
勤務時間	9 時～ 18 時
当　直	要相談（1 回～ 4 回 / 月）
休　暇	変則週休 2 日制、有給休暇（1 年次 10 日、2 年次 11 日）
宿　舎	あり（住宅手当は病院規定による）
そ の 他	保育所あり

主な臨床研修協力病院 協力施設

- 戸田中央総合病院（小児科）
- 戸田中央産院（産婦人科）
- 佐々総合病院（産婦人科）
- 菅野病院（精神科）
- まちだ訪問クリニック（地域医療）

当院の魅力

少人数制だから出来る、あなたにぴったりな研修プログラム

当院は、埼玉県南西部 70 万人の医療圏において、高度な急性期医療から地域に密着した予防 (健診)、在宅医療を行う地域中核病院です。思いやりのある質の高い医療、地域医療機関と密接な連携、行き届いた管理体制による効率的な医療等を行動の規範として、皆さまから心から信頼される「愛し愛される病院」を目指し、24 時間救急体制で全力を尽くしております。また電子カルテシステムの導入や、局麻手術室の新設、内視鏡室・外来化学療法室の拡張、リハビリテーション室も新設されたことによって、地域密着型のより高度な医療を実践することを目指しております。

また、当院は戸田中央医科グループ（TMG) に属しており、臨床面に於いてもスケールメリットを活かした病院運営を展開し、各大学病院と連携し医療レベルの向上に努めております。

- 当院での研修メリット -

・少人数制なので、必修項目以外は研修医の自由裁量で好きな診療科を選べます
・全職種と良好なコミュニケーションを形成することができます
・医療秘書課、病棟・外来クラークが十分に整備されており、雑用が少なく技術の習得に専念できます
・大学医局派遣の医師も多く、大学での教育に準じた研修ができます
・TMG 学会、院内の検討会で学術発表の経験を積めます

研修責任者から message

副院長･プログラム責任者
松浦　直孝

当院は軽症から重症まで、また救急から介護度の高い人や訪問診療まで、すべての患者さんに対応しており、病気のほとんどを占める common disease を充分に経験できます。少人数制であり、興味のある科を長くまわることもできます。また､DUTY（点滴当番、採血当番など)がないので､自由に気兼ねなく休むこともできます。さらには他職種との距離が近く、チーム医療が実践できます。研修医に対して希望することは、①積極的に研修に取り組むこと ②患者・家族との対話を大事にして、全人的医療を実践すること ③コメディカルとの協調性・チーム医療　④医療の果たすべき社会的役割を認識すること　⑤地域・病院の行事に積極的に参加することです。２年間の初期臨床研修が皆さんにとって充実したものになることを切に願います。

先輩研修医から message

研修医 1 年目
清水　亮祐

私が思う当院の魅力は 2 つあります。

1 つ目は、common diesease が多く集まることです。稀な疾患は多くはありませんが、その反面 common diesease をより多く経験することができ、研修期間中に身につけるべき疾患をより深く学ぶことができます。

2 つ目は、病院全体がアットホームな雰囲気であり、多職種の方から優しく声をかけて頂けるので、とても研修しやすい環境です。また上級医の先生方との距離が近く、他の病院では質問できないような経験豊富な先生方にも質問でき、しっかりとご指導頂けます。

当院に少しでも興味を持って頂けた方は是非一度見学にいらして下さい。お待ちしております。

女性医師支援コーナー

当院では、常勤医師の 20%にあたる女性医師が活躍しております。
当直業務に関しても、体力面や子育て支援を考慮し希望制としております。
また 24 時間利用可能な保育室も完備し安心して働くことができます。

連絡先　**医療法人社団　武蔵野会新座志木中央総合病院**

担当：総務課　髙野

〒 352-0001　新座市東北 1-7-2

TEL　048-474-7211（代表）　FAX　048-472-7581
E-mail　webmaster@niizashiki-hp.jp
URL　http://www.niizashiki-hp.jp
アクセス　東武東上線　志木駅より徒歩 5 分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●病院見学は随時行っています。
ご希望の方は、電話またはメールにて氏名・大学名（学年）・見学希望日・見学希望診療科などを担当までお知らせ下さい。

8 春日部市立医療センター

病院の概要

- **医師数（研修医を除く）**86 名（うち指導医数　28 名）
- **研修医数**　1 年目　6 名　2 年目　7 名
- **研修医の主な出身大学**　日本大学・産業医科大学・獨協医科大学・金沢医科大学・信州大学・埼玉医科大学・東京医科歯科大学・宮崎大学・秋田大学・東海大学・琉球大学
- **診療科**　内科　循環器内科　血液内科　呼吸器内科　神経内科　消化器内科　糖尿病代謝内科　小児科　外科　消化器外科　乳腺外科　整形外科　脳神経外科　呼吸器外科　形成外科　皮膚科　泌尿器科　産婦人科　眼科　耳鼻咽喉科　精神神経科　放射線科　病理診断科　麻酔科　歯科口腔外科
- **1 日平均外来患者数**　758.9 名　**1 日平均入院患者数**　271.8 名
- **主な認定施設**　基幹型臨床研修指定病院、地域がん診療連携拠点病院、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本緩和医療学会認定研修施設、日本内科学会認定医教育関連施設、日本外科学会専門医制度修練施設

研修プログラムの特色

限られた期間に、現在社会的にも要望され、将来どのような専門科に進むにしても必要となる幅広いプライマリ・ケアの基本的な診療能力を身につけるための選択科目を重視。

(1) 地域医療は、診療所（外来診療、在宅、デイケア）、緩和ケア、回復期リハビリ病棟、特別老人養護施設等、多様な研修の組み合わせが可能である。

(2) 選択科目の診療科は重複も可能。選択する分野については、プログラム責任者及び選択する分野の指導責任者と研修医間で相談し決定する。

(3) 救急医療は内科、外科研修時及び日・当直業務で随時経験できる。また、救急車同乗など救急医療を重視。

プログラム　例　春日部市立医療センター　研修プログラム（募集定員 7 人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目	内科（呼吸器、循環器、消化器、糖尿病・総合、神経、血液）						救　急			外科		産婦人科
2 年目	小児科	選択		地域医療、精神科			選　択					

○必修科目：内科 24 週、救急部門 12 週（麻酔科 4 週上限）、外科 6 週、小児科 4 週、産婦人科 6 週、精神科 4 週、地域医療 4 週、一般外来 4 週※

○選択科目：内科（呼吸器、循環器、消化器、糖尿病・総合、神経、血液）、外科、麻酔科、小児科、産婦人科、脳神経外科、整形外科、呼吸器外科、呼吸器科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、検査科

※一般外来については、内科、外科、小児科、地域医療のブロック研修中に計 4 週並行して研修を実施する。

研修医の処遇

給　与	1 年目 35.03 万円 / 月　2 年目 36.88 万円 / 月
諸 手 当	当直手当 2.1 万円 / 回
保　険	政府管掌健康保険、厚生年金、労働者災害補償保険
勤務時間	8 時 30 分～ 17 時 15 分
当　直	あり（基本 5 回まで / 月）
休　暇	土・日曜、祝日、年末年始、夏休、有給休暇 20 日 / 年
宿　舎	なし
そ の 他	住宅助成あり　※市内居住の場合、上限月額 4.5 万円

主な臨床研修協力病院 協力施設

- 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院
- 医療法人 春明会 みくに病院
- 日本大学医学部附属板橋病院
- 独立行政法人 国立病院機構東埼玉病院

当院の魅力

2016年7月　新病院がオープンしました！

新病院は、延べ床面積を旧病院のおよそ1.5倍に広げ、手術・画像診断・内視鏡・救急の各部門を拡充いたしました。ICU・CCU・NICUの集中治療室や重症観察室に加え、緩和ケア病棟を設置して各部門の強化を図っています。

更に、地域がん診療連携拠点病院としての充実、強化のため、内視鏡下手術支援装置（ダビンチ）、高精度放射線治療装置（リニアック）やがん細胞を見つける PET-CT、SPECT など最新の高度医療機器を導入、更新しています。

また、地震に強い免震構造（積層ゴム62基・すべり支承35基・オイルダンパー8基）を採用して、災害対応機能の強化も図っています。

是非一度、見学に来てみてください。

研修責任者から message

臨床研修管理委員長
河野　通

「楽しく学べた2年間でした。ありがとうございました。」当院の初期臨床研修終了時に2年目の研修医から良く聞く感想です。一部の指導医からは“楽しいだけの研修じゃ困るんだ”とお叱りを受けることもあります。しかし、せっかくの2年間ですから楽しく学べるのもいいのではないでしょうか？とにかく開放的、アットホームな雰囲気があります。そして上級医には気軽に質問ができますし、多くの実技を経験させてもらえると思います。また、埼玉県東部地域の中核的病院として機能しているため時には希少な症例も経験でき、多くの診療科をバランス良く学ぶことができると思います。

春日部市内から都心へでるのがちょっと面倒になるくらいの距離ですが、その反面給与や住宅手当など生活面での心配はいらないと思います。多くの学生さんの見学・申し込みを心よりお待ちしています。

先輩研修医から message

研修医1年目
樋口　果奈

春日部市立医療センターは埼玉県春日部市の医療の中核を成す病院です。2016年に建て替えたばかりのきれいな病院で、ダヴィンチをはじめとする最先端の機器もそろっています。診療科は内科や外科をはじめ様々な診療科があるため、豊富な症例を経験することができます。

研修医の数は2学年合わせて13人と多すぎず、上級医の先生方から手厚い指導を受けることができます。また、当直中は基本的に first touch であり、自分で考える力が身に付きますが、困ったときにはすぐに相談できる環境のため、安心して研修を受けることができます。

ぜひ、一度当院に見学にお越しください。

女性医師支援コーナー

・出産休暇制度、育児休暇制度等あり

≪女性医師からのコメント≫男性が多い職場ですが、産前産後育休期間中も、周囲医師の方々の御支援をいただき、産後半年で無理なく常勤として復帰することができました。復帰後の職場も、忘れかけていた知識の再勉強の場として新患外来の枠をいただいたり、当直免除や勤務時間の短縮など御配慮いただき、女性医師にとっても働きやすい病院です。

また、ベテラン保育士による院内保育も完備され、多くの職員も利用しています。コメディカル含め、皆仲が良く楽しい雰囲気の職場です。ぜひ一度、病院見学にいらして下さい。（内科医師　細渕尚子）

【院内保育所完備】

連絡先　**春日部市立医療センター**

総務課　総務担当　山本

〒344-8588　春日部市中央6－7－1

TEL 048-735-1261（代表）　FAX 048-734-2471
E-mail somu-hos@city.kasukabe.lg.jp
URL http://www. kasukabe-cityhp.jp
アクセス 東武スカイツリーライン春日部駅から徒歩約10分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- 病院見学は随時開催しております。
- 病院見学を希望される方は、まず左記担当までご連絡ください。

9 医療法人秀和会 秀和総合病院

病院の概要

- **医師数(研修医を除く)** 54 名(うち指導医数 18 名)
- **研修医数** 1 年目 1 名 2 年目 0 名
- **研修医の主な出身大学** 群馬大学・山梨大学・岩手医科大学・神戸大学・順天堂大学・東北大学・金沢大学・新潟大学・東京女子医科大学・杏林大学・東京医科歯科大学 ほか
- **診療科** 内科 消化器内科 循環器内科 肝臓内科 腎臓内科 呼吸器内科 糖尿病内科 内分泌内科 神経内 リウマチ科 人工透析内科 アレルギー疾患内科 内視鏡内科 外科 消化器外科 食道外科 肝臓外科 大腸外科 脳神経外科 整形外科 リハビリテーション科 呼吸器外科 泌尿器科 婦人科(健診のみ) 乳腺外科 眼科 皮膚科 形成外科 内視鏡外科 放射線科 放射線診断科 病理診断科 臨床検査科 救急科 麻酔科
- **1 日平均外来患者数** 424 名 **1 日平均入院患者数** 157 名
- **主な認定施設** 日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本腎臓学会研修施設、日本栄養療法推進協議会・NST(栄養サポートチーム)稼動施設、日本医療機能評価機構認定病院(3rdG:Ver 1.1)

研修プログラムの特色

内科系は腎臓、循環器、内分泌代謝、呼吸器、消化器を常設し、さらに大学からの支援で神経内科、膠原病・リウマチ内科の外来診療を行っています. 腎臓内科は開設 40 年弱の透析医療の長い歴史があり、別館・透析クリニックで関東最大級 400 例以上の維持透析を担い, 循環器内科は救急医療連携で PCI から末梢動脈まで幅広く活躍し、内分泌・糖尿病内科は専門的糖尿病診療から糖尿病教室まで地域に密着しています. 呼吸器内科では市中感染症診療、睡眠時無呼吸症候群、緩和医療まで集約的に取り組み、消化器系は肝炎、栄養を中心に診療を行なっています.

外科系は消化器、血管、泌尿器、整形外科、脳外科から乳腺外科、形成外科まで幅広く対応しています. 消化器外科は、ヘルニア日帰り手術から鏡視下手術に至るまで精力的に活動し、内視鏡外科では 2000 例に及ぶ症例を誇っています. また整形外科では人工関節置換術から脊柱官狭窄症や脊椎変形まで県下有数の実績を挙げています. 脳神経外科は埼玉県脳梗塞急性期ネットワークに参画し年頭から基幹病院としてこの 11 ヶ月間に 200 例以上の受入数に及んでいます. 救急医療から生活習慣病まで幅広い地域医療に接しながら充実した研修が当院の特色です.

プログラム 例 卒後初期臨床研修プログラム(募集定員 2 人)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目	内 科						外科		麻酔科		救急	
2 年目	小児科	精神科	産婦人科	地域医療	選択							

○必修 内科 6 ヶ月、外科 2 ヶ月、麻酔科 2 ヶ月、救急 2 ヶ月、小児科 1 ヶ月、精神科 1 ヶ月、産婦人科 1 ヶ月、地域医療 1 ヶ月
○自由選択 8 ヶ月 内科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、皮膚科、麻酔科より選択

研修医の処遇

給 与	約 41 万円 / 月
諸 手 当	通勤手当あり、賞与なし
保 険	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災適用
勤務時間	9 時~ 17 時
当 直	あり(4 回 / 月)
休 暇	土曜午後、土曜(隔週)、日曜、祝日、夏季休暇、年末年始、有給休暇(1 年次:10 日、2 年次:11 日)
宿 舎	あり 2.5 万円 / 月
そ の 他	当直手当あり

主な臨床研修協力病院 協力施設

- 東京医科歯科大学医学部附属病院
- 草加市立病院
- 秀和透析クリニック
- 春日部在宅診療所ウェルネス

当院の魅力

地域に密着した研修で技術を習得

埼玉県は全国でも1~2位の高齢化進行率ですが，2015 年の統計では 65 歳以上の頻度は全国では 26.6%，東京都 22.7%，埼玉県 24.8%を示し春日部市では 28.1%とさらに高齢化が進んでいます．この地域に密着した研修を考える時には合併疾患で病める高齢者に対し，各領域専門医の指導下に最新鋭の医療機器を用いて，最初は問診聴取から身体所見の取り方，そして各種検査値の読み方や画像診断の技術を修得することになります．

秀和総合病院では内視鏡始めCT診断装置，MRI 診断装置，各種超音波診断装置，心臓血管撮影装置など大型医療機器を設置していると同時に各領域の専門医や指導医が常勤しています．特に多くの医師の出身母体である国立大学法人・東京医科歯科大学医学部附属病院や近接する獨協医科大学・埼玉医療センターなどと密接な医療連携を保持し，必要に応じて診療科研修に出向くこともあります．

病院数を人口10万人当りで見ると,全国では6.56,東京都 4.75,埼玉県 4.73,県内・東武医療圏で4.47 を示しますが,春日部市では5.59と比較的病院数が多いのが特徴です.一方,同じ条件下の医師数では全国233.9人,東京都 311.8 人,埼玉県 166.8 人，春日部市 143.5 人と最小人数でもあります．

是非，高齢化率が高く医師数の少ない当地で少数精鋭の騎士として，医療技術の修得と共に初めての臨床研修医期間を秀和総合病院で過ごし，人として医師としての充実した新たな道に共に進みましょう．

研修責任者から message

副院長
安達　進

秀和総合病院がある春日部は人口約 24 万人の市で、東武鉄道のスカイツリーラインとアーバンパークラインが乗り入れ都心や大宮、千葉からのアクセスが非常によい場所にあります．

当院は埼玉県東部医療圏の救急基幹病院で年間 3500 台の救急車を受け入れ地域の急性期医療のみならず、がん医療、緩和医療、健診センター、透析クリニックなど幅広く展開し、より専門性が高くより質の高い医療を提供できる病院として機能しています．

病院には最新の医療機器や電子カルテシステムまた文献検索などが行える図書室を備えており快適に研修に取り組むことができる環境にあります．

医師としての研修も大学や教育病院での指導経験豊富な指導医が各診療科におり適切かつ迅速に診断・検査・治療を遂行できるように研修医の教育を行っています．

先輩研修医から message

研修医 1 年目
鈴木　大成

当院での研修の魅力は、先生方の面倒見がよく、何でも質問し易いところです．所属科の指導医に質問できるのはもちろんのこと、他科を回っているときでも気にかけていただき、勉強面でわからない点や当直で困った疾患について専門の先生に質問でき､優しく丁寧に教えてもらえます．

また、研修医で対応できるようになるべき common disease は大学病院と異なり、多く触れれることができます．救急外来では first touch を任されることもあり、考え方や知識の補充など必ず上級医からの feed back がありますし､医師としての基礎を築くには適していると思います。もちろん、希望すれば手技もやらせてもらえます．手技を行う際は指導医が必ずついてくれますし、コメディカルの方々も優しくサポートしてくれます．

研修医になってみると、面倒見のいい先生方やコメディカルの方々がいるおかげで自分自身成長出来ていると日々実感しています．

初期研修先として一考の価値があると思いますので、ぜひ気軽に見学にいらしてください．

女性医師支援コーナー

研修医期間での女性医師支援策は特に企画していません．

現在，厚労省「医師の働き方改革に関する検討会」では研修医等については，2018 年 7 月 9 日に「臨床研修医省令に規定された『研修医』については『医師の特別条項』の特例の枠組み中で別途制度を定める」との答申がなされ，米国卒後医学教育認定評議会が制定した制度との整合性を検討中です．また，これまでの女性医師支援プログラムは院内保育・病児保育などを含めた柔軟な勤務体制の整備と活用が主な対応で，これらは既に卒後数年目の女性医師には実施されています．

臨床研修期間中は．その勤務形態や内容に男女別の分け隔てなく対応しながら適時，研修医の体調などを観察しながら，医師としての初めての貴重な経験に邁進してもらうべく注意深く育てて行く病院の方針です．チーム医療という環境の中では研修医は治療対象ではなく，チーム環境の中で多方面にお世話になりながら，一方では医師としての責務を自覚し，いずれはリーダーとして独り立ちするように温かく優しい，頼れる女性医師として育む考えです．

連絡先　**秀和総合病院**

総務課（医局）　堀内聡乃

〒 344-0035　春日部市谷原新田 1200

TEL　048-737-2121（代表）　FAX　048-737-2903

E-mail　sgh.ikyoku@shuuwa-gh.or.jp

URL　http://www.shuuwa-gh.or.jp

アクセス　東武スカイツリーライン・東武アーバンパークライン「春日部駅」下車後、西口より朝日バス「秀和総合病院」下車　所要時間 10 分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●随時、病院見学を受付けております。
希望の日程をご連絡ください。

10 IMS(イムス)グループ 医療法人財団 明理会 春日部中央総合病院

病院の概要

- **医師数（研修医を除く）** 39 名（うち指導医数　12 名）
- **研修医数**　1 年目　6 名　2 年目　5 名
- **研修医の主な出身大学**　東京大学・東海大学・慶応義塾大学・帝京大学・大分大学・京都府立医科大学
- **診療科**　内科　循環器科　緩和ケア内科　消化器科　呼吸器科　腎臓内科　外科　心臓血管外科　整形外科　脳神経外科　皮膚科　形成外科　泌尿器科　眼科　耳鼻咽喉科　婦人科　神経内科　糖尿病・代謝内科　麻酔科　人工透析　放射線科　リハビリテーション科
- **1 日平均外来患者数**　660 名　**1 日平均入院患者数** 340 名
- **主な認定施設**　日本医療機能評価機構認定病院 3rdG:Ver.1.1、日本内科学会認定医制度教育関連施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本心血管インターベンション治療学会研修施設、日本外科学会修練施設、日本整形外科学会研修施設

研修プログラムの特色

（1）自由度の高いプログラム選択が可能です。（選択科目最大 11 か月）
（2）マンツーマン指導で「手技」を中心とした研修を行います。
（3）年 2 回の IMS（イムス）グループ内学会にて症例の発表を行います。
（4）入職後 1 ヶ月は、オリエンテーションを実施します。メディカルスタッフの役割を知り、人間関係を作ることで、「聞きやすい・話しやすい研修環境」を作ります。
（5）当直は月 2 回。研修の中心時間は日中です。

プログラム　例　初期臨床プログラム（募集定員 6 人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目	内科（神経内科・消化器内科・呼吸器内科・循環器内科・糖尿病代謝内科含む）						救急部門（麻酔科含む）			外科	小児科	産婦人科
2 年目	精神科	地域医療	選択科目									

○必修科目：内科（24 週）、救急（12 週）、外科（4 週）、小児科（4 週）、産婦人科（4 週）、精神科（4 週）、地域医療（4 週）
○選択科目：最大 40 週

研修医の処遇

- **給　与**　1 年次：約 42 万円 / 月　2 年次：約 45 万円 / 月
- **諸 手 当**　当直手当（1 万円 / 回）
- **保　険**　健康保険、厚生年金、雇用保険、労災適用
- **勤務時間**　9 時～ 17 時
- **当　直**　2 回 / 月
- **休　暇**　土曜日午後、日曜日、祝祭日
- **宿　舎**　借上げ寮家賃の 50% を病院が負担（上限有）

主な臨床研修協力病院 協力施設

- 板橋中央総合病院
- 新松戸中央総合病院
- 新越谷病院
- 越谷市立病院
- 順天堂越谷病院

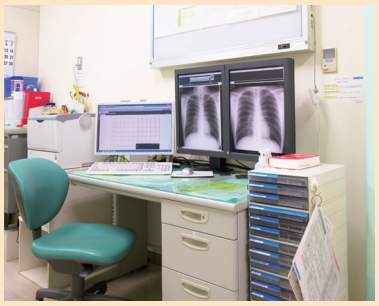
当院の魅力

①「プログラムの自由度が高い」

研修プログラムの選択科目は最大 40 週です。自分の将来のために、自由にプログラムを作ることができます。

②「研修環境の重視」

IMS（イムス）グループ 6 施設が集まる入職前合同研修会を開催。毎年 30 名近い同期と巡り会えます。4 月はオリエンテーションでメディカルスタッフとの人間関係を作ります。また、年 1 回、自分の研修の成果を発表する症例発表があります。



③「QOL も大切にしたい」

主に日中を中心とした研修です。当直は月 2 回から。当直の回数を調整できるのも、自由度の高いプログラムの特徴です。日曜・祝日の日勤勤務はありません。

研修責任者から message

副院長／整形外科　部長
片山　一雄

初期研修は、プライマリーケアの習得が主な目的です。そのためには、患者様との接し方、基本的な手技の習得、コメディカルとの関係など、学ぶことがたくさんあります。中でも当院では、基本的な手技の指導に重点を置いています。また、救急医療にも力を入れていて、様々な症例を学ぶことが可能です。

当院の研修プログラムは、他のグループ病院や近隣病院でも研修が可能なため、多くの症例を経験できる利点があります。また、自由選択期間が 11 か月と長いところも特徴です。職員一同、初期研修が実りあるものとなるようサポートさせていただきます。

先輩研修医から message

研修医 1 年目
海賀　翔太

春日部中央総合病院の研修は 6 人と少人数であるため、手技や症例の取り合いになることもなく、指導医の先生方にマンツーマンで教えてもらうことができます。

また、グループ病院間での交流も盛んであるため、研修医同士で横のつながりもでき、コミュニケーション能力も磨かれます。

先生方との距離も近く、医業以外の相談も気軽にできる環境にある一方で、私たちの生活も重視してくださるのでプライベートの時間も確保できます。

比較的自由に研修プログラムを組むことができ、仕事に忙殺されることもないため、一つ一つの症例にじっくりと取り組むことができ、それに対するフィードバックがあるのも魅力の一つです。ぜひ一度見学に来てみてください！

女性医師支援コーナー

当院では、女性が働きやすい環境を第一に考え、産前産後休暇・育児休暇・育児短時間勤務・当直免除等の制度を整備しています。また、院内保育所も完備していることから、女性職員が育児しながら働く場所の提供を積極的に行っています。2017 年からは「埼玉県子育て応援企業」として、埼玉県より『多様な働き方実践企業』の認定を受けています。

連絡先　**春日部中央総合病院**

総務課　臨床研修医担当

〒 344-0063　春日部市緑町 5-9-4

TEL　048-736-1222（直通）　FAX　048-738-1559
E-mail　jinji@kasukabechuo.com
URL　http://www.kasukabechuo.com/
アクセス　東武スカイツリーライン「一ノ割」駅から徒歩５分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●病院見学は随時受付けておりますので、記載のメールアドレスへご連絡ください。ご希望の日にちで病院見学を調整します。
是非一度病院に来て、研修医の声と病院の雰囲気を体験してください。

11 越谷市立病院

病院の概要

- **医師数（研修医を除く）** 73 名（うち指導医数　22 名）
- **研修医数**　1 年目　5 名　2 年目　5 名
- **研修医の主な出身大学**　宮崎大学・山形大学・広島大学・岡山大学・埼玉医科大学・日本医科大学・関西医科大学・獨協医科大学・中国大連医科大学
- **診療科**　内科　神経内科　呼吸器科　消化器科　循環器科　小児科　外科　整形外科　脳神経外科　皮膚科　泌尿器科　産科　婦人科　眼科　耳鼻咽喉科　リハビリテーション科　放射線科　麻酔科
- **1 日平均外来患者数**　930 名　**1 日平均入院患者数**　362 名
- **主な認定施設**　日本医療機能評価機構認定病院（3rdG:Ver.1.1）、日本内科学会教育関連病院、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本呼吸器科学会認定施設、日本消化器病学会専門医制度認定施設、小児科専門医研修施設　ほか

研修プログラムの特色

越谷市立病院初期臨床研修プログラムは、市中病院と大学病院で臨床研修を積むことができる内容となっています。

当院内での研修では、募集人数が少人数のため、マンツーマンで一般的な症例や各種手技を積極的に取り組んでいただけます。

また、選択診療科が 40 週あり、希望者は 2 年目に順天堂大学医学部附属病院(順天堂医院・練馬病院・浦安病院・越谷病院)などで研修を積むことができ、研修医の将来における希望に応じた、より充実した研修を可能とする構成となっています。

プログラム　例　越谷市立病院初期臨床研修プログラム（募集定員 8 人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目	内　科						小児科	外科	産婦人科	麻酔科	救急部門	
2 年目	精神科	地域医療	救急部門	選択診療科								

○ローテーションは順不同　○内科研修は、一般内科 8 週、呼吸器科 4 週、循環器科 4 週、消化器科 4 週及び神経内科 4 週で実施
○救急部門研修は、救急科 8 週及び麻酔科 4 週で実施　○一般外来研修は、一般内科、一般外科、小児科で並行研修により実施
○選択診療科（選択科目）は、(一般）内科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、(一般）外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床検査科（病理診断科）及び精神科の中から選択し、1 科 4 週以上のまとまった期間を基本に実施

研修医の処遇

給　与	月給　1 年目 : 約 30 万円、2 年目 : 約 31 万円（地域手当含む。）※別途、住居手当、通勤手当、当直手当等を該当者に支給　期末勤勉手当（賞与）　1 年目 : 約 85 万円 / 年、2 年目 : 約 140 万円 / 年※期末勤勉手当は年間 4.5 月（令和 2 年度見込）
諸 手 当	地域手当、住居手当、通勤手当、当直手当、期末勤勉手当、退職手当　等
保　険	埼玉県市町村職員共済組合保険
勤務時間	8 時 30 分～ 17 時
当　直	あり
休　暇	年次有給休暇（20 日 / 年）、夏季特別休暇　等
宿　舎	なし
そ の 他	埼玉県市町村職員共済組合が実施する各種共済事業（レクリエーション施設・保養施設割引制度、各種給付・保険・年金制度）が利用可能

主な臨床研修協力病院 協力施設

- 順天堂大学医学部附属順天堂医院（東京都文京区）
- 順天堂大学医学部附属練馬病院（東京都練馬区）
- 順天堂大学医学部附属浦安病院（千葉県浦安市）
- 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院（埼玉県越谷市・精神科）
- リハビリテーション天草病院（埼玉県越谷市・地域医療）

当院の魅力

プライマリ・ケアの研修に適した病院です

救急・高度・特殊医療を中心に地域の医療機関との連携を重視しつつ、基幹病院として地域医療の充実に努めています。各種学会専門医等の認定のための研修病院であり、救急患者も多く、プライマリ･ケアの研修に適した病院です。また､平成 30 年 9 月には（公財）日本医療機能評価機構より病院機能評価 3rdG:Ver.1.1 として更新の認定を受けました。

研修責任者から message

臨床研修管理委員長
木下　恵司

当院の研修の特色は次の 3 点に集約できます。

① common disease が多数経験できること

②基本的手技が身につくこと

③ 2 年目の選択期間に臨床研修協力病院である順天堂大学医学部附属病院での研修が可能であること

①については、一般市中病院であり、医療連携などで紹介されてくる患者さんも多く、総合診療科での研修も含め、common disease が多数経験できます。

②については、研修医の数が比較的少ないため、基本的手技を多く経験できます。

③については、大学病院において最新医療やより専門的な臨床経験を積むことができます。

当院の指導医は協力を惜しみません。意欲に燃えた研修希望者のご応募をお待ちしています。

先輩研修医から message

研修医（平成30年度修了）
奥村　隼人

当院の研修プログラムは、自由度が高く、大学病院でも研修することができるため、自分で目標を立てて研修を組み立てたい人にとっては大変よいものだと思います。私は将来の志望科に役立ちそうな科を多く選択し、また、後期研修先として考えていた順天堂医院（大学病院）の志望科を回らせていただくなど、希望どおりのプログラムで研修することができました。

また、医師はもちろん、看護師、技師や事務の方も研修医に対して協力的で、大変有意義な 2 年間を過ごすことができました。

ぜひ、当院に見学にいらしてください。

女性医師支援コーナー

・院内保育室の設置　・産前、産後休暇／育児休暇制度

《女性研修医（平成 28 年度修了）からのコメント》私は初期臨床研修期間中に妊娠しました。体調が優れないときや造影検査・放射線注射で被曝の心配があるときなどは、同期の研修医の仲間や先生方に助けてもらい、出産数週間前のぎりぎりまで研修を続けることができました。出産後も、比較的早期に復帰することができ、多くの方々の支えで研修を 2 年間で無事に修了することができました。

研修医（平成 28 年度修了）坂本　陽子

連絡先　**越谷市立病院**

事務部庶務課庶務担当　古川　貴之

〒 343-8577　越谷市東越谷 10-32

TEL　048-965-2221（代表）　FAX　048-965-3019

E-mail　shomu@city.koshigaya.lg.jp

URL　http://www.mhp.koshigaya.saitama.jp/

アクセス　越谷駅東口から朝日バス「市立病院行き」「吉川駅北口（市立病院経由）」「総合公園行き」乗車約 7 分：南越谷駅北口から朝日バス「花田行き」「市立図書館行き」乗車約 15 分：新越谷駅東口からタローズバス「東埼玉テクノポリス行き」乗車約 12 分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●病院見学は随時実施

12 草加市立病院

病院の概要

- **医師数（研修医を除く）**93 名（うち指導医数　30 名）
- **研修医数**　1 年目　7 名　2 年目　5 名
- **研修医の主な出身大学**　東京医科歯科大学ほか
- **診療科**　内科　血液内科　内分泌・代謝内科　膠原病内科
  腎臓内科　呼吸器内科　循環器内科　消化器内科
  小児科　外科　心臓血管外科　整形外科　眼科
  脳神経外科　皮膚科　泌尿器科　産婦人科　耳鼻咽喉科
  リハビリテーション科　放射線科　歯科口腔外科
  麻酔科　精神科　救急科　病理診断科　緩和ケア科
- **1 日平均外来患者数**　803.3 名　**1 日平均入院患者数**　286.9 名
- **主な認定施設**　災害拠点病院、救急告示病院

研修プログラムの特色

研修の 1 年目には 8 週間ずつ「消化器内科 + 腎臓内科」「循環器内科 + 膠原病内科 + 内分泌・代謝内科」「呼吸器内科 + 血液内科」「外科」「麻酔科」「救急科」をまわります。2 年目には 4 週間ずつ「小児科」「産婦人科」「地域医療」「精神科」をまわります。残る 1 年目の 4 週と 2 年目の 36 週は選択性となりますが、内科系・外科系の専門科をはじめマイナー科での研修も可能です。この間に救急当直（20 回以上 /36 週）の研修も行います。外来研修は内科・外科・小児科研修中に一般外来での診療を半日 / 週で行うのに加え、地域医療期間中に診療所で全日 4 日間の診療を行います。

研修スケジュールは研修医の志望に合わせて組み替え可能で、研修途中であっても希望が変われば研修予定科の変更も可能です。研修後の進路については自由ですが、当院で正規職員（地方公務員）としての身分で採用が可能です。また、東京医科歯科大学各科医局への入局の相談にも応じています。

プログラム　例　草加市立病院臨床研修プログラム（募集定員 6 人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目	内　科						救　急		外　科		選択科（麻酔科）	選択科（自由選択）
2 年目	小児科	産婦人科	精神科	地域医療	選択科（自由選択）　救急当直 20 回							

○精神科は東京足立病院で研修を行っています。
○地域医療はおおた泌尿器科内科クリニック、メディクス草加クリニックで研修を行っています。（令和２年度～地域医療の外来研修のみ　あや総合内科クリニック）
○産婦人科は春日部市立医療センターで研修を行っています。

研修医の処遇

給　与	月額1年次約 34 万円 / 月、2 年次約 35 万円 / 月(諸手当除く見込額)
諸 手 当	期末手当、当直手当、通勤手当、地域手当　等
保　険	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険、医師賠償責任保険
勤務時間	8 時 30 分～ 17 時
当　直	あり（30 ～ 50 回 / 年）
休　暇	夏期休暇：あり 有給休暇（1 年次：10 日　2 年次：11 日）
宿　舎	なし
そ の 他	記載内容は令和元年度までの処遇となります。 令和２年度以降の処遇については、地方公務員法及び地方自治法の改正に伴い変更される予定です。

主な臨床研修協力病院 協力施設

- 東京足立病院
- おおた泌尿器科・内科クリニック
- メディクス草加クリニック
- あや総合内科クリニック
- 春日部市立医療センター

当院の魅力

年間 5,000 件以上の救急搬送受入

当院が位置する草加市は東京都足立区に隣接し、若い世代の多く住む人口約 24 万の街です。当院は地域で唯一の総合病院機能を持つ中核病院であり、様々な疾患が多く集まります。診療科も 26 科と充実し、多くが学会研修認定を受けています。

関連大学である東京医科歯科大学と連携した医療チームを形成し、これまで大きな成果をあげてきました。特に救急医療に力を入れており、内科系・小児科系・外科系・循環器内科系・脳神経外科系が連日当直しており、毎年約 5,000 件以上の救急搬送を受け入れています。

研修責任者から message

プログラム責任者
菅原　祐之

当院では、研修医を当院で単独採用するほか、東京医科歯科大学の協力型病院として 1 年目 2 年目とも 4 人ずつ引き受けており、適切な人数での研修ができます。また、常勤医師数は病床数（380 床）に比べて多く、卒後 7 年目以上の医師も 50 人以上在籍しており、研修医に対し綿密な指導を行えるのも当院の強みです。臨床研修を通じてコモンな病態・疾患を幅広く経験できることも地域中核病院としての当院の魅力です。手術や各種検査も数多く行われており、年間で内視鏡検査及び治療は約 5,000 件、一般外来の手術は約 700 件実施されています。研修医のやる気と達成度により、消化器内視鏡、中心静脈穿刺、虫垂炎手術なども指導医のもとで行うことができますので、満足がいく研修ができると確信しています。

先輩研修医から message

研修医 1 年目
清水　厚哉

私が当院で研修しようと決めたのは、幅広い症例が経験できることや、積極的に手技が経験できること、研修医への教育が充実していることなどの理由からです。内科では同時に 2・3 の科で研修し、全ての内科を経験することができ、将来どこの科に進むとしても幅広い知識が得られます。また、CV や消化管内視鏡、心カテからヘルニアの術者まで、数多くの手技を積極的に経験できることも大きな魅力です。そして毎週の内科カンファレンスでは持ち回りで研修医が症例発表をし、レントゲンカンファレンスでは内科入院になった全患者の胸部 X 線の読影をしたりと、発表の機会や勉強会も豊富であり、非常に多くを学べる研修となっております。気になった方は是非当院見学にいらしてください。心よりお待ちしております。

女性医師支援コーナー

草加市立病院では心臓・脳血管センター 5 階に院内保育室を設置し、医療スタッフの 0 歳から就学前までの乳幼児を保育しています。

連絡先　**草加市立病院**

事務部経営管理課

〒 340 － 8560　草加市草加 2-21-1

TEL 048-946-2200（代表）　FAX 048-946-2211
E-mail soka-hosp2200@max.odn.ne.jp
URL http://www.soka-city-hospital.jp/
アクセス 東武スカイツリーライン草加駅から徒歩 18 分、バス 5 分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●随時受入可能（事前予約）

13 医療法人財団健和会 みさと健和病院

JCEP
Japan Council for Evaluation of Postgraduate Clinical Training
卒後臨床研修評価機構
認定病院

病院の概要

- **医師数（研修医を除く）** 282 名（うち指導医数　21 名）
- **研修医数**　1 年目　4 名　2 年目　6 名
- **研修医の主な出身大学**　川崎医科大学・埼玉医科大学・札幌医科大学・聖マリアンナ医科大学・獨協医科大学・新潟大学・日本大学・弘前大学・産業医科大学
- **診療科**　内科　消化器内科　呼吸器内科　循環器内科　リウマチ科　小児科　外科　整形外科　脳神経外科　皮膚科　泌尿器科　肛門外科　婦人科　眼科　耳鼻咽喉科　放射線科　精神科　リハビリテーション科　麻酔科　消化器外科　救急科　病理診断科
- **1 日平均外来患者数**　647.5 名　**1 日平均入院患者数**　253.3 名
- **主な認定施設**　救急指定･第二次救急医療病院群輪番制病院、日本内科学会認定教育施設認定病院、日本プライマリ･ケア連合学会認定研修施設、日本糖尿病学会認定教育施設、日本内分泌学会認定内分泌代謝科認定教育施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設

研修プログラムの特色

みさと健和病院は大都市近郊の埼玉県三郷市にあり、第二次救急医療を担う中核的医療機関です。研修理念を「良識のある社会人、思いやりのある医療人としての成長を促す。将来の専門にかかわらず、医師としての基本的な診療能力と学習能力を習得できるように援助する」と掲げ、地域第一線医療機関でのプライマリケア、在宅医療の先駆的実践、総合診療を中心とした内科研修、必修としている整形外科研修、外来研修、往診研修などに力を入れています。

当院のある三郷市南部地域は駅から離れていることもあり、地域に住む方々が最初にかかる病院であり、高齢期から小児期までの多様な疾患を経験できます。また、第二次救急における当直研修などを通じて、救急疾患・外傷の初期対応も習得することができます。

プログラム　例　卒後臨床研修　地域医療総合プログラム（募集定員 8 人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目	内科（24 週）、救急（8 週）、外科（8 週）、整形外科（8 週）											
2 年目	小児科（4 週）、産婦人科（4 週）、精神科（4 週）、地域医療（12 週）、選択（32 週）											

基幹型臨床研修病院での研修期間は最低 52 週。協力施設での研修は最大 12 週。
○必修科目（内科計 24 週、外科 8 ～ 9 週、整形外科 8 ～ 9 週、救急 8 ～ 9 週＋急外来･当直研修 4 週、地域医療 12 週、小児科 4 週、産婦人科 4 週、精神科 4 週）
○選択科目（上記科に加えて、総合内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、リハビリテーション科、泌尿器科、臨床病理科、麻酔科、麻酔科、眼科）

研修医の処遇

給　与	1 年次 :32.4 万円 / 月　2 年次 :37 万円 / 月　※研修手当を含む ※賞与年 2 回
諸 手 当	当直手当、家族手当
保　険	東京医業健保組合、厚生年金保険、雇用保険、労災保険完備、別に法人独自の共済制度あり
勤務時間	8 時 30 分～ 17 時 30 分
当　直	あり（5 回まで / 月）
休　暇	毎月 4 週 6 休、有給休暇（1 年次 :10 日、2 年次 :11 日）
宿　舎	希望者は病院徒歩 2 分の寮に入寮可
そ の 他	上記以外も法人規定による各種手当（学会参加手当など）あり 2020 年度実績。働き方改革による処遇変更を検討中。

主な臨床研修協力病院 協力施設

- 松戸市立総合医療センター
- 東京女子医科大学病院東医療センター
- 柳原病院
- 豊島病院
- 東京都健康長寿医療センター
- グループ内医療機関多数

当院の魅力

当院の医師研修への思い

困っている人を助けてあげたい、病んでいる人を救ってあげたい、多くの医学生はそう思って医師を目指していると思います。しかし、医学部を卒業して医師国家試験に合格すれば気持ちひとつでそんな医師になれる、というわけではもちろんありません。医師は医師免許をもらってから作られていきます。どんな医師になるのか、なりたいのか、自分の進むべき方向を決める時期が初期研修期間であり、臨床研修病院はその手助けをするところです。私たちは臨床医です。指導医も研修医も臨床医です。地域の人たちの健康を守り、病める人たちの支えになりながら、実は自分たちも成長させてもらっているのです。ですから臨床研修というものはずっと続いていくものであって、初期研修医だけのものではありません。そういう視点を大切にしながら、常に on the job training の気持ちを持ち続けたいものです。

医療というものは病院で完結するものではなく、診療所や訪問看護ステーション、様々の介護分野との連携で成り立っていること、また病院の中でも様々な職種の人たちのつながりの中で行われていることを、ぜひ実感してください。初期臨床研修の目標は医療技術の獲得だけではなく、チーム医療の実践、患者さん目線の思考、取り巻く環境への配慮など、bio-psycho-social といわれる複合的な問題解決能力の獲得も含まれます。大切な 2 年間です。私たちと一緒に臨床研修しませんか？

研修責任者から message

みさと建和病院　院長
岡村　博

私たちはずっと初期臨床研修を大切にしてきました。1994 年に初期臨床研修病院の指定をうけましたが、それ以前より研修医を受け入れてきました（私もその一人です）。当時大学病院などの大病院で初期研修を行うことが主流である中、256 床の病床数は日本最少であり、外来研修や往診研修など、地域に密着した医療そのものの研修が認められたものと思います。2004 年の新しい研修制度に移行したのちも、このような地域病院ならではの研修を大切にしつつ、必修科目を網羅するプログラムを作ってきました。どのような臨床医が良い医師とされるのかは、どのような医師が地域で必要とされているのかと表裏一体です。この間研修制度が何度か変更されましたが、当院の研修に対する spirit は普遍のものです。

先輩研修医から message

研修医（2019 年度修了）
栗原　惇

当院では救急や当直、外来を通じて、患者さんのファーストタッチを経験できます。主訴は何かを丁寧に聞き取り、それに対して適切な処置・対応をする事が治療の第一歩となるためとても重要です。

病棟では診療科が細分化されていないため、総合診療内科として幅広い疾患を経験出来ます。1 つの科で 2 ヵ月以上ローテートするため、自分のペースで確実に診療能力を身に付けることが出来るのも利点の一つです。鑑別疾患を挙げ、必要な検査を行い、治療方針を立て、実際に治療していくという一連の診療行為に対して、コメディカルスタッフと共にチームの一員として携わることで、責任感を持って仕事に取り組むことが出来ます。とはいえ、何をするにしても上級医がついているため必ずフォローをしてもらえますし、フィードバックがあるため確実にステップアップしていくことが出来ます。

また、患者さんの普段の生活環境における問題点にも着目し、理学療法士や社会福祉士のスタッフと退院後のフォローアップについて考える機会も多々あります。入院・治療・退院・その後のフォローアップに至るまで、担当医として患者さんに深く関わることが出来ます。

医療過疎地の埼玉では、場に応じて適切な対応を行える医師が必要とされています。そんな医師を目指して私達と一緒に働いてみませんか？

女性医師支援コーナー

子育て中の方は、当直や勤務時間についてはプログラム修了を目指して相談に応じます。

○院内保育…にこにこ保育園では、０～３歳児までのお子さんをお預かりします。時差にも対応し、安心して働ける保育体制を整えています。

○病児保育…０～９歳までのお子さんをお預かりします（感染症又は感染症疑いは除く）。お子さんの体調が悪い時なども休まず働くことが可能です。

連絡先　**みさと健和病院**

医局事務室　医学生担当

〒 341-8555　三郷市鷹野 4-494-1

TEL　048-955-7171（代表）　FAX　048-948-0007
E-mail　gakusei@kenwa.or.jp
URL　http://gakusei.kenwa.or.jp/
アクセス　JR 常磐線松戸駅からバス 10 分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

卒後進路を考えるにあたり、全ては病院見学・実習から始まると思います。当院は平日随時・希望内容応相談・交通＆宿舎補助ありで受け入れています。まずは左記までお問い合わせください。

14 医療法人社団愛友会 上尾中央医科グループ 三郷中央総合病院

病院の概要

- **医師数（研修医を除く）** 34 名（うち指導医数　19 名）
- **研修医数**　1 年目　2 名　2 年目　2 名
- **研修医の主な出身大学**　産業医科大学・東邦大学・千葉大学・長崎大学・鹿児島大学・東京医科歯科大学・東京慈恵会医科大学・愛知医科大
- **診療科**　内科　循環器内科　糖尿病・内分泌内科　腎臓内科　神経内科　外科　心臓血管外科　消化器外科　整形外科　脳神経外科　皮膚科　泌尿器科　眼科　耳鼻いんこう科　リハビリテーション科　放射線科　麻酔科
- **1 日平均外来患者数**　546 名　**1 日平均入院患者数**　250 名
- **主な認定施設**　日本内科学会教育関連施設、日本麻酔科学会認定病院、日本循環器学会認定専門医研修施設、三学会構成心臓血管外科専門医制度関連施設、日本心血管インターベンション治療学会研修施設、日本泌尿器科学会専門医教育施設

研修プログラムの特色

当院の臨床研修プログラムは、病院理念である『愛し愛される病院』に基づき、地域に開かれた患者中心の医療を推進する病院として、全ての臨床医に求められる医師としての基本的価値観及び医師としての使命の遂行に必要な資質・能力を習得することを目的としています。研修医は少人数制を採用し、指導医との距離が近く、様々な処置や手技を経験できるチャンスも豊富であり、実践的な研修を実施できることも当院のプログラムの特徴です。

主に1年次は必修科目（内科・外科・麻酔科・救急科）を中心に研修を実施し基本的な知識、技術、多職種とのチーム医療の必要性の修得を目指します。2年次には、協力医療機関（東邦大・上尾中央総合病院・柏厚生総合病院・三郷ケアセンター・永井マザーズホスピタル）での研修（地域医療・小児科・精神科・産婦人科）や選択科目（泌尿器科・循環器内科・心臓血管外科・脳神経外科・整形外科・皮膚科・放射線科・耳鼻咽喉科・眼科・形成外科として研修医個々の目指す専門性に沿うよう可能な限り柔軟に対応をしています。

2年間の初期研修を通じて、人間的にも優秀な医師を育成することを第一に考えています。

プログラム　例　三郷中央総合病院臨床研修プログラム（募集定員３名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内　科（必修）						外　科	麻酔科	選　択	救　急		
2年目	地域医療	小児科	精神科	産婦人科	選　択							

○必修：内科（24 週うち外来診療 4 週含む）、救急（12 週）、外科（4 週）、麻酔科（4 週）、小児科（4 週）、産婦人科（4 週）、精神科（4 週）地域医療（4 週）
○選択：36 週（内科・循環器内科・外科・心臓血管外科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科・皮膚科・眼科・耳鼻咽喉科・放射線科・形成外科）
※外科、小児科、産婦人科、精神科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、形成外科、地域医療については、臨床協力病院にて研修可能。

研修医の処遇

給　与	1 年次：35 万円 / 月　2 年次：40 万円 / 月（税込）
諸 手 当	当直手当、住宅手当
保　険	健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金
勤務時間	9 時～ 17 時 30 分
当　直	あり（4 ～ 5 回 / 月）
休　暇	有給休暇（入職 3 ヵ月後：3 日　6 ヵ月後：7 日　初年度 10 日支給）、その他特別休暇・年末年始・産前産後休業・育児休業・介護休業）
宿　舎	あり。当院規定により補助あり。
そ の 他	待遇：常勤。医療費見舞金制度あり。保養所（軽井沢・山中湖・那須）利用可。医師賠償責任保険（病院負担にて加入）。病院保育所利用可。その他福利厚生制度あり。

主な臨床研修協力病院 協力施設

- 東邦大学医療センター　大森病院
- 東邦大学医療センター　大橋病院
- 上尾中央総合病院
- 柏厚生総合病院
- 三郷ケアセンター
- 永井マザーズホスピタル
- クリニックふれあい早稲田
- うつみ内科クリニック

当院の魅力

優しさと思いやりのある質の高い安全な医療の提供を目指して

当院は、埼玉県の南東部に位置し、東京都、千葉県と隣接しており、東京都心から 20km 程の距離にあります。近年つくばエクスプレスの開通により、ベッドタウンとして近年急速に発展している三郷市の急性期医療の中核病院として、地域住民に貢献できる医療の提供を目標として 35 年間の歴史を重ねて参りました。

三郷市の基幹病院として 17 診療科を標榜し、病床数は 289 床（一般病床 223 床、回復期リハビリテーション病棟 58 床、ICU8 床）、血液浄化センター（27 床）となっております。急性期医療については、動脈硬化性疾患（狭心症・心筋梗塞・急性心不全・脳梗塞・脳出血・くも膜下出血等）や腹部外科疾患（吐血・下血・急性腹症等）、並びに整形外科疾患（骨折・外傷等）に迅速に対応し、二次救急医療機関として夜間帯においては常に 3 ～ 5 科（内科・外科・整形外科・脳神経外科・心臓血管外科 / 循環器内科）の診療体制を整備しています。

常に先進的な医療を追求する姿勢を持ち、新たに再生医療への取り組みを開始しました。ひとりひとりが質の高い医療の提供をする為に、高度な知識と技術を兼ね備えたメディカルスタッフの育成にも力を注ぎ、病院機能の充実や質の向上に積極的に取り組みます。

研修責任者から message

プログラム責任者
松岡　直樹

一般病棟 223 床、特定集中治療室 8 床、回復期リハビリテーション病棟 58 床の地域に根ざした中規模の病院です。研修医とともに育っていく病院でありたいと思っています。研修医の数も少なくローテーションの融通もききやすく、きめ細かい研修ができるものと自負しています。全診療科をカバーすることはできませんので、不足な部分は近隣の施設や大学病院が研修協力施設になっており、そちらで研修を行っています。2021 年度から給与はこれまでより減額しますがその分各種研修に対する手当を厚くし、積極的にいろんなことにチャレンジし学んでいただけるようサポートいたします。

先輩研修医から message

研修医 2 年目
林　保志

医局の垣根が低く色々な科の先生にコンサルトしやすいのが魅力のひとつだと思います。また、医局と病棟も近くに位置しており、すぐに患者様のもとにも行け、逆に病棟で疑問を生じたときに、すぐに医局に調べに戻ることもできるので、とても研修医が働きやすい環境です。今は、まだ上級医の方々に助けられながら、なんとか日々の仕事をこなしています。当院にはない診療科については、東邦大学で勉強する機会もあり、総合的な研修になると思います。まずは、見学に来ていただき、当院の雰囲気を実感していただけたらと思います。

女性医師支援コーナー

三郷中央総合病院では多くの女性医師が勤務しており、今後も活躍の場は増加していくと考えています。女性医師は、経験を積み更に輝けると思われる年代に結婚や出産、育児等のライフイベントを迎え退職を余儀なくされることもあります。その為、三郷中央総合病院では女性医師のキャリアアップを支援する体制を整備することが大切であると考えています。

当院では女性医師が安心して勤務できる為に、短時間勤務制度、院内保育の設置、当直の免除等様々な支援を行っています。過去において、多くの女性研修医を採用し柔軟な対応により初期研修をサポートしてきました。安心して研修を実施できる環境がありますので、どうぞご安心ください。

連絡先　**三郷中央総合病院**

臨床研修採用担当

〒 341-8526　三郷市中央 4-5-1

TEL　048-953-1321（代表）　FAX　048-952-7279
E-mail　ishi-jinji@mchp.jp
URL　http://mchp.jp/
アクセス　JR 武蔵野線三郷駅より送迎バス約５分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学
随時受付しています。
左記連絡先までお電話をいただくか、E － mail にてお申込みください。
医学生であれば、どなたでもお申込みいただけます。

15 独立行政法人 地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター

JCEP Japan Council for Evaluation of Postgraduate Clinical Training
卒後臨床研修評価機構 認定病院

病院の概要

- **医師数（研修医を除く）** 81 名（うち指導医数　29 名）
- **研修医数**　1 年目　6 名　2 年目　6 名
- **研修医の主な出身大学**　埼玉医科大学・帝京大学・日本大学・香川大学・慶應義塾大学・琉球大学・新潟大学・千葉大学・北海道大学・秋田大学・岩手医科大学
- **診療科**　内科　呼吸器内科　循環器内科　消化器内科　糖尿病内科　内分泌内科　神経内科　腎臓内科　心療内科　外科　呼吸器外科　消化器外科　乳腺外科　整形外科　脳神経外科　形成外科　心臓血管外科　神経精神科　リウマチ科　小児科　皮膚科　泌尿器科　産婦人科　眼科　耳鼻咽喉科　放射線科　病理診断科　麻酔科
- **1 日平均外来患者数**　1090.0 名　**1 日平均入院患者数**　286.0 名
- **主な認定施設**　卒後臨床研修評価認定施設、日本プライマリケア連合学会認定施設、日本ペインクリニック学会ペインクリニック専門医指定研修施設、日本内科学会認定医教育施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本整形外科学会学会認定研修施設、日本医療機能評価機構認定施設

研修プログラムの特色

埼玉メディカルセンターにおける初期研修プログラムは、研修医に必要な基本的医学知識と技術を修得すると同時に、医師として望ましい態度と習慣を身につけること、能動的に診断、治療を行える能力を培うことを目的としている。1 年次の内科では、呼吸器・循環器・膠原病・消化器・神経内科・内分泌・代謝・血液の内科 4 病棟をローテートし、すべての内科疾患を経験する。各病棟では、それぞれの専門医・指導医に指導を受け、最新の知識を学ぶ。外科は食道、胃、大腸、肝・胆・膵、すべてに専門医、指導医がいる。手術数が多いので、毎日手術に入ることも可能。麻酔科では、気管挿管などの手術や全身管理を学び、知識と技術をある程度身につけたうえで救急を行う。小児科、産婦人科、神経科、地域医療の研修について小児科では小児のプライマリ・ケアについて十分な研修を積める。また、地域医療では、診療所で一般外来診療や在宅医療を学べるようになっている。

プログラム　例　埼玉メディカルセンター臨床研修プログラム（募集定員 6 人）

1 年目	内科（28 週）			救急（4 週）	麻酔（4 週）	外科（4 週）	選択（12 週）
2 年目	産婦人科（4 週）	小児科（4 週）	精神科（4 週）	地域医療（4 週）	救急科（8 週）	選択（28 週）	

○必修：内科 28 週、救急 12 週、地域医療 4 週、麻酔科 4 週、外科 4 週、産婦人科 4 週、小児科 4 週、精神科 4 週
○その他：自由選択 40 週

研修医の処遇

- **給　与**　約 600 万円 / 年
- **諸 手 当**　通勤手当・時間外手当
- **保　険**　JCHO 健康保険・厚生年金・雇用保険あり
- **勤務時間**　8 時 30 分～ 17 時 15 分
- **当　直**　あり（2 ～ 4 回程度 / 月）
- **休　暇**　土日・祝日・年末年始・有給休暇（1 年次 :10 日、2 年次 :11 日）
- **宿　舎**　なし

主な臨床研修協力病院 協力施設

- さいたま市立病院
- 埼玉協同病院
- 国立病院機構　東埼玉病院
- 国立病院機構　埼玉病院
- 埼玉精神神経センター
- 埼玉市民医療センター
- 大宮厚生病院
- 浦和民主診療所

当院の魅力

多様な症例を経験できる研修を目指して

埼玉メディカルセンターは、政令指定都市「さいたま市」の中核病院として 395 床を有する急性期医療中心の病院です。一方、健診業務を行う健康管理センター、地域包括ケア病棟、ならびに老人保健施設も併設しており、超高齢化社会に突入した地域の医療ニーズにこたえながら、常に最先端の医療を提供し地域に貢献しております。1968 年に臨床研修病院の 指定を受け、以来若い医師の教育にたずさわってきました。現在 43 の学会などの施設認定を取得しており認定医、各分野の専門医が研修医の指導にあたっています。 多様な症例を通して基本的な知識や技術、そして態度を学びます。初代院長の「和の精神」をモットーに職員一丸となったチーム医療で、安心で、患者さん中心の医療が当院の目標です。

研修責任者から message

プログラム責任者
森本　二郎

毎年 4 月になると卒業したてのフレッシュな研修医がキラキラとした目でピカピカの白衣を着て我々の前に登場します。
我々指導医も身が引き締まる瞬間です。そんな研修医が 2 年の研修を終えるころには驚くほど成長し医師らくなります。それは全ての病院職員にとって大きな喜びであります。

当院の研修では、技術や知識、態度、学会発表などの基本事項の習得のみならず、チーム医療、地域連携の重要性も学びます。研修プログラムは研修医一人一人の希望に合わせて可能な限り柔軟に対応します。研修は決して楽ではありませんが、前向きで意欲のある皆様をお待ちしています。

先輩研修医から message

研修医 1 年目
髙田　奈央

JCHO 埼玉メディカルセンターは、大学病院とも関わりが多く、地域医療に根差している病院です。入る前は慶應大学の系列病院であるので自分は外様だと思っておりましたが、全国の色々な大学出身の先生がいて、交流の機会も多くまだ回っていない診療科の先生とも早いうちから打ち解けられました。非常に居心地がよく、働きやすい病院だと感じています。JCHO 埼玉メディカルセンターの強みは総合内科的な症例、いわゆる Common diseases が多く、初期研修 2 年間で経験しておくべきことは全て網羅できると思います。また、Common diseases から各科の専門領域までバランス良く症例があり、総合診療能力を培うにはベストな病院だと思います。

女性医師支援コーナー

・育児休業
・育児短時間勤務制度
・院内保育の設置

連絡先　埼玉メディカルセンター

総務企画課

〒 330-0074　さいたま市浦和区北浦和 4-9-3

TEL　048-832-4951（代表）　FAX　048-833-7527
E-mail　main@saitama.jcho.go.jp
URL　http://saitama.jcho.go.jp
アクセス　JR 京浜東北線　北浦和駅西口より徒歩 3 分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●随時病院見学を行っております。

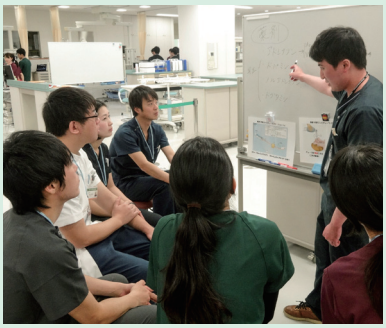
16 さいたま市立病院

病院の概要

- **病床数**　637 床
- **医師数（研修医を除く）**136 名（うち指導医数　50 名）
- **研修医数**　1 年目　13 名　2 年目　12 名
- **研修医の主な出身大学**　秋田大学・旭川医科大学・岩手医科大学・愛媛大学・岡山大学・杏林大学・群馬大学・慶應義塾大学・千葉大学・筑波大学・富山大学・奈良県立医科大学・新潟大学・日本医科大学・浜松医科大学・福島県立医科大学・山形大学・山梨大学
- **診療科**　内科　消化器内科　精神科　脳神経内科　循環器内科　小児科　新生児内科　一般・血管外科　消化器外科　呼吸器外科　整形外科　リハビリテーション科　脳神経外科　心臓血管外科　小児外科　皮膚科　形成外科　泌尿器科　産婦人科　眼科　耳鼻咽喉科　歯科口腔外科　放射線診断科　放射線治療科　麻酔科　救急科　病理診断科　緩和ケア科
- **1 日平均外来患者数**　939 名　● **1 日平均入院患者数**　472 名
- **主な認定施設**　地域周産期母子医療センター、がん診療連携拠点病院、日本内科学会認定教育病院、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本小児科学会認定小児科専門医研修施設、日本麻酔科学会麻酔指導病院

研修プログラムの特色

当院はさいたま市の基幹病院の 1 つであり、年間約 7,500 台の救急車の受入れを中心に、急性期医療、がん医療、周産期医療、地域連携（病診連携）に力を入れています。研修プログラムはプライマリ・ケアの基本的診療能力（態度、技能、知識）を身に付けることを第一目標とし、さらに各自の到達度と希望に合わせて専門的知識、技術を習得するためのプログラムを柔軟に設けています。1 年次には、内科（26 週）、外科（4 週）、小児科（5 週）、救急（9 週）、麻酔科（4 週）、産婦人科（4 週）をローテートし、2 年次は各自の希望に合わせた選択期間を中心に地域医療、内科、精神科、救急などをローテートします。研修医セミナーも毎週開催しており、知識の整理や症例検討を行っています。また、2 年間を通して内科系、外科系の日当直を行うことで、より実践的なトレーニングを積むことができます。



プログラム　例　さいたま市立病院初期臨床研修プログラム（募集定員 12 人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目	内科						救急		小児科	外　科	麻酔科	産婦人科
2 年目	内科	精神科	地域医療	救急	選　択							

○内科：各専門科（循環器、呼吸器、消化器、脳神経、血液・腎臓・内分泌・膠原病）に分かれてローテートします。
○地域医療:①石川県奥能登の 4 病院（珠洲市総合病院、公立宇出津総合病院、市立輪島病院、公立穴水総合病院）でのへき地医療研修、②近隣診療所（医療法人明医研ハーモニークリニック）での研修、のいずれかの選択となります。
○精神科：埼玉県立精神医療センターで行います。
○外来研修:内科（2 年次）ローテーション中に 1 週、小児科ローテーション中に 1 週、外科ローテーション中に 4/5 週、地域ローテーション中に 6/5 週、それぞれ並行研修で行います。

研修医の処遇

給　与	1 年目 336,748 円／月、2 年目 354,728 ／月（地域手当を含む）
諸 手 当	通勤手当、宿日直手当、期末手当
保　険	健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
勤務時間	8 時 30 分～ 17 時 15 分
当　直	あり（4 回／月）
休　暇	年次有給休暇、夏季休暇等
宿　舎	なし
そ の 他	職員駐車場あり

主な臨床研修協力病院 協力施設

- 医療法人明医研ハーモニークリニック
- 埼玉県立精神医療センター
- 公立宇出津総合病院
- 珠洲市総合病院
- 市立輪島病院
- 公立穴水総合病院

当院の魅力

プライマリ・ケアを学ぶ！豊富で多彩な症例！
令和元年１２月新病院開院！～地域完結型医療を目指して～

さいたま市立病院は地域完結型医療を目指し、安心して暮らせるさいたま市のシンボルとなる新しい病院として令和元年 12 月に生まれ変わりました。人口 130 万人を有するさいたま市の基幹病院である当院では、プライマリ・ケアから各専門領域での高いレベルの医療まで幅広い医療サービスを提供しており、common disease から学会発表につながる稀な疾患まで豊富な症例を経験することができます。

内科は消化器、循環器、脳神経、呼吸器、腎内分泌代謝、血液・膠原病リウマチ、感染の各分野をカバーしており、外科は一般・血管外科、消化器外科、小児外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科が高いレベルの手術をしています。地域周産期母子医療センターを設置し、周産期医療、小児医療にも力を入れています。また、安心で安全な医療を提供できるよう医療機能を強化し、精神科身体合併症病棟、緩和ケア病棟などを新設しました。

研修責任者から message

臨床研修管理委員長 / 院長補佐
山藤　和夫

当院の特徴は急性期病院であること、救急医療を重視していること、がん診療拠点病院であること、そして周産期医療を担っていることです。救急は一次と二次救急の患者さんを受け入れており、救急車の受け入れ台数は年間約 7,500 台です。このような当院の診療内容は、初期臨床研修の目標である common disease を多数経験し、primary care における minimal requirement を習得するのにたいへん適しています。当院での 2 年間の研修により十分な臨床経験を積むことができ、医師としての基本的診療能力、基本的姿勢や態度を身につけることができます。当院は 2019 年末に病床数 637 床の新病院が完成し開院しました。最新鋭の医療設備と医療機器が導入され、とくに救急医療の設備が充実しています。さいたま市立病院にはこのように臨床研修に必要な症例、設備、環境が整っています。医学生の皆さん、さいたま市立病院で初期臨床研修をやりませんか。

先輩研修医から message

研修医 2 年目
平松　みづ紀

私がさいたま市立病院を初期研修病院として選んだ理由は、上級医の先生方の熱心な指導と病院全体のあたたかい雰囲気にあります。

当院には知識・手技・コミュニケーション能力を思う存分学ぶことのできる環境が整っており、切磋琢磨できる仲間が集まっています。そのため、疾患について共有したり疑問に思ったことを相談したりと、お互いを励ましあい刺激しあって日々を過ごしています。自分の時間もしっかりと確保されているため、その日の疑問をその日のうちに解決することができ、翌日からの仕事に活かすことができるのも魅力の一つだと思います。

ぜひ一度見学へいらして、病院の雰囲気を感じてみてください。ともに働きたいと思える仲間にきっと出会えます。お待ちしております。

女性医師支援コーナー

○当院では院内保育室を設置し、0 歳から 6 歳までの乳幼児を対象とした 24 時間保育を実施しておりますので、小さなお子様のいる方であっても働くことが可能です。

○年次有給休暇のほかに、出産休暇や小さなお子様のいる職員を対象とした保育時間などの特別休暇も整備されております。

連絡先　**さいたま市立病院**

病院総務課　秋山　泰秀

〒 336-8522　さいたま市緑区三室 2460

TEL 048-873-4111（代表）　FAX 048-873-5451

E-mail hsp-jimukyoku-somu@city.saitama.lg.jp

URL http://saitama-city-hsp.jp/index.html

アクセス JR 線北浦和駅からバス 15 分、浦和駅からバス 20 分、東浦和駅からバス 15 分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●春休み、夏休みに病院説明会を開催しているほか、年間を通して個別病院見学を受け付けています。申込方法の詳細は当院ホームページ上に掲載しております。ホームページでは見学に際しての各診療科からのメッセージや研修医の声も掲載しておりますので、そちらも是非ご覧ください。

17 さいたま赤十字病院

病院の概要

●**医師数（研修医を除く）**191 名（うち指導医数　52 名）
●**研修医数**　1 年目　15 名　2 年目　14 名
●**研修医の主な出身大学**　埼玉医科大学・慶應義塾大学・自治医科大学・東京女子医科大学・新潟大学・群馬大学・三重大学・金沢大学・日本大学・帝京大学・東京大学・山梨大学・東京慈恵会医科大学・順天堂大学・横浜市立大学・杏林大学・秋田大学・富山大学・千葉大学・東京医科大学
●**診療科**　肝・胆・膵内科　消化管内科　呼吸器内科　血液内科　膠原病・リウマチ内科　腎臓内科　糖尿病内分泌内科　総合臨床内科　腫瘍内科　脳神経内科　循環器内科　心療科　小児科　外科　乳腺外科　整形外科　脳神経外科　呼吸器外科　心臓血管外科　皮膚科　泌尿器科　産婦人科　眼科　耳鼻咽喉科　形成外科　リハビリテーション科　放射線診断科　放射線治療科　麻酔科　緩和ケア診療科　口腔外科　病理診断科　救急科
●**1 日平均外来患者数**　1375 名　●**1 日平均入院患者数**　588 名
●**主な認定施設**　総合周産期母子医療センター、高度救命救急センター、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院、埼玉ＤＭＡＴ指定病院　その他

研修プログラムの特色

○高度救命救急センターを併設しており、救急医療に関してより実践的な研修を行うことができます。
○選択研修期間が 40 週あり、可能な範囲で研修医の希望に沿って研修スケジュールを組むことができます。
○月に 1 度「研修医ミーティング」を開催し、プログラム責任者と研修医がそれぞれの研修状況について情報共有をします。不安な点や、改善して欲しい点など意見を出し合い、研修医たちの意見を反映したより良い研修環境を作ることができます。

【研修医の方に当院を志望した理由を聞いてみました！】

○将来産婦人科を志しており、当院の産婦人科は小児科の医療施設と連携したレベルの高い医療を提供しているため、初期研修の時からそのような環境で学べることに魅力を感じ志望しました。
○外科を将来志望科とする自身にとって、研修医としての 2 年間は医師としての基本的診療能力を身につけたいと考え、外科だけではなく内科・救急分野も充実している当院を選びました。

プログラム　例　さいたま赤十字病院臨床研修プログラム（募集定員 15 人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目	内　科					総合臨床内科	外　科			救急科		
2 年目	小児科	産婦人科	精神科	地域医療	自　由　選　択							

○内科 24 週(うち 4 週は総合臨床内科)、外科 12 週、救急 12 週、小児科 4 週、産婦人科 4 週、精神科 4 週、地域医療 4 週必修、
○自由選択 40 週(消化器内科、呼吸器内科、血液内科、糖尿病内分泌内科、膠原病･リウマチ内科、腎臓内科、総合臨床内科、精神科、脳神経内科、循環器内科、小児科、外科、乳腺外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、緩和ケア診療科、救急科、検査部、病理診断科)

研修医の処遇

給　与	1 年次　30 万円 / 月、2 年次　35 万円 / 月
諸 手 当	通勤手当、住宅手当、時間外手当、日･当直手当、賞与(1 年次 10 万円、2 年次 20 万円)
保　険	公的医療保険、労災保険、公的年金、雇用保険
勤務時間	8 時 30 分～ 17 時 00 分
当　直	あり(4 回 / 月)
休　暇	土･日曜日、祝祭日、年末年始(6 日間)、創立記念日(5/15)、産前･産後休暇、育児休暇、その他特別有給休暇有
宿　舎	なし(住宅手当あり)
そ の 他	研修医室あり

主な臨床研修協力病院 協力施設

・埼玉県立小児医療センター
・埼玉精神神経センター
・特別養護老人ホーム　ナーシングヴィラ与野
・高齢者総合福祉施設　敬寿園
・埼玉県赤十字血液センター
・埼玉県内保健所
・原町赤十字病院
・あきもと内科クリニック
・自治医科大学附属さいたま医療センター
その他 5 施設

当院の魅力

研修医の方の声を聞いてみました！

当院は年間を通じて研修医を対象とした院内勉強会（モーニングカンファ、感染症勉強会、ER カンファなど）や、手技の習得を目指した実習（縫合実習、CV 穿刺講習会など）を開催するため学年を問わず自然と研修医間の雰囲気が良くなります。そこで研修中の先生方に当院の魅力を聞いてみました！

・病院見学の時、先生達が楽しそうに仕事をしていたので、ここでなら自分も楽しく研修できそうだと思いました。
・医師、看護師、コメディカルの方々の優しさや熱心な指導、また患者さんへの温かい態度は、病院見学の時から変わりません。働く上での目標となっています。
・設備がきれいでアクセスが良いです。
・病院内の雰囲気が良く先生同士の関係が良いです。
・診療科が豊富で、どの科も一生懸命教えてくれます。
・熱心で丁寧な指導医が多いです。
・1個上の研修医が優しく指導してくれます！（もちろん3年目以降の先生も）
・良い同期にも恵まれて充実した研修です！
・同期と勉強したり、飲み会や旅行をしたりと仲が良いです。　など

彼らの後輩となり一緒に研修をしませんか？是非、一度病院見学にお越しいただけたらと思います。

研修責任者から message

プログラム責任者
甲嶋　洋平

さいたま赤十字病院は、人口 130 万人のさいたま市の基幹病院として急性期から慢性期の医療を幅広く担っています。急性期では、3 次救急患者さんに対応するため高度救命センター、risk の高い妊産婦さんに対応するため周産期センターがあります。また ER 体制をとっており、24 時間積極的に患者さんの受け入れを行っております。慢性期では、がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院に認定されており、全科にわたり専門的に患者さんの診療にあたっています。当院は、プログラム基幹病院で独自のプログラムを擁しています。積極参加型の研修をモットーとしており、研修医の先生方自らが、指導医とともに患者さんの治療に取り組んでいます。また先輩研修医の後輩研修医への面倒見の良さが長年にわたり受け継がれております。心技体ともに充実した研修をお約束いたします。

先輩研修医から message

研修医２年目
木村　尚喜

当院はさいたま新都心駅の目の前に位置する、病床数 600 を超える県内でも有数な規模と実績のある病院です。3 次救急を担う高度救命センターを有しており、Common Disease から重症内科疾患や外傷まで幅広く経験できます。研修医は 1 学年 15 人で出身大学は多岐にわたるため、様々な背景の同期や先輩・後輩との研修は非常に勉強になります。また”参加型の研修”を掲げ、日々の診療や救急外来での当直業務を通して多くの手技を経験できるのも特徴の 1 つです。そして”感染症勉強会”や”内科抄読会”など多くの勉強会があるため、臨床能力に加えアカデミックな能力を鍛えることができます。何よりも研修医の仲の良さが売りの研修病院ですので、是非 1 度見学に来てみて下さい！

女性医師支援コーナー

妊娠・出産・育児のための支援制度等
- 短時間勤務制度
- 院内保育の設置
- 当直免除
- 時間外勤務、深夜勤務の制限及び深夜勤務の免除
- 子の看護休暇　（年間 5 日間）
- 出産祝金、育児休業復帰一時金
- 産前産後休暇、育児休暇
- 日本赤十字社は、職員の育児と仕事の両立を支援している企業として、次世代育成支援対策推進法に基づく「子育てサポート企業」の認定を受けています。

連絡先　**さいたま赤十字病院**

教育研修課

〒 330-8553　さいたま市中央区新都心 1-5

TEL 048-852-1572（代表・直通）　FAX 048-852-3120
E-mail kensyu@saitama-med.jrc.or.jp
URL http://www.saitama-med.jrc.or.jp
アクセス JR 線さいたま新都心駅から徒歩４分、JR 北与野駅から徒歩６分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●病院見学の申込方法
- 見学随時受付。
- 見学希望の方は、教育研修課まで E-mail にてお申込ください。

18 医療法人社団協友会 上尾中央医科グループ 彩の国東大宮メディカルセンター

病院の概要

- **医師数（研修医を除く）** 66 名（うち指導医数　44 名）
- **研修医数**　1 年目　8 名　2 年目　6 名
- **研修医の主な出身大学**　群馬大学・浜松医科大学・千葉大学・東京慈恵会医科大学・琉球大学・秋田大学・信州大学・日本大学・大分大学・山梨大学・岩手医科大学
- **診療科**　内科　循環器内科　消化器内科　呼吸器内科　脳神経内科　腎臓内科　糖尿病・代謝内科　血液内科　リウマチ科　緩和ケア内科　外科　消化器外科　乳腺外科　肛門外科　臨床腫瘍科　整形外科　形成外科　脳神経外科　心臓血管外科　耳鼻咽喉科　眼科　泌尿器科　婦人科　皮膚科　麻酔科　放射線科　リハビリテーション科　救急科　病理診断科　歯科口腔外科
- **1 日平均外来患者数**　575 名　● **1 日平均入院患者数**　320 名
- **主な認定施設**　整形外科専門医研修施設、日本消化器病学会認定施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本内科学会認定教育関連病院

研修プログラムの特色

当院では、初期研修の2年間は、将来どの専攻分野に進んでも困らないよう、基本的な臨床能力を習得する期間としています。

厚生労働省が定める到達目標をこの2年間で達成し、「3 年目に独り立ちできること」をスローガンとしています。専門医になったときの実力差は専門知識の量と技術はもちろん、他科との境界領域の知識量にも表れると言われています。ぜひこの 2 年間は、しっかりと「generalist mind」を育んでいただきたいと考えております。

常勤医師のほとんどが指導医であり、指導医をはじめ科全体で研修医を育てる充実した指導体制をとっております。救急ローテート時や日当直では、ファーストタッチから一連の検査オーダー、診断までを研修医が主体的に行います。もちろん指導医や上級医がしっかりサポート・指導をしてくれますので安心して研修に臨むことができ、3 年目独り立ちに向けて臨床能力を養うことができます。また、2020 年度より必須となる産婦人科・小児科・精神科・地域医療については、専門的な知識を十分に経験できる施設と連携しています。

プログラム　例　彩の国東大宮メディカルセンター初期臨床研修プログラム（募集定員 8 人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目	内科		消化器内科		循環器内科		外　科		救　急		麻酔（当院必修）	
2 年目	地域医療	精神科	産婦人科	小児科	救急	調整月	自由選択科目※ 1 科につき最長 12 週まで					

○必修:内科 24 週(内科、消化器内科、循環器内科)、救急科 12 週、外科 8 週、麻酔科 8 週、地域医療 4 週(外来 4 週)、精神科 4 週、小児科 4 週(外来 4 週)、産婦人科 4 週、調整科 4 週(大型連休・有給等で研修日数が満たなかった科がある場合に調整月にて 4 週の研修を行う)
○自由選択 24 週(内科、消化器内科、循環器内科、救急科、外科、麻酔科、放射線科、整形外科、泌尿器科、脳外科、リウマチ科、血液内科、緩和ケア内科、病理診断科)
※産婦人科、小児科、精神科、地域医療については、連携病院との調整　※自由選択は、1 科につき最長 12 週まで　※外来研修は内科・小児科・地域医療にて対応

研修医の処遇

- **給　与**　1 年次 :45 万円　2 年次 :50 万円　（月額）
- **諸 手 当**　当直手当　1 年 :1 万 5 千円　2 年 :2 万 5 千円
- **保　険**　社会保険、厚生年金保険、医師賠償責任保険（病院にて加入）、労働者災害補償保険・雇用保険
- **勤務時間**　①月~金　9 時~ 17 時 30 分 / 土　9 時~ 13 時 (隔週) ②月~金　9 時~ 18 時
- **当　直**　あり　土日含む日当直あり
- **休　暇**　日曜、祝祭日、年末年始（12/30 午後~ 1/3 迄）・有給休暇
- **宿　舎**　住宅貸与、家賃補助有（5 万円まで / 月）
- **そ の 他**　学会･研修会等参加の費用負担あり (8 万円まで / 年) 3 回 / 年 (公休扱い)･医療費見舞金制度 (月 3 万円まで)・保養所・院内旅行・その他

主な臨床研修協力病院 協力施設

- 小池内科クリニック（地域医療）
- 平戸市民病院（長崎・地域医療）
- 大宮厚生病院（精神科）
- 上尾中央総合病院（小児科・産婦人科）
- 埼玉医科大学総合医療センター（小児科・産婦人科）
- 柏厚生総合病院（小児科・8 週）
- 越谷市立病院（小児科・産婦人科）
- 国立病院機構埼玉病院（小児科）
- 自治医科大学付属さいたま医療センター（産婦人科）
- 国立病院機構西埼玉中央病院（産婦人科）　他

当院の魅力

ジェネラリスト養成を目指して！

当院は、2015 年 7 月に新築移転し、院内は木と水をイメージしたインテリアで、病院にいることを忘れるような安らぎの環境を作っています。また、院内・院外での職員交流が盛んに行われ、診療科や他職種間との関係性も良好であり、公私ともに充実した 2 年間を過ごせる環境となっています。

①救急部での幅広い症例経験

新病院移転後、急性期対応型に進化した救急部は、救急搬送患者を年間 6500 件以上を受け入れています。1 次、2 次救急を中心に、小児科・産科以外の患者すべての受入れを目指しています。救急部の研修では、「3 年目に独り立ちできていること」を強く意識し、様々な疾患の初期対応をファーストタッチから経験できます。

②充実した研修環境

医局のデスクの他に、研修医同士、上級医とのコミュニケーションの場として研修医室を用意しています。さらに、研修医の教育環境の強化として、シミュレーションセンターを整備しています。

③メンター制度

メンター 1 人につき研修医 3、4 人を担当し、懇親会や普段の声掛けを通じ、仕事やプライベートの悩みを相談するなどサポート役を担っています。また、定期的な面談を行い、全体での情報共有・パイプ役に努めています。

④ off the job training のサポートも充実

モーニングレクチャー / ランチョンセミナー / 院内学会 /EBM セミナー /ICU 勉強会 / 救急車同乗実習など、各種開催

先輩研修医から message

研修医 1 年目
谷口　幸裕

当院では、研修医が働きやすい環境が整えられています。初期研修はわからないことだらけで不安な日々ですが、指導医の先生方、周りのスタッフ、そして先輩研修医の方達が優しく教えてくれます。また、いわゆる common disease を中心に研修全体を通してみることができます。当直や救急科のローテートでも、肺炎を始めとしたありふれた疾患から、稀な疾患に出会うこともあります。研修 2 年間を終えた頃には、自信を持って common disease に対応できるようになると思います。3 年目に独り立ちをするためにも、当院で研修することは今後の糧になるはずです。ぜひ一度当院に見学にお越しください。

先輩研修医から message

研修医 1 年目
春野　綾子

当院の魅力は、程よい規模の病院であるため職員同士のコミュニケーションが活発で、風通しが非常に良い点です。指導医の先生方は教育熱心で、日々の症例や進路に関しても気軽に相談できます。また、困ったことがあればコメディカルの方々もさりげなくサポートしてくださり、病院全体で研修医を育てる雰囲気があります。その為どの科で研修していても、まだまだ未熟な私達が試行錯誤し、失敗しながらも積極的に学ぼうとする姿勢を温かく見守ってくれるので、非常に心強いです。整ったカリキュラムの中で、自主性も尊重してもらえる伸び伸びとした職場です。ぜひ一度見学に来ていただければ幸いです。

女性医師支援コーナー

○育児休業制度
○短時間勤務制度
○深夜業務の制限
○時間外労働時間の制限
○子の看護休暇制度
○病院のすぐ横に、24 時間保育室を運営
○医局に女性専用ラウンジ設置

連絡先　**彩の国東大宮メディカルセンター**

臨床研修センター　野口・大久保

〒 331-8577　さいたま市北区土呂町 1522

TEL 048-665-6111（代表）　FAX 048-665-6112
E-mail kenshui @ shmc.jp
URL http://www.shmc.jp/
アクセス JR 宇都宮線　土呂駅から徒歩 11 分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●病院見学について

病院見学の申込みは、随時受付けております。病院ＨＰの応募フォームからお申込みください。

春・夏のレジナビフェアにも参加いたしますので、ぜひブースにお立ち寄り下さい。

19 社会医療法人 さいたま市民医療センター

病院の概要

- **医師数（研修医を除く）** 63 名（うち指導医数　20 名）
- **研修医数**　1 年目　3 名　2 年目　2 名
- **研修医の主な出身大学**　奈良県立大学・徳島大学・群馬大学・帝京大学・日本大学
- **診療科**　内科　呼吸器内科　循環器内科　消化器内科　腎臓内科　血液内科　糖尿病・内分泌内科　脳神経内科　外科　消化器外科　糖尿病・内分泌外科　整形外科　脳神経外科　アレルギー科　リウマチ科　小児科　泌尿器科　耳鼻咽喉科　リハビリテーション科　放射線科　病理診断科　麻酔科　皮膚科　救急科
- **1 日平均外来患者数**　337 名　● **1 日平均入院患者数**　254 名
- **主な認定施設**　地域医療支援病院、日本内科学会認定制度教育関連病院、外科医専門医制度修練施設、日本脳卒中学会研修教育病院、日本整形外科学会認定専門医制度研修施設、日本麻酔科学会認定病院、災害拠点病院

研修プログラムの特色

当センターの初期臨床研修プログラム理念は深い人間性に基づく、かつ優れたプライマリケア能力を修得医師養成を目指す。当センターは多様な疾患を経験できます。それは年間入院患者数 6 千人以上、2 次救急外来患者数は約 5 千人と幅広い豊富な患者数に支えられているからです。

さらに総合的な視野を有する各専門領域のサブスペシャルティの指導医を備えていることも当院の特徴です。特に当院では大学病院では経験できない、都会型の地域医療に密着した内科、外科、小児科、整形外科、脳外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、麻酔科、リハビリテーション科疾患を経験できます。放射線科、病理診断科における診断学研修レベルは高度で、これらの特色の基に、将来あらゆる領域のキャリア形成にも対応可能な多能性医師養成プログラムを提供します。内科系のみならず外科系領域においても総合医マインドを備えた臨床研修（内科系、外科系ジェネラリスト）プログラムでプロフェッショナル医師を養成します。

プログラム　例　さいたま市民医療センター初期臨床研修プログラム（募集定員 6 人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目	オリエンテーション	救　急			内　科					外　科		
2 年目	小児科			産婦人科	精神科	地域医療	選択必修			選　択		

内科、救急、小児科、外科、精神科、産婦人科、一般外来、地域医療は必修。泌尿器科、整形外科、脳外科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、病理診断科は選択必修科目としこの中から 3 科以上 16 週を選択。産科は協力型研修病院である自治医科大学附属さいたま医療センターにて行う。選択：その他の選択（3 ヶ月 16 週以上）は研修医の希望により、検査手技の習得や他の診療科の研修を目的として、自由に選択できます。

研修医の処遇

給　与	1 年次：40.7 万円 / 月（当直手当含）　賞与 76 万円 / 年（実績） 2 年次：46.3 万円 / 月（当直手当含）　賞与 152 万円 / 年（実績）
諸 手 当	時間外手当
保　険	埼玉県医師会健康保険組合、厚生年金、雇用保険
勤務時間	8 時 30 分～ 17 時 30 分
当　直	あり（4 回 / 月）
休　暇	日曜・祝日・有給休暇・夏季・年末年始休暇
宿　舎	あり
そ の 他	医師賠償責任保険病院負担 / 健康診断（年2回）/ 学会参加費用支給（年2回）

主な臨床研修協力病院 協力施設

- 自治医科大学さいたま医療センター
- 埼玉精神神経センター
- 南魚沼市民病院
- さいたま北部医療センター
- さいたま市立病院

当院の魅力

専門診療と総合診療が融合した指導体制で“軸”になれる医師を育成します

当院は医療需要が増加している「さいたま医療圏」の地域医療支援病院であり、地域医療の司令塔としての役割を担っています。年間 5000 台の救急搬送、かかりつけ医からの紹介、そして大学病院との連携で超急性期から回復期までを担当し、患者さんを住み慣れた自宅や施設などに復帰させています。

それを実現するために、我々は専門診療を縦糸、総合診療を横糸に見たて、縦糸と横糸で織りなす布が患者を包み込むようなイメージを描き診療しています。具体的には内科系診療科を細分化せず、救急総合診療科が内科の主軸となり臓器別専門科がそれをサポートする体制で運営しています。毎朝、全医師が集結し新入院患者の治療方針を議論し各患者に適した主治医団を結成しています。複雑かつ複数の疾患を抱えた高齢者には理想的な臨床決定プロセスであり、毎日欠かさず行っていることが我々の誇りです。

朝カンファレンスでは各臓器別専門医から update された情報を毎日得ることができます。臨床医として地域医療に貢献していきたい医師にとっては理想的な教育環境といえます。

研修責任者から message

救急総合診療科科長
坪井　謙

さいたま市民医療センターは地域に密着した医療をモットーに診療を行っている地域支援病院です。今までも自治医科大学附属さいたま医療センターと連携し、ホスピタリスト育成プログラムで研修医の育成を行っていましたが、昨年より独自にジェネラリスト養成を目的とした研修医育成を始めました。「病気」、「こども」、「けが」に対して、まず「診る」ことができる医師を育てる研修を提供しており、また新専門医制度でどのプログラムに行っても通用する多能性医師を要請できるプログラムを組んでいます。また、豊富な臨床経験を持つ指導医に加え、各科の垣根も低いため、病院内のどこでも気軽に相談できる環境となっています。こんな病院で一緒に働いてみませんか？

先輩研修医から message

研修医２年目
古川　航多

地元さいたまで医師をしたいという希望と外科や小児科への興味から、外科の手術件数が多く、さいたま市の小児救急輪番制を週３日担当している唯一の病院だった当センターを選びました。入職して始めに聞いた「自分の家族を診るように患者さんを診なさい」という指導医の言葉通り、当センターの医師は治療からリハビリケア、地域の介護・福祉と連携して退院後のサポートまで関わるなど、患者さんをとても大切にしています。私は祖父を当センターに紹介しましたが、親身になって治療プランを立てていただき、看取るまで良くしていただきました。自分の家族を安心して任せられる病院というのは実は少ないのではないかと思うので、ここで学べて本当に良かったと感じています。

女性医師支援コーナー

○週４日・3.5 日勤務制度
○院内保育の設置
○当直免除

女性特有の事情に合わせた勤務体系を構築することによりライフステージに合わせた働き方を選択できるようにしています。

連絡先　**社会医療法人　さいたま市民医療センター**

〒 331-0054　さいたま市西区島根 299-1

TEL　048-626-0011（代表）　FAX　048-799-5146
E-mail　soumu @ scmc.or.jp
URL　http://www.scmc.or.jp/
アクセス　JR 大宮駅からバスで 20 分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●病医院見学随時受付
左記の連絡先へ E メール、TEL にてお問い合わせください。

20 医療法人社団愛友会 上尾中央医科グループ 上尾中央総合病院

JCEP Japan Council for Evaluation of Postgraduate Clinical Training
卒後臨床研修評価機構 認定病院

病院の概要

●**医師数（研修医を除く）**211 名（うち指導医数　113 名）
●**研修医数**　1 年目　19 名　2 年目　17 名
●**研修医の主な出身大学**　旭川医科大学・札幌医科大学・弘前大学・秋田大学・山形大学・東北大学・福島県立医科大学・東京医科歯科大学・東京医科大学・東京女子医科大学・日本医科大学・東京慈恵会医科大学・東邦大学・帝京大学・順天堂大学・杏林大学・日本大学・昭和大学・埼玉医科大学・獨協医科大学・聖マリアンナ医科大学・北里大学・東海大学・群馬大学・山梨大学・筑波大学・新潟大学・金沢大学・福井大学・浜松医科大学・名古屋市立大学・信州大学・藤田保健衛生大学・近畿大学・滋賀医科大学・川崎医科大学・島根大学・徳島大学・産業医科大学・熊本大学・佐賀大学・宮崎大学・鹿児島大学・琉球大学・漢陽大学・Shahid Beheshti University

●**診療科**　内科　循環器内科　消化器内科　脳神経内科　糖尿病内科　膠原病内科　腎臓内科　血液内科　呼吸器内科　肝臓内科　アレルギー疾患内科　感染症内科　腫瘍内科　緩和ケア内科　心療内科　小児科　産婦人科　外科　整形外科　脳神経外科　心臓血管外科　消化器外科　肝臓外科　乳腺外科　呼吸器外科　気管食道外科　肛門外科　内視鏡外科　小児外科　泌尿器科　耳鼻いんこう科　頭頸部外科　眼科　形成外科　美容外科　皮膚科　麻酔科　救急科　放射線診断科　放射線治療科　病理診断科　臨床検査科　リハビリテーション科　歯科口腔外科

●**1 日平均外来患者数**　1608 名　●**1 日平均入院患者数**　654 名
●**主な認定施設**　地域医療支援病院、災害拠点病院、ロボット心臓手術実施施設、ダヴィンチ手術症例見学施設（前立腺摘出術、膀胱全摘除術）、埼玉県がん診療指定病院、卒後臨床研修評価機構認定病院、他

研修プログラムの特色

17 か月（68 週）の必修期間と自分の将来への展望を踏まえ、7 ヶ月（24 週～ 28 週）の選択期間を研修医の意向を尊重しながら、指導医と相談の上組むことができます。市中病院にあって豊富な診療科を有する当院の特徴を生かしてもらいたいと思 います。救急総合診療科研修・救急科研修 & 当直研修・地域医療研修を 3 本の柱とし、外科・麻酔科・産婦人科・ 小児科・精神科を必修科目としています。地域医療研修を北海道、鹿児島県、沖縄県、岡山県、香川県などのへき地・離島や宮城県の被災地で行い、当該地域での医療ニーズを把握、訪問診療などの地域に密着した医療、医療資源 の少ない地域での医療の特徴を学ぶとともに、異なる環境での研修を通じて医師としての自信を深めるチャンス となります。また、研修期間を通じ、患者及び医療従事者の双方に安全な医療を遂行できる能力、すなわち医療事故の未然防止及び事後の対応方法を理解し、さらに病院感染防止対策について理解し、マニュアルに従って行動できる能力を身につけていきます。

プログラム　例　上尾中央総合病院臨床研修プログラム（募集定員 19 人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目	内科系（内科≪糖尿病・血液≫・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・神経内科・腎臓内科・腫瘍内科・総合診療科）から 2 科以上選択　※総合診療科は 3 ヶ月必修　（24 週）						救急部門			麻酔科		外科
2 年目	外　科	小児科	産婦人科	地域医療	精神科	選択期間						

○必修：内科系 24 週、救急科 12 週、麻酔科 8 週、外科 8 週、小児科 4 週、産婦人科 4 週、精神科 4 週
○選択：24 週～ 28 週（内科≪糖尿病・血液≫、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、腎臓内科、腫瘍内科、総合診療科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、産婦人科、耳鼻いんこう科、麻酔科、放射線診断科、臨床検査科、救急科、病理診断科、地域研修）
※当院で決めた必須科目の外科については、4 週は外科を必須として 4 週については外科系（外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、耳鼻いんこう科、泌尿器科）の中から選択できることとする。
※地域研修は必修 4 週、選択 4 週まで（合計 8 週選択可能）※精神科研修は埼玉県立精神医療センターで実施する。

研修医の処遇

給　与	1 年次：40 万円 / 月　2 年次：43 万円 / 月
諸 手 当	当直手当、日勤手当
保　険	健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金、厚生年金基金あり
勤務時間	9 時～ 17 時 30 分
当　直	あり（4 回程度／月）
休　暇	有給休暇（入職 3 カ月後：3 日　6 カ月後：7 日　初年度：10 日支給） その他（特別休暇・年末年始・産前産後休業・育児休業・介護休業）
宿　舎	あり：当院規定（5 万円を上限として、家賃半分を支給する※上尾市内市内在住限定）
そ の 他	処遇：常勤、健康診断：年 2 回、医師賠償責任保険：病院において加入・個人加入は任意、学会・研究会等への参加：可、参加費用支給有 医療費見舞金制度・24 時間保育園・保養所（軽井沢 / 那須 / 山中湖）・院内旅行・その他

主な臨床研修協力病院 協力施設

・埼玉県立精神医療センター
・医療法人徳洲会　帯広徳洲会病院
・医療法人徳洲会　徳之島徳洲会病院
・特定医療法人沖縄徳洲会　与論徳洲会病院
・特定医療法人沖縄徳洲会　石垣島徳洲会病院
・気仙沼市立本吉病院
・社会医療法人緑壮会 金田病院
・小豆島中央病院
・医療法人　哲西会　哲西町診療所
・矢掛町国民健康保険病院 他

当院の魅力

『自立』『責任』『信頼』

当院の初期臨床研修のキーワードです。医師としての基盤となる３つの資質を身につけ、伸ばすことを約束するプログラムです。

『自立』 救急外来では年間約 9,000 台の救急車を研修医たちがファーストタッチで捌きます。指導医は裏方の役目に徹し、研修医がまさしく自分自身の力で診療する能力を養います。

『責任』 総合診療科研修ではほぼ主治医に匹敵する仕事を任されます。治療方針の決定や IC も研修医の仕事です。甘えは許されません。

『信頼』 地域医療研修では自ら外来枠をもちます。患者さんひとりひとりと密接な関係性を構築することが求められます。

◎「ほどほど」「そこそこ」という研修を求めていません。「徹底的に」学んでください。サポートもしっかり行います。臨床研修管理委員会とは別に臨床研修指導者委員会を設置し、５～ 10 年目の若手医師、看護師、メディカルスタッフが 研修医ひとりひとりに目を向けて研修の様子をいつも見守っています。

研修責任者から message

プログラム責任者
黒沢　祥浩

３年後、専攻医研修を受けている自分を想像してください。多くの研修医は大学病院に所属し、アルバイト生活を始めます。アルバイト先では当直業務を自分一人で行うことになります。「指導医」はいません。業務のどんな場面にあっても適切に診療していく・・・。当院の研修卒業生たちは、救急能力を身につけています。「自信をもってやってます」「上尾での救急に比べたら患者数も重症度も大したことないです」と卒業生たちは口を揃えてこのように話しています。当院に見学に来られる学生さんたちは「研修医の先生、かっこいいですね」と言ってくれます。そう評価されるための環境を準備して皆さんを待っています。

先輩研修医から message

研修医 1 年目
岡田　佳子

「上尾の研修は決して優しいものではありません。」

見学の際にそう言われましたが、その時に出会った研修医の先生方の背中に憧れ、メンタルの弱すぎる自分を変えたいと思い、上尾での研修を決めました。

とはいえ、そう簡単に自分が変わるわけはなく、研修がはじまって２ヶ月経過しても、毎日自分のポンコツさを感じては、帰り道に一人反省会をしてへこむ日々を過ごしています。

先生、〇〇さんが胸を痛がっています！どうしましょう！××さん、寝てるときに血圧が急に下がっちゃって、どうしましょう。私よりもはるかに知識のある看護師さんからのどうしましょうに、どうしましょうねぇ～（泣）と返答していた４月。注射が痛くて泣いてる子供と同じくらい、うまく点滴がとれなくて泣きそうになっていた５月。病棟から呼ばれても、結局何もできなくて誰か先輩を呼ぶだけ、そんなふがいない日々に、上尾に来たこと、間違っていたかな、と思うこともありました。

そんな弱気すぎる私が、毎日頑張れる理由は、身近にいる先輩方の存在です。救急外来で手も足もでなくて固まる私の所に駆けつけてくれるスーパーヒーロータイプ、出来なかった所をミニレクチャーしてくれる先生タイプ、後ろで見てるから、やってみな！というお父さんタイプ。ここで真面目にやっていれば、いつか自分もこんなに頼れる存在になれるんだ、と思わせてくれるこの環境は、他にはないと思います。また、前の日にどんなにできなくても、次の日にはもう一回トライできるチャンスがあることも魅力の一つです。とても小さなことの積み重ねですが、出来ることが増えていくのを実感できる毎日に、やりがいを感じています。ここまで、上尾にきて２ヶ月の私がお送りしました。ひと学年 19 人に聞いたら、19 通りの充実した研修生活を教えてくれると思います。文章では到底伝えきれないので、是非一度見学にいらしてください。

女性医師支援コーナー

当院では、女性医師の働きやすい環境を整えるため、以下の規定があり、ひとりひとりの研修医にそれぞれの働きやすい環境を提供できるようにサポートします。

- 妊産婦への配慮 -

【妊娠中】

母体保護の観点から、妊婦中の研修医は原則として当直研修を行わない。ただし、本人より当直以外の時間外勤務勤務の希望があれば臨床研修センター長 および救急総合診療科責任者との面談・調整の上、土曜日の午後や日祝日の日中等に研修を行っても良いこととする。

【育児中】

育児中の当直は研修医および児の状況を勘案し、臨床研修センター長および救急総合診療科責任者との面談・調整の上、当直研修実施の有無および回数を決定することとする。

・短時間勤務制度
・院内保育の設置
・当直免除

※実績あり。現在も当院で勤務しています。

連絡先　**上尾中央総合病院**

人事課　秘書係（臨床研修担当）

〒 362-8588　　上尾市柏座 1-10-10

TEL　048-773-1111（代表）　　FAX　048-773-2952

E-mail　ishi_jinji@ach.or.jp

URL　http://www.ach.or.jp

アクセス　JR 高崎線　上尾駅西口より徒歩 3 分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

【見学】

ホームページ上の初期臨床研修、見学申し込みはフォームよりお申込みくださ い。

【2020 年度・初期臨床研修プログラム 説明会】2020 年 3 月 28 日（土）14：00 ～ 17：00（予定）

※医学生もご参加いただけますのでご 気軽にお問い合わせください。

21 小川赤十字病院

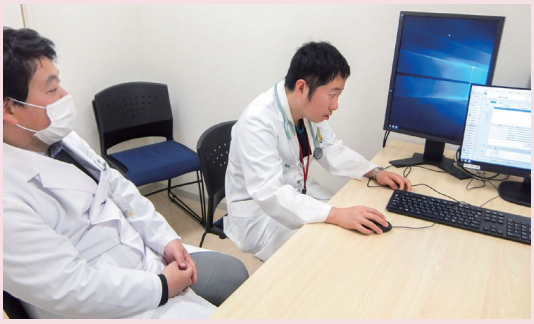
病院の概要

- **医師数（研修医を除く）** 29 名（うち指導医数　13 名）
- **研修医数**　1 年目　0 名　2 年目　1 名
- **研修医の主な出身大学**　宮崎大学・日本医科大・聖マリアンナ医科大学・群馬大学・昭和大学・東北大学
- **診療科**　内科　循環器科　呼吸器科　リウマチ科　神経内科　血液内科　腎臓内科　糖尿病・内分泌内科　精神科　外科　乳腺・内分泌外科　消化器科　整形外科　脳神経外科　皮膚科　泌尿器科　婦人科　眼科　耳鼻咽喉科　放射線科　麻酔科　リハビリテーション科
- **1 日平均外来患者数**　572 名　● **1 日平均入院患者数**　234 名
- **主な認定施設**　埼玉県がん診療指定病院、日本内科学会認定医制度教育関連病院　日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本循環器専門医研修施設　日本リウマチ学会教育施設、日本血液学会認定血液研修施設　等

研修プログラムの特色

地域の中核的な役割を担う公的病院であり、初診から最終転帰に至るまで当院で一貫して診察を行うケースも多く、全人的な医療、プライマリ・ケアを研修することに適している環境にあります。赤十字病院として災害救護訓練を行っています。1 年目は内科、外科、救急医療の研修にて基礎力を磨き、2 年目は研修医の希望により柔軟な対応が可能となっております。小川赤十字病院での臨床研修の目標は、赤十字の使命である「人道」に基づき展開される全人的医療を行う中で、医療機関・医師の社会的役割について充分な認識を深め、将来にわたり必要となってくる基本的診療能力（知識・技能・基本的態度）及び医師としての人格の涵養です。

年度途中からの開始や中断した研修の再開も対応いたします。



プログラム　例　小川赤十字病院医師臨床研修プログラム（募集定員 2 人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目	内　科						選択科			精神科	外　科	
2 年目	選択科	小児科	産婦人科	救　急		麻酔科	地域医療	外来	選択科			

地域医療はさつき内科クリニック、大野クリニックから選択する。
必修科目のうち小児科、産婦人科、救急医療（うち 8 週）は埼玉医大で実施する。
選択科目はリウマチ、循環器、消化器、内分泌・代謝、神経、血液、整形外科、脳神経外科、眼科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、リハビリテーション科、地域保健（日本赤十字社埼玉県支部特別養護老人ホームひなた荘、小川町保健センター）から選択する。

研修医の処遇

- **給　与**　1 年次：約 40 万円 / 月　2 年次：約 45 万円 / 月
- **諸 手 当**　当直手当、通勤手当、勤勉手当（年 2 回）、時間外手当
- **保　険**　健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
- **勤務時間**　月～金曜日　8 時 30 分～ 16 時 45 分　第 1・3 土曜日　8 時 30 分～ 12 時 30 分
- **当　直**　あり（2 ～ 3 回）
- **休　暇**　有給休暇　1 年次 15 日　2 年次 21 日
- **宿　舎**　なし（家賃補助あり）

主な臨床研修協力病院 協力施設

- 埼玉医科大学病院
- 小川町保健センター
- 特別養護老人ホームひなた荘
- さつき内科クリニック
- 大野クリニック

当院の魅力

地域に密着した医療

小川赤十字病院は埼玉県西部に位置し、病棟からは外秩父が一望できる緑豊かな環境に立地しております。

昭和 14 年に開設されて以来、80 年の歴史を通じて、地域に密着した医療を続けてきました。急性期医療及び二次救急を中心としておりますが、周辺医療機関との連携や訪問看護にも取り組んでおります。

また、赤十字病院として、救護班（医療チーム）を被災地へ派遣するなど、災害に備えた体制を整え、定期的な災害救護訓練も実施しております。

研修責任者から message

プログラム責任者
秋山　雄次

地域の中核病院で積極的、意欲的に臨床研修をしたいと考えている方を歓迎します。全人的な医療、プライマリ・ケアの研修により幅広い臨床能力を身につけることができるはずです。災害救護のトレーニングも可能です。

小川赤十字病院の研修プログラムは、選択枠が広く、研修医の方の希望にそうことができます。また救急医療・産婦人科・小児科は埼玉医科大学病院での研修になります。各専門分野の指導医、専門医が揃っておりますので、ぜひ一度見学においで下さい。

先輩研修医から message

研修医２年目
吉田　龍司

私は大学病院で初期臨床研修を開始しましたが、一身上の都合により小川赤十字病院に異動してきました。

当院は地域の中核病院を担っており、精神科の病床もあるユニークな病院だといえます。

また内科では専門性の垣根はあるものの、誤嚥性肺炎や肺炎、失神などは各内科の先生がみたりします。その為 Common Disease は一通りみることが可能だと思います。

また当院は医師不足であり、その分研修医に求められるものも大きいのですが、それがやりがいとなっております。といっても長時間労働かというとそうでもなく、就業規則は守られていますし、時間外手当もちゃんとでます。

指導医はしっかりフォローしてくれますし、他看護師などのスタッフもあたたかい人ばかりで助かっています。

百聞は一見に如かず。是非一度病院見学にいらしてください。

女性医師支援コーナー

○産休
○出産祝金（在職２年目以降）
○育休
○育児短時間勤務
○時差出勤、時間外勤務の制限、深夜勤務の免除、所定労働時間を超えない勤務
○子の看護休暇

連絡先　**小川赤十字病院**

企画総務課　竹崎公貴

〒 355-0397　比企郡小川町小川 1525

TEL 0493-72-2333（代表）　FAX 0493-72-2755
E-mail info@ogawa.jrc.or.jp
URL http://www.ogawa.jrc.or.jp
アクセス 東武東上線・JR 八高線　小川町駅　バス 5 分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学の申込方法
日程調整させていただきますので、企画総務課あて連絡をお願いします。

22 社会医療法人社団 新都市医療研究会〔関越〕会 関越病院

病院の概要

- **医師数（研修医を除く）** 25 名（うち指導医数　11 名）
- **研修医数**　1 年目　4 名　2 年目　4 名
- **研修医の主な出身大学**　北里大学・鹿児島大学・徳島大学・東京医科大学・信州大学・佐賀大学・日本医科大学・埼玉医科大学・昭和大学・大阪医科大学・筑波大学・琉球大学・鳥取大学・帝京大学・産業医科大学・高知大学・群馬大学・島根大学・日本大学・山形大学・大分大学・弘前大学・京都府立医科大学
- **診療科**　外科　内科　整形外科　循環器内科　リウマチ科　消化器内科　消化器外科　神経内科　呼吸器内科　泌尿器科　形成外科　皮膚科　脳神経外科　アレルギー科　リハビリテーション科　放射線科　乳腺外科　肛門外科　糖尿病内科　人工透析内科　救急科　眼科　麻酔科
- **1 日平均外来患者数**　441 名　● **1 日平均入院患者数**　182 名
- **主な認定施設**　日本内科学会認定教育関連施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設、日本整形外科学会専門医制度研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本泌尿器科学会関連教育施設、日本プライマリ・ケア連合学会認定施設　など

研修プログラムの特色

昭和 49 年に開院以来、地域密着医療を行ってきた急性期病院です。診療する疾患は多岐にわたります。関越病院の理念と方針の下、1 次・2 次救急医療を昼夜問わずに行っています。また慢性期疾患の外来診療及び訪問診療も充実していて、地域に幅広く貢献しています。このような特徴を持つ当院の臨床研修プログラムは、地域医療を担う病院で遭遇するあらゆる疾患のプライマリ・ケアに必要な基本的な知識、技術の習得と、社会人であり、また医師であることの心構えと態度を身につけることを目的とします。研修の根幹は「多彩で豊富な症例」で研修すること。指導方法は「指導医とのマンツーマン教育」であり、実際の診療を繰り返し経験し、知識・技術を習得します。診療は「チーム医療」であり、様々な職種のベテラン職員との触れ合いは人間性を磨く絶好の機会です。

プログラム　例　関越病院　医師臨床研修プログラム（募集定員 4 人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目	内　科						救　急		小児科	産婦人科	精神科	外　科
2 年目	外科系		地域医療	選択科								

○外科系は外科、整形外科、泌尿器科を各 4 週研修します。
○地域医療研修は外来研修も含め 4 週、選択科は外来研修（0.5 日 / 週）を含め 38 週となります。
○2 年目に保健・医療行政研修が 1 週入ります。

研修医の処遇

給　　与	1 年次 :40 万円（税込）、2 年次 :45 万円（税込）、賞与あり
諸 手 当	当直・日直手当、食事手当他
保　　険	健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
勤務時間	8 時 20 分～ 17 時 30 分（実働 8 時間）
当　　直	あり（4 回程度 / 月）
休　　暇	1 年目 :10 日　2 年目 :11 日
宿　　舎	あり（病院より半径 2km 以内）

主な臨床研修協力病院 協力施設

- 埼玉医科大学病院
（小児科・産婦人科・神経精神科）
- 埼玉医科大学総合医療センター
（小児科・産婦人科・神経精神科）
- 関越クリニック（地域医療）
- 南町クリニック（地域医療）
- 関越腎クリニック（地域医療）
- 埼玉県内保健所（保健・医療行政）

当院の魅力

新病院がオープンしました

当院では建物の老朽化に伴い、平成 27 年 7 月から全面的な建替工事を行っておりましたが、この度令和元年 9 月に全ての工事が終了し、フルオープンを迎えました。ER 部門や手術室、ICU の整備を行い、患者さんの療養環境を整えると共に医師をはじめとする職員の働く環境の改善に配慮して改築を行いました。新病院では職員用のラウンジを設置したり、地域の医療機関や福祉施設との連携を更に強化し、患者さんやそのご家族・地域関係者のご要望に幅広くお応えするために患者支援センターを新設しました。今まで以上に地域の医療介護に携わる皆様と共に連携をしっかり行い、地域のために役立てるよう努めております。新病院の動画をアップしておりますので QR コードを読み込み、是非ご覧ください。

研修責任者から message

プログラム責任者
松田　香

なぜ医師になろうと思ったか初めの気持ちを思い出してみませんか。

当院では急性期医療を担う地域の病院として、よくある疾患を経験しながら、見逃してはいけない疾患を見分ける研修ができます。特に当直ではどの医師も一般診療に当たりますので共に様々な経験をしましょう。

また、院内の医療チームのカンファへの参加や、勉強会を通して力をつけていく機会もあります。患者さんはご高齢で様々な背景を持っている方が多くおり、退院に向けての多職種を通してのマネージメントが必要です。その中で医療チームとしての医師の役割を実感しましょう。

2 年間の研修の中で、学生時代にはないダイナミックな経験をしながら、コミュニケーション力、バランス感覚も身につきます。

初めの気持ちを行動に移すため、長い職業人生のスタートを私達と歩み出しましょう。

お待ちしています。

先輩研修医から message

研修医
谷本　和也

研修が始まって思うことは、自分の知識の無さです。国家試験を通ったところで、紙面上と実際は全くもって違うものです。たった 1 つの症状でも考えるべきことはたくさんあって、危ない病気はちゃんと否定できているのか？この前出した検査や治療は本当にあれでよかったのか？、そんなことを自問自答する毎日です。分からなかったことは先生に聞いてみたり、勤務が終わり家に帰ってから勉強してみたり、そんな日々を送らせて頂いています。当院研修プログラムでは埼玉医科大学総合医療センター精神科、小児科、産婦人科も回ることが出来ます。高齢者ばかりでなく若い人も診ることができ、また市中病院だけでなく大学病院の先生方の考え方も勉強出来てよかったと思っています。三年目以降は子供を診るお医者さんもいいかも…と思ったり三年目以降の進路に悩んではいますがどんな医者になるにしても、どんな患者さんにも優しく向き合えるお医者さんになりたいので一日一日を大事に過ごしていきたいと思っています。

女性医師支援コーナー

当院では、女性・男性分け隔てなく、仕事と家庭の両立する職員の支援を積極的に進めております。

主な支援策として、① 365 日保育可能な保育園を敷地内に完備。平日だけでなく、日直の時にもご利用いただいております。　②産前産後休暇や育児休暇、復帰後の短時間勤務　③日当直の免除もしくは制限の 3 点が対応可能となっております。またご家族の事情を勘案した働き方も相談の上、勤務を決定することもできます。病院見学時には保育園の見学も可能ですので、是非お申し出ください。

連絡先　社会医療法人社団 新都市医療研究会〔関越〕会　**関越病院**

研修管理室　臨床研修担当

〒 350-2213　鶴ヶ島市脚折１４５－１

TEL 049-227-6900（直通）　FAX 049-286-7462
E-mail recruit@kan-etsu-hospital.or.jp
URL http://www.kan-etsu-hp.ne.jp/hospital/
アクセス 東武東上線坂戸駅下車　南口より徒歩 13 分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

当院では、学生の皆様のご都合に可能な限り合わせた形で病院見学を行っております。連絡先の電話もしくはメールにてお申し込みください。

尚、病院見学が面接受験の条件となりますので、皆様のお問い合わせをお待ちしております。

23 独立行政法人国立病院機構 西埼玉中央病院

病院の概要

- **医師数（研修医を除く）** 50 名（うち指導医数　13 名）
- **研修医数**　1 年目　2 名　2 年目　2 名
- **研修医の主な出身大学**　昭和大学・東海大学・浜松医科大学・徳島大学・群馬大学・岡山大学・宮崎大学・日本大学
- **診療科**　内科　消化器内科　循環器内科　呼吸器内科　代謝・内分泌内科　精神科　小児科　外科　整形外科　脳神経外科　皮膚科　泌尿器科　産婦人科　眼科　耳鼻咽喉科　放射線科　歯科　麻酔科　リハビリテーション科
- **1 日平均外来患者数**　440.6 名　**1 日平均入院患者数**　206.7 名
- **主な認定施設**　地域医療支援病院、日本外科学会専門医修練施設、日本内科学会認定医教育関連施設、日本整形外科学会専門医研修施設、小児科専門医研修施設、日本産科婦人科学会専門医研修指導施設

研修プログラムの特色

当院の研修プログラムは、2020 年度からの完全必修科を考慮して 2019 年度より大幅改定を行いました。今まで、西埼玉中央病院の弱みであった救急研修が、埼玉医科大学国際医療センターの救命救急研修を 2 ヶ月行う協力型の締結により、当院の強みにもなりました。また、2017 年度より、呼吸器内科が新設され、消化器内科・循環器内科・呼吸器内科と内科研修も充実した診療体制が整っています。自施設では、外科・小児科・産婦人科臨床研修も行うことができます。精神科科は国立精神神経医療研究センターでの研修、麻酔科は国立病院埼玉病院、神経内科は国立病院東埼玉病院での研修となります。自施設では、不足している領域は、日本の中でもトップクラスの医療機関との連携により、初期臨床研修としては充実した研修が実現することができました。

定数 3 人の少人数であり、きめ細やかな研修指導が可能です。

当直は、週 1 回、月 1 回土日当直になります。

プログラム　例　西埼玉臨床研修プログラム（募集定員 3 人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目	内　科							救急		外　科		小児科
2 年目	産婦人科	放射線科	精神科	麻酔科	地域医療	選　択						

○内科必修：消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、代謝・内分泌内科および東埼玉病院での神経内科。いずれも 1.5 ～2ヶ月。
○救急必修：埼玉医科大学国際医療センターでの三次救急。
○選　　択【内科系】消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、代謝・内分泌内科および東埼玉病院での神経内科
【外科系】消化器・一般外科、整形外科、泌尿器科、産婦人科、脳外科
【救　急】埼玉医科大学国際医療センターでの三次救急
【その他】小児科、麻酔科、救急、放射線科、および国立精神・神経医療研究センター病院での精神科

研修医の処遇

給　　与	約 36 万円 / 月
諸 手 当	通勤手当、超過勤務手当、宿日直手当等
保　　険	社会保険、厚生年金、雇用保険あり
勤務時間	8 時 30 分～ 17 時 15 分
当　　直	あり（4 回 / 月）
休　　暇	有給休暇年間 12 日付与
宿　　舎	あり

主な臨床研修協力病院 協力施設

- 埼玉医科大学国際医療センター
- 国立病院機構埼玉病院
- 国立病院機構東埼玉病院
- 国立精神・神経医療研究センター病院
- 平沢記念病院
- わかさクリニック

当院の魅力

研修しやすい環境

① 新研修医プログラムで、研修医のニーズにあった研修プログラムの実現
② 研修教育に熱心な指導医が多く在籍しています。
③ 研修医官舎は病院敷地内にあり、比較的広く新しくきれいです。家具付き。家賃月２万円。
④ 研修医のための研修医室があり、机を並べて、お互い励まし、刺激し合っています。
⑤ 埼玉県といっても、池袋・新宿までアクセスも良好です。
⑥ 病床 325 床の研修病院で、少人数の研修医数のため、より多くの患者を診療する機会があります。

ともに学習し、ともに働く研修医の参加を期待しています。

研修責任者から message

研修責任者
濱元　陽一郎

当院の新研修医プログラムに改定した 2018 年の夏、3 名の定員枠で 7 名もの医学生が受験をしてくれました。今までは、中間マッチングもよい結果ではありませんでしたが、2018 年初の中間マッチング 100% を達成し、最終マッチングでも新たに上位 3 名フルマッチを達成することができました。大きな変革期に、飛び込んできてくれた、新研修医の意見を生で聴き、是非私たちと一緒によりよい研修を行いましょう。

研修教育は決して競争ではありません。自己との戦いでもあります。自立した医師になれるように、社会人としての教育も心がけて指導していきます。

是非、一度見学にいらしてください。

先輩研修医から message

研修医２年目
森山　麗音

研修先を選ぶにあたって私が重要視したのは「自分のペースで研修を受けられる、かつ必須な臨床トレーニングを受けられる」という点でした。西埼玉中央病院はそれらを満たしている上に研修医からの意見も柔軟に取り入れてくれる風通しの良い環境です。「もっとこれをやってみたい！」という声も届きますし「体調が悪くて辛い」という声も届きます。そうやって研修医のありのままを受け入れてくれる上級医の先生が多い病院です。

プログラムも変わりまして三次救急までしっかり受けられるようになりました。マイペースにけれどじっくり臨床現場を経験したい方にはオススメです。

ぜひ一度、見学にいらしてください。埼玉県内、県外どちらの出身の方々も大歓迎です。

女性医師支援コーナー

当院ではワークライフバランスのとれた研修生活を送れるよう積極的に女性医師を支援しています。

家庭を持っている方、子育て中の方も安心して研修生活が送れるよう研修プログラムにはある程度の柔軟性を持たせています。また、保育園が隣接していて子供を預けながら研修することも可能であり、小児科には女性医師もいるため育児に関する相談にも気軽にのってもらえる点が利点です。

現在、子育て中のレジデントや研修医もいますので、ぜひ一度見学にいらしてください！

連絡先　独立行政法人国立病院機構　**西埼玉中央病院**
管理課給与係　高橋賢士郎

〒 359-1151　所沢市若狭 2-1671

TEL 04-2948-1111（代表）　FAX 04-2948-1121
E-mail takahashi.kenshiro.se@mail.hosp.go.jp
URL http://www.hosp.go.jp/ ～ wsaitama/byouin_shoukai.html
アクセス 西武線小手指駅から徒歩 20 分又は狭山ヶ丘駅から徒歩 20 分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●当院 HP「職員募集ページ」から病院見学をお申込みください。
病院見学では当院臨床研修医及び若手医師と昼食会を設けています！！
宿泊施設は院内にて格安で提供いたします。

24 社会医療法人財団石心会 埼玉石心会病院

病院の概要

●**医師数（研修医を除く）** 114 名（うち指導医数　25 名）
●**研修医数**　1 年目　7 名　2 年目　7 名
●**研修医の主な出身大学**　徳島大学・福島県立医科大学・産業医科大学・東京女子医科大学・高知大学・東海大学・日本大学・昭和大学・獨協医科大学・埼玉医科大学
●**診療科**　内科　呼吸器内科　循環器内科　消化器内科　糖尿病内科　内分泌・代謝内科　腎臓内科　神経内科　感染症内科　人工透析内科　緩和ケア内科　外科　呼吸器外科　心臓血管外科　消化器外科　乳腺・内分泌外科　肛門外科　整形外科　脳神経外科　形成外科　精神科　小児科　皮膚科　泌尿器科　婦人科　眼科　耳鼻咽喉科　リハビリテーション科　放射線科　病理診断科　救急科　麻酔科　歯科（33 診療科）
●**1 日平均外来患者数**　124 名　●**1 日平均入院患者数**　400 名
●**主な認定施設**　臨床研修指定病院（基幹型）、地域医療支援病院、日本病院機能評価認定施設

研修プログラムの特色

患者中心の医療を行い地域社会に貢献する医師となるべく、医師としての良識とチーム医療を実践できる能力を身に着けること。そして将来専門とする分野にかかわらず、医師として必要な診療に関する基本的知識、技術、問題解決力を習得することを研修の理念としています。

初期臨床研修とは「医者の基本」を学ぶための研修です。「幅広い初期救急対応能力の習得」と「頻繁に遭遇する Common disease に対する診療能力を身に着ける」。当院ではこの２つの目標を最重視しており、将来どんな専門分野に進んだとしても必要となる基本的臨床能力の指導に力を入れております。 当院は地域の中核的な超急性期病院であり、救急患者や緊急入院が多く、また複数の医学的問題を抱えた高齢者の入院が多いことが特徴の一つです。臓器にとらわれない「Generalist の視点」で救急から入院初療、退院まで一貫して関わり、退院後のケアや患者家族の心情までも配慮できる「主治医としてのマネジメント能力」の礎となる研修を行っています。

プログラム　例　埼玉石心会病院臨床研修プログラム（募集定員 10 人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目	内科（総診 8 週、腎内 8 週、消内 8 週、循内 8 週）32 週							救急 4 週	外科（消外 8 週、他外 4 週）12 週			救急（麻酔）4 週
2 年目	救急 4 週	地域医療 4 週	小児科 4 週	産婦人科 4 週	精神科 4 週	選択ローテーション 32 週						

○内科 32 週：総合診療科（※）8 週、腎臓内科 8 週、消化器内科 8 週、循環器科 8 週が必須。　※総合診療科（主に内科領域、神経、呼吸器、内分泌、糖尿病内科を研修する）
○救急 12 週：1 年次に 4 週、2 年次に 4 週必須。　※麻酔科、救急当直（月に数回）と毎週半日の救急研修を合わせて合計 12 週以上とカウントする。
○外科 12 週：消化器外科＋乳腺内分泌外科 12 週（または消化器外科＋乳腺内分泌外科 8 週＋外科系 4 週）が必須。
※外科系：消化器外科、心臓血管外科、整形外科、乳腺内分泌外科、脳神経外科、泌尿器科、形成外科
○麻酔科（救急）：4 週必須　○小児科：2 年次に 4 週必須。研修協力施設：済生会川口総合病院（8 週）/ 埼玉医科大学病院　※一般外来研修を含む
○産婦人科：2 年次に 4 週必須。研修協力施設：埼玉医科大学病院 / 西埼玉中央病院
○精神科：2 年次に 4 週必須。研修協力施設：埼玉医科大学病院 / 川越同仁会病院
○地域医療：2 年次に 4 週必須。研修協力施設：町立小鹿野中央病院、南魚沼市民病院、さやま総合クリニック　※一般外来研修および在宅医療研修を含む
○選択ローテーション：合計 32 週 以下の診療科から選択ローテーションする。各科は原則として最低 4 週以上から選択可。既にローテートした　必修科を繰り返し選択可（必修科と選択ローテーションを分けずに必修科を延長することも可）。
総合診療科、腎臓内科、消化器内科、循環器科、外科（消化器外科、乳腺内分泌外科）、整形外科、脳神経外科、救急科、心臓血管外科、形成外科、麻酔科、泌尿器科、皮膚科、リハビリテーション科

研修医の処遇

給　　与	1 年次：40 万円 / 月、2 年次：45 万円 / 月
諸 手 当	通勤手当、当直手当
保　　険	健康保険、厚生年金、雇用保険あり
勤務時間	8 時 30 分～ 17 時（土曜日 13 時）
当　　直	あり（4 ～ 6 回／月）
休　　暇	土曜日午後、日曜、祝祭日
宿　　舎	あり　※家賃補助制度

主な臨床研修協力病院 協力施設

・埼玉石心会病院
・済生会川口総合病院（小児科）
・埼玉医科大学病院（小児科、産婦人科、精神科）
・西埼玉中央病院（産婦人科）
・川越同仁会病院（精神科）
・小鹿野中央病院（地域）
・南魚沼市民病院（地域）
・さやま総合クリニック（地域）

当院の魅力

～教育のあるところに人は集まる！～

埼玉石心会病院は研修医教育に力を入れています。「幅広い初期救急対応能力の習得」と「頻繁に遭遇する Common disease に対する診療能力を身に着ける」この二つの目標を最重視しており、将来どんな専門分野に進んだとしても必要となる基本的臨床能力の指導をしていきます。

①【バランスのとれた研修内容】救急車の受け入れ台数は年間 8,000 台以上。救急患者や重症患者が多いため、気管挿管、胸腔ドレナージ、中心静脈路確保などベッドサイド手技の件数が圧倒的に多いです。しかしそれだけではなく、Attitude（患者との接し方、問題解決能力）・Skill（手技）・Knowledge（知識）をバランスよく指導していきます。

②【救急研修の工夫】1 年次と 2 年次の 2 回に分けて救急ローテーションを行い、安全性ときめ細かいフィードバックがもらえる屋根瓦式診療体制を整えています。また救急ローテーションとは別に、毎週半日の救急研修を 2 年間継続して行います。診療の振り返りを行いながら課題を見つけ、ステップアップ式に初期救急対応能力を身に着けることができます。

③【丁寧な研修医教育】経験した症例や手技について指導医とのディスカッションを重ねて丁寧なフィードバックをもらうことができます。埼玉石心会病院では診療を振り返り、自らの気づきや課題を見つけて学びを促していく「Reflective Learning」の教育手法を大切にしています。

④【豊富な教育行事と学び教え合う文化】研修医向け勉強会が豊富にあり、学んだことを常に仲間と共有（シェア）していく文化が根付いています。診療科の垣根がなく、指導医や先輩研修医と気軽に語り合える和気藹々とした雰囲気があり、指導医と研修医がお互いに教え合い、学び合う文化を大切にしています。

研修責任者から message

研修管理委員長プログラム責任者
元　志宏

初期研修とは「医者の基本」を学ぶための研修です。「幅広い初期救急対応能力の習得と頻繁に遭遇する Common disease に対する診療能力を身につけること」、当院ではこの 2 つの研修目標を最重視しており、将来どんな専門分野に進んだとしても最低限必要となる基本的臨床能力を鍛えるための研修に力を注いでいます。ベッドサイドの手技の件数が多いことも魅力の一つですが、当院は急性期医療を担う中核病院であるとともに在宅医療にも力を入れており、「地域完結型医療」を研修することが出来ます。2 年間の初期研修終了後には、「医者の基本」を十分に習得できていることでしょう。ぜひ一度埼玉石心会病院に見学に来てください。お待ちしております。

先輩研修医から message

研修医 1 年目
角　建太朗

埼玉石心会病院は地域の中核病院として「断らない医療」を実践しており、年間約 8,000 件もの救急車を受け入れています。救急の初療は主に初期研修医が行うことができ、経験できる症例の数とバラエティーの豊富さは当院の研修の魅力です。もうひとつの魅力は、指導医の先生方や先輩研修医との距離が近いことです。上手くいかないことや自分 1 人では解決できない問題に直面した際に、親身に相談に乗ってくださる先生方や先輩の存在に何度も助けられてきました。他にも、手技を経験する機会が多いこと、指導熱心な先生が多いことなど当院は様々な面において非常に恵まれた環境です。

興味を持たれた方は是非一度病院見学にいらしてください。お待ちしております。

女性医師支援コーナー

産休・育休を取得して復帰された女性医師が複数いらっしゃいます（出産を機に辞めたという方はいらっしゃいません）。また育児のための当直免除や短時間勤務職員制度もあります。院内保育所では 24 時間保育を 365 日行っており、女性医師が働きやすい環境整備に努めています。

連絡先　社会医療法人財団石心会　**埼玉石心会病院**

担当　関　雅昭

〒 350-1305　狭山市入間川 2-37-20

TEL 04-2953-0909（直通）　FAX 04-2953-8040
E-mail masaaki-seki@saitama-sekishinkai.org
URL http://www.saitama-sekishinkai.jp
アクセス 西武新宿線　狭山市駅から徒歩 10 分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- 病院見学の申込みは随時行っています。気軽にお申し込みください。
- 採用試験は毎年８月～９月上旬に実施しています。

25 社会医療法人壮幸会 行田総合病院

病院の概要

- **病床数**　504 床
- **医師数（研修医を除く）**50 名（うち指導医数　13 名）
- **研修医数**　1 年目　3 名　2 年目　4 名
- **研修医の主な出身大学**　群馬大学・杏林大学・東京医科歯科大学・岐阜大学・大分大学・東北大学・埼玉医科大学・旭川医科大学・福井大学・昭和大学・日本医科大学・産業医科大学・福岡大学
- **診療科**　内科　循環器内科　消化器内科　消化器外科　呼吸器内科　腎臓内科　神経内科　リウマチ科　外科　肛門外科　整形外科　脳神経外科　血管外科　皮膚科　泌尿器科　眼科　耳鼻咽喉科　小児科　麻酔科　放射線科　病理診断科　リハビリテーション科　心療内科
- **1 日平均外来患者数**　788 名　**1 日平均入院患者数**　410 名
- **主な認定施設**　地域医療支援病院、災害拠点病院、基幹型臨床研修病院、がん診療指定病院、病院機能評価認定病院（3rdG:ver1.0）、埼玉県救急搬送困難事案受入病院、二次救急指定病院、日本 DMAT 隊員養成研修終了施設、埼玉 DMAT 指定病院

研修プログラムの特色

特に、外科系は、指導医や専門医も多数在籍しているため多角的な視点で指導を受けれます。手術や内視鏡は、件数が充実。実際に手技を経験できる環境にあります。その他、内科系も各専門医が揃っております。「身近にあって、何でも相談にのってくれる総合的な医療」”プライマリ・ケア”を経験することができます。将来何科に進もうか、ある程度の道筋がついている人にとって当院での研修は本当に有意義なものとなるでしょう。

また、地域医療の基幹病院として、一般診療、救命救急をとおして、プライマリ・ケアを中心に幅広い診療能力を身に付け、消化器をはじめとした全身管理を習得するとともに、チーム医療の一員としての役割を自覚し、医師として必須の人格を涵養することを目指す。さらに、クリニック、老人保健施設など法人内他施設と連携して研修内容を広め、法人全体で研修医を育成する。また、2 年次の最終ステップでは、自主的に選択科を決め、3 年次以降の専門研修への橋渡しとして活用する。

プログラム　例　標準コースプログラム例（募集定員 5 人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目	内　科						救　急			外科	小児科	精神科
2 年目	地域医療	産婦人科	※選択科目									

○内科研修は、呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・一般内科・腎臓内科をローテーションします。
○選択科目：内科・外科・整形外科・脳神経外科・小児科・耳鼻咽喉科・皮膚科・泌尿器科・眼科・救急・麻酔科の中から選択
○小児科・産婦人科は埼玉医科大学にて研修、精神科は済生会鴻巣病院にて研修を行う。

研修医の処遇

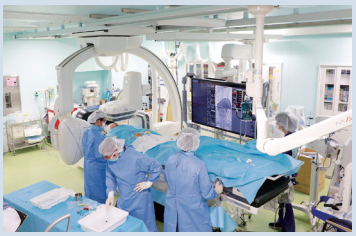
給　　与	1 年次：年俸 700 万円（税込）2 年次：年俸 750 万円（税込） ※当直（副直）手当、休日手当、時間外手当、その他手当を含む
保　　険	健康保険、労災保険、厚生年金保険、雇用保険 医師賠償責任保険（個人にて任意加入）
勤務時間	月変動型 40 時間制　平日　9 時～ 18 時 土曜日　9 時～ 13 時
当　　直	あり（4 回 / 月）　※副直として
休　　暇	日曜日、祝祭日、年末年始（12 月 31 日～ 1 月 3 日）
宿　　舎	あり（家賃補助あり）
そ の 他	就業規則に定めるところによる

主な臨床研修協力病院 協力施設

- 埼玉医科大学病院
- 埼玉医大国際医療センター
- 済生会鴻巣病院

当院の魅力

働きやすく積極的に手技を学べる環境



当院は地域医療支援病院、災害拠点病院、がん診療指定病院、埼玉県救急搬送困難事案受入病院の指定を受けています。医局は、大学からの派遣はなく総合医局制度を敷いているため、診療科の横断的なコミュニケーションが可能でやりたい治療を実践できる環境です。

特に救急は、北部メディカルコントロール（MC）の埼玉県救急搬送困難事案受入病院に指定され、埼玉県北西部・北部の救急搬送の広域を担っているため、受け入れ件数は地域 No.1（年間約 5,000 件）であり多様な症例を経験することができる病院です。また、地域のかかりつけ医として感冒や各種諸症状の初期診療の体制も充実、急性期への入院から慢性期病床までケアミックス型であり完結型の医療を行っています。

研修責任者から message

病院管理者
林　暁

当院は医療過疎地域である埼玉県北部において最大規模を誇る地域の中核を担うケアミックス型の総合病院です。地域からの信頼も厚く、紹介件数や救急搬送件数も年々増加しており、生活習慣病から貴重な手術症例などを広い範囲で経験することができます。また、「どれだけ手技を多く経験できるか？」という点については、他の研修病院と比較しても抜きん出ています。「順番がまわってこない・・・」ということもありません。あらゆる現場に積極的に参加してください。研修中以外の診療科からも勉強になる症例・検査が発生した場合にはコールされることがあり、医局・職員全体で指導を行う体制が整っています。地域の健やかな暮らしを守るための診療能力を身につけようと考えている医学生のご応募をお待ちしております。

先輩研修医から message

研修医 2 年目
白川　雄規

どれだけ手技を多く経験できるかどうかという点において、当院の研修は他の研修病院と比較しても抜きん出ているのではないかと思います。上級医の指導の下、研修医の立場では普通はなかなか経験できないところまで積極的に参加することが可能です。こちらがやればやるほど、やらせてもらえる手技も高度なものになっていくため、とてもやりがいがあります。また当院の研修でとても特徴的なことは、病院内をとても自由に研修できるという点です。現在研修中の科がどこであろうと、勉強になる症例・検査などがあれば他科であろうと積極的に呼ばれます。 将来何科に進もうか、ある程度の道筋がついている人にとってはこの病院での研修は本当に有意義なものとなるでしょう。自分の習得したい手技、経験したい診療科を重点的に経験させてもらえます。

やる気のある方、とことん手を動かしたい方は是非とも一度当院を見学に来てください！

女性医師支援コーナー

・保育室完備。

定員は、30 名で基本的には 3 歳までのお子さんをお預かりしています。

ほかに学童や幼稚園帰りの子もお預かりしています。学童保育は要望があれば 6 年生まで預かります。365 日休まず、夜間保育も希望のある日におおむね月に 14 日くらい運営。何か事情があるときに単発でもお預かりしています。

子どもを預けられれば働けます、というご要望があれば、お預かりいたします。

男性医師で奥様の都合が悪い時や体調の悪い時などにも臨時でお預かりします。

連絡先　社会医療法人壮幸会　**行田総合病院**

医師担当課

〒 361-0056　行田市持田 376

TEL　048-552-1111（代表）　FAX　048-552-1116

E-mail　pub_info @ gyoda-hp.or.jp

URL　http://gyoda-hp.or.jp

アクセス　JR 線行田駅より徒歩 20 分またはバス 10 分

秩父鉄道行田市駅より徒歩 20 分　病院送迎車による送迎あり

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- 病院見学は随時可能です。
  お気軽にお電話、メールにてお問い合わせください。
  救急センター、内視鏡室、手術室といった実際の診療現場を見学することができます。研修医や指導医と面談していただき、研修の中身について理解を深めていただきたいと思います。
- 交通費や宿泊費補助もあります。

26 埼玉医療生活協同組合 羽生総合病院

病院の概要

- **医師数（研修医を除く）** 41 名（うち指導医数　12 名）
- **研修医数**　1 年目　2 名　2 年目　2 名
- **研修医の主な出身大学**　熊本大学・琉球大学・山形大学・滋賀医科大学
- **診療科**　内科　消化器内科　循環器内科　神経内科　血液内科　外科　呼吸器外科　心臓血管外科　小児科　整形外科　脳神経外科　皮膚科　泌尿器科　放射線診断科　放射線治療科　産婦人科　眼科　リハビリテーション科　耳鼻咽喉科　麻酔科　歯科口腔外科　病理診断科　漢方内科　救急科　臨床検査科
- **1 日平均外来患者数**　710 名　**1 日平均入院患者数**　254.2 名
- **主な認定施設**　日本医療機能評価機構認定病院、日本内科学会認定医制度教育関連施設、日本外科学会外科専門医修練施設、日本麻酔科学会麻酔指導病院

研修プログラムの特色

当プログラムは総合的な臨床能力を有する医師の育成を目指すもので、厚生労働省による初期臨床研修到達目標を理想とし、救急医療とプライマリ・ケアを基盤とした総合診療方式（スーパーローテート方式）による、２年間の初期臨床研修プログラムです。臨床医としての哲学を形成していくことを目的にしており、狭い専門領域の知識を得るのではなく、臨床医として必要とされる基本的な知識・考え方・手技を身につけることに重点を置き、さらに患者および他の医療従事者との円滑なコミュニケーションを取れるようになることも目指しています。また、画一的なものではなく個人の希望や特性に応じて柔軟に対応する為、オプションの研修科・期間を多めにとっています。

プログラム　例　羽生総合病院臨床研修プログラム（募集定員４人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目	内　科			救　急			外　科	小児科	産婦人科	内　科		
2 年目	地域医療		精神科	希望選択								

○内科（24.4 週）、救急（13.2 週）、地域医療（8.8 週）、外科（4.4 週）、産婦人科（4.4 週）、小児科（4.4 週）、精神科（4.4 週）必修
○自由選択 39.6 週（内科、外科、小児科、産婦人科、麻酔科、整形外科、泌尿器科、脳神経外科、病理科、緩和ケア、家庭医療）

研修医の処遇

給　与	約 45 万円 / 月
諸 手 当	通勤手当、住宅手当、家族手当等
保　険	社会保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
勤務時間	8 時 30 分～ 17 時
当　直	有り（8 回程度 / 月）
休　暇	2 回 / 週、有給休暇 14 日 / 年
宿　舎	近距離の賃貸物件を紹介 / 希望者には寮有
そ の 他	学会参加、資格取得補助制度有り

主な臨床研修協力病院 協力施設

- 埼玉県済生会鴻巣病院
- 徳洲会グループ各病院

当院の魅力

経験豊富大切な医師の心構えを培う

当院は 2018 年 5 月に新築移転致しました。(敷地面積は旧病院の倍です)

①温かい職員が多く、臨床研修事務担当サポートの下・2年間臨床研修を行う事が出来ます。
②放射線治療装置の導入、様々な検査へ対応する事が出来ました。
③災害拠点病院(地域災害拠点病院)として地域医療の中核を体験・学習する事が出来ます。
④早期発見早期治療につなげる体制を構築(検診センターの強化・透析部門, リハビリテーション部門の拡充)
⑤羽生救急の9割以上を受け入れており、多くの症例に携わり学ぶ事が出来ます。
⑥研修医それぞれ個々の能力に合った教育体制でこれからの医師としての人生において、重要な心構えを培う事が出来ます。
⑦院内において各種イベントに参加してオンもオフも満喫する事が出来ます。
⑧マンツーマン指導により相談しながら研修が出来る体制です。
⑨少人数制による研修が可能
⑩近くに大きな病院が無いので症例が集まりやすくその症例を総取り可能

研修責任者から message

救急科　部長
姜　昌林

確たる研修医制度が無いのが魅力。必要とさせる現場で逃げない覚悟。研修病院としての当院の魅力は確たる研修制度がなくて自由度が高いこと、研修医の数が少ないことです。だからこそ、細かなところまで指導医の目が届きます。また、必要とされるところで逃げないという覚悟を研修時代に身につけて頂きたいです。そして、初心を忘れない事。専門性を持ちつつ、基本的な診療能力を身につけた医者になってほしいです。口で言うのは簡単です。ぜひ、病院見学に来て指導医ではなく研修医を見てください。

先輩研修医から message

1 年次研修医
松﨑　彩理裟

学生時代に病院訪問をした時に、指導医の先生が丁寧に説明してくれたのが安心感につながり、羽生総合病院を研修先に選びました。エコー研修があったり、救急科のローテートの際には手術に立ち合わせてもらったり…。研修医の事を色々と考えてくれるので学ぶ事は多いです。

女性医師支援コーナー

産前産後休暇・育児休暇は勿論のこと、職場復帰後の短時間勤務・当直免除制度があります。また病院より車で 5 ～ 6 分の所に職員専用の保育所の利用も可能ですので、安心して勤務していただける環境が整っています。ライフワークに合わせた勤務形態が相談可能となっておりますので、ぜひ一度ご連絡下さい。

連絡先　**羽生総合病院**

総務課　臨床研修事務担当　川口　暁

〒 348-8505　羽生市下岩瀬 446

TEL 048-562-3000（代表）　FAX 048-563-2170
E-mail hanyuhp@fureaihosp.or.jp
URL http://www.fureaihosp.or.jp/hanyuhp/
アクセス 東武伊勢崎線・秩父鉄道　羽生駅からバス 5 分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時受け付けています。(交通費：宿泊費は当院負担にて相談可)
まずは担当：川口までお気軽に電話またはメールにてお問い合わせ下さい。

27 済生会栗橋病院

病院の概要

●**医師数（研修医を除く）**59 名（うち指導医数　28 名）
●**研修医数**　1 年目　1 名　2 年目　3 名
●**研修医の主な出身大学**　香川大学・群馬大学・埼玉医科大学・千葉大学・筑波大学・帝京大学・東北大学・獨協医科大学・弘前大学・三重大学など
●**診療科**　内科　循環器科　神経内科　腎臓内科　呼吸器内科　消化器内科　血液内科　糖尿病内科　漢方内科　小児科　外科　呼吸器外科　乳腺外科　内視鏡外科　心臓血管外科　脳神経外科　皮膚科　泌尿器科　眼科　耳鼻咽喉科　放射線科　整形外科　形成外科　麻酔科　救急科　リハビリテーション科
●**1 日平均外来患者数**　671 名　●**1 日平均入院患者数**　298 名
●**主な認定施設**　地域医療支援病院、災害拠点病院、基幹型臨床研修病院

研修プログラムの特色

〈理念〉
　臨床医に求められる高い倫理性と思いやりの心を養い、“心温かい医師”を育てることを理念としています。
(1) 救急医療から地域医療までの幅広い研修を通じて、「疾患ではなく患者さんを診る」という全人的な患者の評価ができる医師に育てます。
(2) 質量とも揃った症例が豊富にあり、個々の症例を丹念に診断治癒していく医療体制があります。
(3) 研修医目線に立った指導を心がけることで、充実した臨床研修の場を提供します。
(4) 研修医個人に合わせたオーダーメイドのプログラムで、意欲を持って取り組めます。

〈研修目標〉
(1) 医療全般において基本的診察能力（知識、技術、態度、判断力）を取得する。
(2) プライマリ・ケア診療の基本を習得する。
(3) 救急患者への対処を習得する。
(4) 患者・家族へのインフォームド・コンセントを尊重した医療を習得する。
(5) 末期患者への対処を習得する。
(6) 生涯にわたる自己学習の習慣を身につける。

プログラム　例　済生会栗橋病院臨床研修プログラム（募集定員 4 人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目	内　科						外　科			救急・麻酔科		
2 年目	小児科	精神科	産婦人科	地域医療	選　択　科							

1 年次　①内科研修（循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、腎臓内科、糖尿病内科、神経内科、血液内科の中から）24 週以上
　　②外科研修（外科・脳神経外科・泌尿器科・整形外科の中から）12 週以上
　　③救急・麻酔科研修（救急外来・夜間救急・集中治療室・麻酔科（手術室）において）12 週以上
2 年次　①小児科研修 4 週以上　②精神科研修（協力型病院において）4 週以上　③産婦人科研修（協力型病院において）4 週以上
　　④地域医療研修（済生会岩泉病院において）4 週以上⑤選択科研修（当院診療科の中から）36 週の自由選択研修
　なお、希望により 1 年次、2 年次の研修科入れ替えも可能です。（研修科による）

研修医の処遇

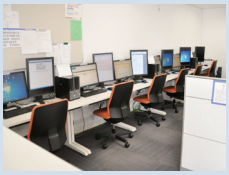
給　与	1 年次(税込)　約 540 万円 / 年・2 年次(税込)　約 630 万円 / 年 ※賞与・当直手当を含むものとする。
諸 手 当	住宅手当・時間外手当・通勤手当など
保　険	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険あり
勤務時間	9 時～ 17 時 30 分
当　直	あり（3 ～ 4 回程度 / 月）
休　暇	土曜日･日曜日･祝日･年末年始(12/29 ～ 1/3)･開院記念日(7 月 1 日) 有給休暇　1 年次　10 日間（夏季休暇含む） 2 年次　17 日間（夏季休暇含む）
宿　舎	あり　単身用ワンルームを貸与（光熱水費当院負担）
そ の 他	職員用駐車場あり

主な臨床研修協力病院 協力施設

・久喜すずのき病院
・東京女子医科大学病院
・岩手県済生会岩泉病院
・幸手保健所
・わしみや訪問看護ステーション

当院の魅力

自由度の高い研修カリキュラムで自分らしい研修が実現



当院は、埼玉県の北東部にある病院です。埼玉県は人口当たりの医師数が日本一少なく、その医師数の少ない埼玉県のなかでも、更に少ないのがこの埼玉県北東部です。そのため、プライマリで頻回に遭遇する「common disease」を豊富に経験できるのはもちろんのこと、大都会では経験することが難しい「手つかずの希少な疾患を最初に診断する機会」も得られるなど、幅広い患者の診療経験が可能であり、臨床医のスタートの地として、大変恵まれた環境に位置しています。「教科書でしか見たことのない疾患を、自分で診断した時の興奮」と、「自分で処方した薬や、関わった手術で、患者が見違えるほど元気になって退院する喜び」は、忘れられない経験になります。

採血や静脈確保、書類の下書き、患者家族との面談時間の打ち合わせなど、他職種へのタスクシフトが非常に進んでおり、医師の業務に集中しやすい環境にあります。指導医の先生方そしてメディカルスタッフの方々が本当に優しいので、人間関係で悩むことはありません。診療に集中でき、自主的に勉強する時間も十分確保され、医局内や職種間の垣根が低く、些細な相談や質問が気軽に出来る点も魅力です。

研修カリキュラムも自由度が非常に高いため、各自のペースで研修したい方に向いている病院です。○○科を長く回りたい、エコーの特訓をしたい等、様々な希望を反映することが可能で、学会発表や論文投稿にチャレンジしたくなったら、手厚いサポートが待っています。

研修責任者から message

臨床研修管理委員会
委員長
杉浦　秀和

充実した内科研修に加え、選択診療科では、各種専門診療科はもちろんのこと、興味があれば在宅診療にも関わることができます。当院にない診療科は、大学病院や久喜すずのき病院と連携を組んで、充実した研修プログラムとなっています。

更に、院外の活動を積極的に行いたい研修医に対しては、研修医自身が行う学会での発表や講演活動についても、サポート体制が整っています。一般医師向けの内容から専門領域先端のことまで、当院医師が主催や演者を行う医療講演会が当地域で多数行われ、指導医とともに講演会に参加することで、院内では得られない知識や経験も得ることができます。

先輩研修医から message

研修医２年目
瀧澤　廣輝

気軽に相談できる先生方がいることが何よりの自信につながります。

私が初期研修に当院を選んだのは、カリキュラムの自由度が非常に高いからです。同期も３人と多くないため、各々が独自の研修プログラムを組むことができ、自分のペースにあった研修ができます。その分、学会やセミナーの参加、勉強等に時間を使うことができますし、学会発表や論文投稿の希望があれば手厚くサポートしていただけます。

初めは分からないことばかりで不安に感じる方も多いかと思います。しかし、当院の研修では各科の医師や他職種の方との垣根が非常に低く、気軽に相談することができます。また、いきなり１人で業務を任されるのではなく、上級医の監督下で徐々に独り立ちしていくため、安心して業務に当たることができます。

女性医師支援コーナー

当院女性医師の声～当院で働くメリット～

①嘱託医でも、専門外来を受け持つことができます。
「当院には、嘱託勤務制度があり、一般の医師より少ない勤務日数で働くことが可能で、当直等も免除されます。専門医を取得し、子育てと仕事をうまく両立しています。」

②院内保育所を完備しており、病児保育も利用できます。
「当院には、院内保育所があり、病気の時でも子どもを預かってくれるので、安心して働けます。」

③転勤がないため、同じ患者を長期にわたって継続して診ることができます。
「糖尿病のような慢性疾患は、長期間、継続して診ることに意味があると思うので、中断されずに担当できます。」

連絡先　**済生会栗橋病院**

人事課　臨床研修担当　齋藤　静子

〒349-1105　久喜市小右衛門 714-6

TEL 0480-52-3611（代表）　FAX 0480-52-0954
E-mail s.saito@saikuri.org
URL https://www.saikuri.org/
アクセス 東武日光線南栗橋駅東口から徒歩で約５分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●病院見学は随時行っています。
まずは電話やメールで、お気軽にお問い合わせください。

28 医療法人社団埼玉巨樹の会 新久喜総合病院

病院の概要

- **医師数（研修医を除く）**62 名（うち指導医数　12 名）
- **研修医数**　1 年目　8 名　2 年目　4 名
- **研修医の主な出身大学**　産業医科大学・福島県立医科大学・秋田大学・埼玉医科大学・筑波大学・新潟大学・旭川医科大学・群馬大学・帝京大学・山梨大学・金沢大学・長崎大学
- **診療科**　内科　呼吸器内科　循環器内科　消化器内科　代謝・糖尿病内科　腎臓内科　神経内科　外科　心臓血管外科　呼吸器外科　整形外科　脳神経外科　乳腺外科　形成外科　皮膚科　泌尿器科　婦人科　眼科　耳鼻咽喉科　リハビリテーション科　放射線科　麻酔科　救急科　病理診断科
- **1 日平均外来患者数**　343.2 名　●**1 日平均入院患者数**　292.2 名
- **主な認定施設**　地域医療支援病院、埼玉県がん診療指定病院、埼玉県立がんセンター医療連携施設、災害拠点病院、埼玉県救急搬送困難事案受入病院

研修プログラムの特色

このプログラムは、救急医療、プライマリ・ケアにおける基本的診療の知識、技能を習得し、総合的臨床能力と医療人としての正しい態度を身につけることを目的とする。総合診療方式（スーパーローテイト方式）による２年間の初期臨床研修プログラムです。内科・救急科・小児科・産婦人科・外科・麻酔科・精神科及び地域医療の各科ローテーションを必須とし、かつ救急部門も平行し、急性期救急医療からプライマリ・ケアを主とした研修をベースに問診・初期診断・初期治療の実際から適切な診断能力を身につけるようにします。具体的には臨床研修到達目標（厚生労働省）を目的としています。

プログラム　例　新久喜総合病院卒後臨床研修プログラム（募集定員 8 人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目	内　科						救急科			外　科	麻酔科	精神科
2 年目	地域医療	小児科	産婦人科	選択科目								

1 年次は内科（6 ヶ月）、救急科（3 ヶ月）、外科（1 ヶ月）の必修科目と、病院で定めた必修科目の麻酔科（1 ヶ月）を新久喜総合病院にて行い、精神科（1 ヶ月）を協力型病院にて行います。2 年次は地域医療（1 ヶ月）、小児科（1 ヶ月）、産婦人科（1 ヶ月）を協力型病院にて行います。2 年間を通じて 12 ヶ月は基幹型である新久喜総合病院にて行うこととしています。

研修医の処遇

給　与	1 年次 :650 ～ 700 万（税込）　2 年次 :700 ～ 750 万（税込） ※当直手当、時間外手当等含む。
保　険	組合健康保険、厚生年金、雇用保険
勤務時間	8 時～ 17 時
当　直	あり（6 回 / 月）
休　暇	有給休暇（1 年次：10 日、2 年次：11 日）
宿　舎	あり
そ の 他	学会、研修会参加について病院補助あり

主な臨床研修協力病院 協力施設

- 新上三川病院
- 所沢明生病院
- 鴻巣病院
- 熊谷総合病院
- 羽生総合病院
- 深谷赤十字病院
- 芳賀赤十字病院
- 土屋小児病院
- 他、関連病院など。

当院の魅力

研修医自ら経験できる環境

当院では研修医自ら前面で基本的な手技や診察を行い、それを上級医・指導医が後方から指導します。研修医が自ら経験できる環境です。多くの症例に接し、各専門診療科での研修では３年目以降の進路に沿った専門的な指導も行っています。

◎相談しやすい環境

診療科ごとの垣根がなく、ローテイト中ではない他の診療科の上級医・指導医に、研修医が直接コンサルトできる話しやすい環境です。

◎知識を身につける毎朝の救急カンファレンスを実施。院内、院外での学術発表にも積極的に参加しています。研修医の学会参加についても病院補助を行うなど、積極的に支援も行っています。

◎住環境

病院の敷地内に寮を完備しています。医師専用の寮も新たに建設中です。(徒歩２分)設備面でもサポートを行っています。

☆学会認定施設(新専門医制度)

日本内科学会認定医制度教育関連病院（専門研修連携施設）、日本外科学会外科専門医制度修練施設（専門研修連携施設）、日本整形外科学会専門医制度研修施設（専門医養成プログラム連携施設）、日本脳神経外科学会（専門研修連携施設）、日本救急医学会認定専門医指定施設（専門研修連携施設）、日本麻酔科学会認定研修施設（専門研修連携施設）、日本形成外科学会認定施設（専門研修連携施設）、日本脳卒中学会認定研修教育病院、日本がん治療認定医機構研修施設、日本腎臓学会研修施設循環器専門医研修施設（研修施設）、三学会構成心臓血管外科（専門医認定関連施設）、日本乳癌学会専門医制度関連施設、日本消化器外科学会専門医制度認定施設腹部救急認定医・教育医制度認定施設、日本大腸肛門病学会認定施設、日本消化器内視鏡学会指導連携施設、日本腹部救急医学会認定施設、日本呼吸器外科学会専門研修連携施設(申請中)

研修責任者から message

プログラム責任者
信太　薫

新久喜総合病院は、断らない医療を実践しています。研修医の皆さんには、まず、generalist として、救急の現場でご活躍いただきます。第一線の救急の現場で、様々な患者さんと出会い、指導医とともに、多くの経験を積んでいただきます。

当院の指導医は、specialist として、各々、専門領域で活躍していますが、救急当番の際には、generalist として活躍できる素養を持っています。研修医の皆さんとともに治療にあたり、様々な臨床現場での判断を指導、サポートします。研修医の皆さんは、研修期間が終わる頃には多くの様々な救急症例を経験し、救急現場で、ある程度判断、治療できる力がつくようになります。

埼玉県利根医療圏は、人口当たりの医師数が大変少ない医療圏です。地域の皆さんのために、利根医療圏の救急医療をともに支えていきましょう。研修医の皆さんの限りなき情熱が新久喜総合病院の活力となり、地域医療を支える原動力となっていくのです。研修医の皆さんは、救急チーム医療の、そして、新久喜総合病院のかけがえのなメンバーです。

先輩研修医から message

研修医２年目
井戸田　健

診療科の垣根が低く、上級医の先生方と研修医の距離も近くて症例が多いことから研修先に選びました。実際、１年目から経験できる手技も多く、色々と学べる環境なので、自分の成長につながっていると感じています。積極的、主体的に研修に取り組みたい、と考えている方に向いている病院です。研修医２年目は選択科目の期間で３年目以降も視野に入れた研修もできるので、その進路に沿って重点的に学びたい、色々経験してみて自分に合ったものを選びたい、といった様々なニーズも満たしてくれる病院だと思います。

女性医師支援コーナー

院内保育所を設置しております。女性専用の当直室あり。

連絡先　**新久喜総合病院**

総務課　臨床研修担当

〒346-8530　久喜市上早見 418-1

TEL　0480-26-0033（代表）　FAX　0480-44-8026

E-mail　kukijinji@shinkuki-hp.jp

URL　http://www.shinkuki-hp.jp

アクセス　久喜駅からバスで約 10 分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

【病院見学随時受付中】
・申込みは当院 HP の初期研修採用ページ「お問い合わせフォーム」、もしくは E-mail から申込み下さい。
・交通費支給（上限あり）
【インターンシップ受付中】
・申込みは当院 HP の初期研修採用ページ「お問い合わせフォーム」、もしくは E-mail から申込み下さい。
・実践型インターンシップ　・宿舎利用可能

29 社会医療法人 熊谷総合病院

病院の概要

- **医師数（研修医を除く）** 44 名（うち指導医数　17 名）
- **研修医数**　1 年目　6 名　2 年目　4 名
- **研修医の主な出身大学**　日本大学・産業医科大学・浜松医科大学・山梨大学・千葉大学・筑波大学・金沢大学・埼玉医科大学・山口大学・獨協医科大学
- **診療科**　内科　消化器内科　循環器内科　呼吸器内科　腎臓内科　神経内科　呼吸器外科　外科　整形外科　脳神経外科　小児科　皮膚科　泌尿器化　産婦人科　耳鼻咽喉科　形成外科　眼科　放射線科　麻酔科　リハビリテーション科
- **1 日平均外来患者数**　666 名　**1 日平均入院患者数**　262 名
- **主な認定施設**　日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本消化器内視鏡学会認定指導施設、日本整形外科学会専門医研修施設、日本循環器学会研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本麻酔科学会麻酔科認定病院、一次脳卒中センター（PSC）認定施設
  ※千葉大学医学部付属病院、埼玉医科大学病院の協力型臨床研修病院

研修プログラムの特色

あらゆる疾患の患者さんと接触する職業であるとの認識を踏まえ、幅広い社会性と温かい人間性を養えるよう研修を企画すると共に、各診療科では、医師として基本的な診療能力を習得できるプログラムを目指しています。同時に、将来の希望を見据えた選択科目の研修期間も十分取れるようにしています。また、医師としての基盤形成の時期である初期研修時期において、患者さんを全人的に診ることができる基本的な診療能力を習得することにより医師としての資質の向上を図り、医師にふさわしい人格を涵養することを目的としています。

プログラム　例　熊谷総合病院卒後臨床研修プログラム（募集定員 6 人）

	1 ～ 4 週	5 ～ 8 週	9 ～ 12 週	13 ～ 16 週	17 ～ 20 週	21 ～ 24 週	25 ～ 28 週	29 ～ 32 週	33 ～ 36 週	37 ～ 40 週	41 ～ 44 週	45 ～ 48 週	49 ～ 52 週
1 年目	内　科						救急部門			外科	小児科	産婦人科	精神科
2 年目	必修科目	地域医療	選択科目										

※協力病院・施設での研修もあります
選 択 科 目：内科、外科、産婦人科、小児科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、麻酔科、眼科、放射線科、皮膚科、耳鼻咽喉科、救急部門、精神科、保険・医療行政、地域医療

研修医の処遇

給　与	1 年次 :42.5 万円 / 月　2 年次 :45 万円 / 月
諸 手 当	通勤手当、家族手当、超過勤務手当、日当直手当
保　険	健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
勤務時間	8 時 30 分～ 17 時 30 分
当　直	あり（2 回程度 / 月）
休　暇	2 日 / 週、有給休暇（1 年次 :10 日　2 年次 :11 日）
宿　舎	あり（医師住宅：家賃半額補助上限 6 万円まで）
そ の 他	賞与（1 年次：80 万円前後　2 年次：90 万円前後） ※業績により支給

主な臨床研修協力病院 協力施設

- 北深谷病院
- 深谷赤十字病院
- 新久喜総合病院
- 埼玉医科大学病院
- 上尾中央総合病院
- 行田総合病院
- 羽生総合病院
- 西熊谷病院
- 松本医院
- 石川クリニック
- 太陽の園　他

当院の魅力

研修しやすい環境づくりを目指しています！

当院の魅力はなんといっても研修医が①積極的に治療に関わり②手技の研修が豊富で③伸び伸び研修できる環境にあることでしょう。

①では救急は全科当直のスタイルをとっており、適切な指導医のフォローアップの下、全て研修医がファーストタッチを行います。各科カンファレンスでは自由に発言でき、研修医も積極的に治療方針に関して意見を述べることが出来ます。

②では内科系では１年目４月の朝の採血実習から始まりルート確保、血液ガス分析、血液培養、心・腹部エコー、cv 挿入など、外科系では腰椎穿刺、cv ポート設置、小手術、開腹手術や腹腔鏡手術まで執刀する機会があります。当院では研修医全員が必要な手技をもれなく適切に学べるよう、システム化された教育体制を整え、主に４月～５月の間に多くの講義や実習を行うスケジュールを組んでいます。

③ではそれぞれの体力や知識量にあったスケジュールを設定し、疲弊するほど多忙でなく、明日も頑張ろうと思える忙しさです。週末はしっかりと休みがあり、メリハリをもって勤務にあたることが出来ます。また一人一人の個性や適性に合わせた研修を上級医の先生方や病院スタッフが考えて下さり、学会発表なども地方会から海外まで、筆頭演者で発表する機会もあります。もしこの文章を読んで「ここで研修しよう！」と思った方は是非、見学に来て下さい。大歓迎します。

研修責任者から message

プログラム責任者
斎藤　雅彦

当院は埼玉県北の中核基幹病院ということで、プライマリー・ケアを中心に多くの症例を経験できる研修施設です。希望とやる気があれば、より専門的な診療への参加も可能です。大学病院などとは異なり、科ごとの垣根が低く、複合的な疾患の診療がしやすくなっております。また、メディカルスタッフとの人間関係も良好で、研修医の先生が働きやすい環境が備わっていると思います。ご連絡をお待ちしております。

先輩研修医から message

研修医１年目
関　侑介

当院は病床数 300 床以上を有する地域の中核病院です。当院では大学病院などの高度専門病院では経験できない症例に触れることができます。また、熊谷市や埼玉県医師会主催の講習会等に参加する機会もあります。研修医１年目は６名（2019 年度）であり、症例の取り合いは起こらず、困ったときは相談できる間柄です。積極的に外科的経験を積みたい、腰を据えて内科的知識を深めたいなど、個別性のある研修が行われています。不安なことも多い研修医生活ですが、全科共通の医局では他科の医師とも相談しやすく、救急外来では経験豊富なスタッフがしっかりとサポートします。2020 年に建て替わる新しい病院で新生活を始めてみませんか。見学申し込み大歓迎です。

女性医師支援コーナー

保育所は近隣にあり、平屋のゆったりした造りで遊戯室が２部屋あります。保育士は常勤職員ですから、継続した保育を行うことができ、預けている職員にとっても安心できる運営になります。男性職員も利用することができ、ご夫婦で働いている方で預けている方もいます。定員は 20 人ほどで、生後８週から３歳までお預かりしています。今、子育て世代の女性医師がいないので、医師の利用としては非常勤医師で週に１日、勤務のときに預けている方がいます。24 時間保育は、月に 12 回行っており、臨時でも引き受けます。忙しくて遅くなるときや研修など、勉強会の時もお預かりします。病児保育は行っていませんが、少しくらいの熱であれば職員にもすぐ連絡できますし、小児科にも連絡できますので、お預かりできます。職員には安心して働いてもらえる環境を整えています。

連絡先　社会医療法人　**熊谷総合病院**

総務課　藤澤　愛

〒３５０-８５６７　熊谷市中西４－５－１

TEL　048-521-0065（代表）　FAX　048-523-5928

E-mail　kumasou@kumasou.or.jp

URL　http://www.kumasou.or.jp/

アクセス　JR 高崎線・上越新幹線・秩父線　熊谷駅北口から徒歩 15 分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- 病院見学は随時受け付けておりますので、メール・電話にてご連絡ください。
- 2020 年春・夏のレジナビフェアにも参加予定ですので、是非お立ち寄りください！

30 深谷赤十字病院

病院の概要

- **医師数（研修医を除く）** 79 名（うち指導医数　36 名）
- **研修医数**　1 年目　8 名　2 年目　7 名
- **研修医の主な出身大学**　群馬大学・弘前大学・帝京大学・富山大学・三重大学・新潟大学・帝京大学・信州大学・千葉大学・秋田大学・岩手医科大学・関西医科大学
- **診療科**　内科　精神科　神経内科　消化器科　循環器科　小児科　外科　整形外科　形成外科　脳神経外科　呼吸器外科　心臓血管外科　小児外科　皮膚科　泌尿器科　産婦人科　眼科　耳鼻咽喉科　麻酔科　救急診療科　放射線診断科　放射線治療科　緩和ケア外科　病理診断科　歯科口腔外科
- **1 日平均外来患者数**　768 名　**1 日平均入院患者数**　351 名
- **主な認定施設**　救命救急センター、地域災害医療センター、地域周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、第二種感染症指定病院

研修プログラムの特色

深谷赤十字病院は、埼玉県北部の三次救急を担う地域基幹病院です。

当院の研修プログラムの特徴は、第一に「病院規模に対して研修医定員枠が少ないため、臨床経験を多く積めること」です。同時期に診療科や指導医（上級医）が被らないようローテーションを組むため、症例の譲り合いが起こりません。また、当院は研修医に実践してもらうことを原則にしているため、救急当直でのファーストタッチをはじめ、２年間で多くの臨床経験を積むことができます。

第二に「研修医の要望に応じ融通性のある研修スケジュール・科目を組むことができる（＝自由度が高い）こと」です。２年間のうち、厚労省が定める必須研修を除いた期間は、将来の希望に合わせて自由に選択できます。

また、当院は研修プログラム責任者が院長であり、臨床研修にはとても熱心に取り組んでいることから、指導体制や研修環境は十分に整っております。

プログラム　例　深谷赤十字病院卒後初期臨床研修プログラム（募集定員８人）

	1 ～ 4 週	5 ～ 8 週	9 ～ 12 週	13 ～ 16 週	17 ～ 20 週	21 ～ 24 週	25 ～ 28 週	29 ～ 32 週	33 ～ 36 週	37 ～ 40 週	41 ～ 44 週	45 ～ 48 週	49 ～ 52 週
1 年目	内　科						外科		非必修科ローテ	小児科	麻酔科	救急診療科	
2 年目	産婦人科	自由選択科			精神科	自由選択科		地域医療	自由選択科				

○必修科目
内科：一般内科（8 週）、循環器科、消化器科、腎臓内科、血液内科（各 4 週）　救急：救急（12 週）※２年間の救急外来当直で４週分相当
外科：8 週、小児科：4 週、産婦人科：4 週、精神科：4 週、　地域医療：研修協力施設（4 週）

研修医の処遇

給　与	1 年次：35 万円 / 月（賞与 10 万円 / 年）、2 年次 40 万円 / 月（賞与 30 万円 / 年）
諸 手 当	宿直勤務手当　1.8 万円 / 回（1 年次 10 月から支給し、10 月までは半額を支給）、住居手当　最高 2.85 万円 / 月
保　険	各種社会保険（健康、厚生年金、雇用、労災）適用
勤務時間	8 時 30 分～ 17 時
当　直	あり（4 ～ 5 回／月）
休　暇	土曜・日曜・祝日・創立記念日（11 月 1 日）・年末年始（12 月 29 日～ 1 月 3 日）・年次有給休暇（1 年次 10 日・2 年次 11 日）、夏期休暇　3 日（7 月 1 日～9 月 30 日）、その他の休暇は病院嘱託・臨時職員就業規則の定めによる

主な臨床研修協力病院 協力施設

- 小川赤十字病院（比企郡小川町）
- 原町赤十字病院（群馬県吾妻郡）
- 佐々木病院（深谷市）
- 深谷整形外科医院（深谷市）
- 内田ハートクリニック（深谷市）
- 井上こどもクリニック（深谷市）
- おおしまクリニック（深谷市）
- 皆成病院（深谷市）
- 埼玉よりい病院（大里郡寄居町）
- 秩父病院（秩父市）

当院の魅力

充実した指導環境

①多様な症例を経験できる環境。

　第三次救命救急センターがある当院の病床数は 474 床、研修医募集定員数 8 名。同規模の臨床研修病院と比較しても研修医数は少ないです。そのため多くの症例を学べて、且つ研修医一人一人に対して指導が行き届く環境です。

②英文抄読会を月 1 回研修医が持ち回りで行う。

　市中病院において英語論文を読む機会は少ないため、日時を決めて研修プログラム責任者と研修医で英文抄読会を行っています。

③研修医同士の仲が良い。

　国公立・私立など全国の大学から集まるため、すぐに仲良くなります。研修医室の雰囲気も非常に良いです。

　このように、研修医一人一人が自ら考え・学び、主体的に行うことで基本的な臨床能力と態度・習慣が身につきます。

研修責任者から message

院長（プログラム責任者）
伊藤　博

　当院は地域の基幹病院として高い専門性と一般性を有し、比較的少ない研修医数という事もあり、豊富な臨床経験を積むことができます。

　初期臨床研修は、将来何科に進むにせよ、診療の基本的知識・技能と臨床医として必要な態度・習慣を学ぶ大切な期間であります。

　患者さん、コメディカルとのコミュニケーションなどは、次第に裁量権の増していく医師にとってはこの時期に身につけねばならない臨床医として大切な態度・習慣です。知識と技術は専門分野で研鑽を積むにつれ確実に増えて行きますが、態度・習慣は逆に疎かになりがちです。

　当院では、研修医に実践してもらうのを原則にしていますので、技術的 SKILL ＵＰが体感できると共に、研修医一人一人に応じた融通性のあるプログラムなど、一言でいえば温かみのある研修環境を目指しています。

　今専門医制度が大きく変わろうとしていますが、初期臨床研修は単なる専門医への前段階でなく、先に述べたように臨床医としての心構えを形成する大事な期間です。当院での研修を通じ、患者さんを中心にコメディカルスタッフも含めたチーム医療のできる心温かい医師に成長してくれる事を願っています。

先輩研修医から message

研修医２年目
菅原　洋平

　当院の研修プログラムは自由度がとても高く、研修医一人ひとりの意欲や適性に見合った研修生活を送ることができるのが大きな特長で、2年目に希望選択科を多く選ぶことができるため、将来希望する診療科が定まっている人も、まだ絞り切れておらず研修生活の中で決めていきたい人も融通を利かせられるくプログラムであることが特長です。

　当院は埼玉県北部の基幹病院であり診療科や病床数が多い一方、規模に対して研修医の定員が少なめなので、研修医一人当たりが経験できる症例や手技が豊富にあります。　また、救急当直では1次救急から3次救急まで研修医が全てファーストタッチで診察し、上級医の指導のもと主体的に診断や治療を完結することができるため、日々実践的な力が積み重ねられていくことが実感できます。病院スタッフの方もみな温かく接してくださり、アットホームな雰囲気の中で研修をできるのも魅力の一つです。ぜひ一度見学にいらして、当院の雰囲気や研修生活を実際に体験してみてください。お待ちしております！

女性医師支援コーナー

　当院は、女性職員への支援制度として以下の特別有給休暇制度を就業規則で定めています。

・産前産後休暇（母子保健法の定めによる勤務免除含む）
・生理休暇
・育児休業（育児短時間勤務含む）
・子の看護のための休暇
・院内保育園

※院内保育所（利用対象は、生後２ヶ月から小学校就学前まで）があり、職員であればどなたでも利用可能なため、子育て中の職員が安心して仕事に専念できます。

その他の福利厚生については、お問い合わせください。

連絡先　**深谷赤十字病院**

人事課

〒 366-0052　深谷市上柴町西 5-8-1

TEL　048-571-1511（代表）　FAX　048-573-5351
E-mail　jinji@fukaya.jrc.or.jp
URL　http://www.fukaya.jrc.or.jp/
アクセス　高崎線深谷駅からバス 8 分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

　病院見学は随時受付中ですので、お気軽にお問い合わせください（HP から申込みができます）。プログラム責任者が直接・丁寧に当院の研修プログラムの特徴をお伝えします。

　レジナビフェアで皆様とお会いできるのを楽しみにしております！

31 学校法人獨協学園 獨協医科大学埼玉医療センター

病院の概要

- **医師数（研修医を除く）** 297 名（うち指導医数　237 名）
- **研修医数**　1 年目　40 名　2 年目　40 名
- **研修医の主な出身大学**　秋田大学・岩手医科大学・大分大学・川崎医科大学・北里大学・杏林大学・群馬大学・埼玉医科大学・札幌医科大学・産業医科大学・島根大学・聖マリアンナ医科大学・帝京大学・東京女子医科大学・東邦大学・鳥取大学・日本医科大学・弘前大学・山梨大学・横浜市立大学・琉球大学・獨協医科大学
- **診療科**　糖尿病内分泌・血液内科　呼吸器・アレルギー内科　消化器内科　循環器内科　腎臓内科　脳神経内科　小児科　こころの診療科　皮膚科　総合診療科　外科　第一整形外科　第二整形外科　心臓血管外科　呼吸器外科　小児外科　産科婦人科　眼科　耳鼻咽喉科　脳神経外科　泌尿器科　形成外科　乳腺科　救急医療科（救命救急センター）　麻酔科　リハビリテーション科　集中治療科　子どものこころ診療センター　遺伝カウンセリングセンター　リプロダクションセンター　臨床検査部　放射線科　病理診断科

- **1 日平均外来患者数**　1854.5 名　**1 日平均入院患者数**　714.6 名
- **主な認定施設**　日本医療機能評価機構認定病院、三次救急指定病院、災害拠点病院（埼玉 DMAT 指定病院）、地域がん診療連携拠点病院　周産期母子医療センター

研修プログラムの特色

(1) 厚生労働省が掲げる研修理念を実現するもので、医師としての診療能力を幅広く身につけるために、プライマリケア習得を各科カリキュラムの基本としています。
(2) 必修科目履修では、同省が定める到達目標の確実な達成を図っています。希望履修選択期間には、標榜する診療科のどれをも選択できるとともに、同時期に獨協医科大学病院で標榜する診療科も選択研修できます。また、小児科、産科婦人科や外科系に特化したプログラムも設けています。
(3) 専門・高度医療を実践するためのミニワーク・カリキュラムを重層的に備えています。
(4) 臨床研究の基礎トレーニングができます。
(5) 医師としてのキャリア構築につながります。

プログラム　例　一般プログラム（定員 40 名）

1 年目	内科（24 週）				救急部門（12 週）	外科（4 週）	麻酔科（8 週）
2 年目	小児科（4 週）	産婦人科（4 週）	精神科（4 週）	地域医療（4 週）	希望選択（32 週）		

※ローテート順は各自によって異なります。詳細はお問い合わせください。
※その他　小児科プログラム（定員 :2 人）　産科婦人科プログラム（定員 :2 人）　外科系プログラム（定員 :6 人）

研修医の処遇

給　与	月額 34 万円（一律支給）※月額には時間外手当 8 万円分を含む
諸 手 当	当直手当
保　険	日本私立学校振興・共済事業団（公的医療保険 / 公的年金）、労災保険、雇用保険、医師賠償責任保険（施設）加入
勤務時間	獨協医科大学埼玉医療センター就業規則による。
当　直	あり（4 回程度／月）
休 診 日	第 3 土曜日、日曜日、国民の祝祭日、開学記念日、年末年始
休　暇	有給休暇（1 年次 :15 日間、2 年次 17 日間） ※年5 日間のフレックス休暇を含む
宿　舎	あり（有料）
そ の 他	・学会、研究会への参加費用支給　・定期健康診断 ・採用時健康診断　・各種予防接種　他

主な臨床研修協力病院 協力施設

- 獨協医科大学病院
- 獨協医科大学日光医療センター
- 春日部厚生病院
- 久喜すずのき医院
- 越谷市立病院
- 越谷市夜間急患診療所
- 越谷ハートフルクリニック
- 順天堂大学医学部附属　順天堂越谷病院
- 新越谷病院
- 東埼玉総合病院
- 北辰病院

当院の魅力

当院で充実した研修を！

当院は交差する二つの路線、JR 南越谷駅と東武新越谷駅から徒歩 3 分程の場所に位置し、交通の便が極めて良いところです。病床数は病院全体で 923 床と県内最大規模で、手術室も 22 室あり、最先端の機器を導入しています。県内外から多くの患者さんが訪れ、大学病院でありながら地域医療を支える役割も担う、埼玉県東部の中核病院です。

研修プログラムは、一般プログラムの他に小児科・産科婦人科・外科系のプログラムを備えています。希望履修科目選択期間では、当院および獨協医科大学病院が標榜するすべての診療科・部のどれをも選択することができ、ローテートの順番も、できる限り皆さんの希望に添えるよう調整しています。将来進みたい診療領域が決まっていない方はもちろん、既に決まっている方でも、研修期間でしか経験できない、あらゆる科目の知識に触れることができるプログラムです。

研修医の出身大学は様々ですが、出身や年齢にかかわらず、和気あいあいと語り合い、切磋琢磨しています。オン・オフをうまく切り替えながら、のびのびと研修している研修医が多いのも、当院の特徴です。

研修責任者から message

臨床研修センター長
上田　善彦

当センターは、埼玉県東部地区に位置し、180 万人の基幹病院として、地域医療の重要な役割を担っております。

2017 年 11 月に病棟を増設し、病床数は 923 床、手術室も 22 室になり、さらに救急医療ならびに周産期母子医療センターが充実し、研修病院として相応しいセンターです。臨床研修センターは増設した棟にあり、快適な環境で研修を行なっています。

2017 年・2018 年のマッチングでは 100 名を超えるご応募をいただきました。各診療科の先生方の丁寧な指導、充実したカンファレンスの開催を実施しており、診療科と研修医の先生方からの要望などに応じて Up to Date な研修に心がけております。また他大学の卒業生も多くいらっしゃいます。

センターの見学は大歓迎です。是非、あなたも獨協医科大学埼玉医療センターで卒後研修を行ってみませんか。

先輩研修医から message

2019 年入職研修医
廣川　尚慶

初めまして。獨協医科大学埼玉医療センター　研修医 1 年の廣川です。

私がこの病院を選んだ理由としては、923 床という大病院でありながら、市中病院で経験するようなありふれた疾患から大学病院でしか管理できない高度な集中治療を必要とする疾患など様々な症例を経験できることです。

指導医の先生方もとても手厚く指導して下さり、研修医に入院中の患者様の管理や外来での問診、検査に必要な手技など様々なことを経験させていただき、非常に勉強になっています。また様々な大学出身の同期研修医が 40 人いるので、困ったことがあればいつでも相談に乗ってくれるのもこの病院の良いところです。

興味がある方は是非一度病院見学に来てみてください。

研修医一同楽しみにお待ちしております。

女性医師支援コーナー

当院では女性医師支援センターを設置しており、女性医師が働きやすい環境づくりを目指しています。学内外の女性医師、研究者同士との情報交換を通し、医師としてのキャリア継続に役立つよう努め、病院全体における男女共同参画の啓発活動にも力を注いでいます。隣接した保育所もあり、延長保育や、週 3 回 24 時間保育も実施しているので、育児をしながらでも安心して研修できます。

他に、初期研修修了後には育児短時間勤務制度が利用できます。専任教員やレジデント（後期研修）の身分を保有したまま、週 20 時間の短時間勤務が申請でき、各医局での柔軟な勤務が可能となります。また、保育所利用などを含め、勤務継続のための相談や、短時間勤務経験者からアドバイスをもらいたい場合、女性医師支援センターが窓口となり、先輩医師に取りつぐことも可能です。（女性医師支援センターサイト :http://www2.dokkyomed.ac.jp/jyoseiishi-k/）

連絡先　**獨協医科大学埼玉医療センター**

臨床研修センター事務室

〒 343-8555　越谷市南越谷 2-1-50

TEL 048-965-7842（直通）　FAX 048-965-9356
E-mail k-kenshu@dokkyomed.ac.jp
URL http://www2.dokkyomed.ac.jp/dep-k/kenshu/
アクセス JR 武蔵野線南越谷駅、東武スカイツリーライン新越谷駅から徒歩 3 分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- 病院見学のお申込み手順
  1）左記ＵＲＬよりサイトへアクセス
  2）メールフォームにてお申込み※見学は随時受け付けております。
  詳細はお問い合わせください。
- Facebook ページ：
  https://www.facebook.com/dokkyo.k.kenshu

32 自治医科大学附属さいたま医療センター

病院の概要

- **病床数**　628 床
- **医師数（研修医を除く）**279 名（うち指導医数　81 名）
- **研修医数**　1 年目　28 名　2 年目　28 名
- **研修医の主な出身大学**　秋田大学・岩手医科大学・金沢大学・杏林大学・群馬大学・埼玉医科大学・札幌医科大学・自治医科大学・信州大学・千葉大学・東海大学・東京医科大学・東京慈恵会医科大学・東京女子医科大学・東邦大学・東北大学・獨協医科大学・富山大学・名古屋大学・新潟大学・日本医科大学・日本大学・弘前大学・福島県立医科大学・藤田保健衛生大学・北海道大学・宮崎大学・山梨大学・琉球大学
- **診療科**　総合診療科　循環器内科　消化器内科　呼吸器内科　内分泌代謝科　血液科　リウマチ膠原病科　腎臓内科　脳神経内科　小児科　放射線科　病理診断科　救急科　一般・消化器外科　呼吸器外科　心臓血管外科　脳神経外科　整形外科、泌尿器科　耳鼻咽喉科　眼科　産婦人科　皮膚科　形成外科　麻酔科
- **1 日平均外来患者数**　1416 名　**1 日平均入院患者数**　535 名
- **主な認定施設**　救急救命センター、労災指定病院、災害拠点病院、エイズ拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター

研修プログラムの特色

創立以来、総合医養成を主眼としたプログラムを全国でもいち早く取り入れ、一貫してスーパーローテート方式の研修実績を積み上げてきました。Common disease の研修を決しておろそかにすることはなく、稀有な疾患や最先端の医療技術を駆使した高度医療を必要とする症例にいたるまで多彩な疾患の診療に当たっています。一般プログラムは、総合医学オープン、内科、外科、救急、外科系専門の 5 コースから選択できます。将来、皆さんが、どの専門診療科を専攻することになっても、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるように、医師としての人格を涵養し、プライマリ・ケアの基本的な診療能力を身につけるための研修構成になっており、5 つの特色があります。

（1）厚生労働省指定の必修分野に加えて、麻酔科研修を必修としました。
（2）全ての臓器別内科と総合診療科を研修します。
（3）地域医療と一般外来を並行研修の 8 週間とし、Common disease の外来診療を十分に経験します。
（4）研修期間を通じて週 1 回の救急研修を継続することで、初期診療能力の足腰を鍛えます。
（5）オプションは、皆さんが希望する研修内容を個別に取り入れるように柔軟に対応します。

豊かな経験と業績をもつ指導医、教職員が皆さんの研修を支援します。

プログラム　例　一般研修プログラム（募集定員 24 名）総合医学オープンコース

1 年目	ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ	救　急（8 週）		内科 1（8 週）		内科 2（8 週）	内科 3（8 週）		内科 4（8 週）		外　科（8 週）	
2 年目	精神科（4 週）	地域・一般外来（8 週）		産婦人科（4 週）	麻酔科（4 週）	小児科（8 週）	オプション A（4 週）	オプション A（4 週）	オプション A（4 週）	オプション A（4 週）	オプション A（4 週）	オプション A（4 週）

○ローテーションは順不同です。　○採用後に行うオリエンテーション終了後は、第 2 クールのローテーションでの研修を開始します。
○救急科はブロック研修に加え、週 1 回の日当直研修を通年で実施します。
○オプション A は自治医科大学附属さいたま医療センターの診療科から選択します。
（「総合医学オープンコース」以外のプログラム・コースには、協力病院での研修も選択できる「オプション B」の研修期間があります。

研修医の処遇

給　与	1 年次：約 42 万円 / 月　2 年次：約 48 万円 / 月（時間外手当含む） 賞与（1 年次：約 42 万円 / 年　2 年次：約 67 万円 / 年）
諸 手 当	地域手当、医師手当、日当直手当、時間外手当、期末手当
保　険	日本私立学校振興・共済事業団（健康保険・年金）、雇用保険、労災保険
勤務時間	8 時 30 分～ 17 時 15 分
当　直	あり（約 4 回 / 月）
休　暇	有給休暇（1 年次：15 日、2 年次：20 日） 土・日曜日、祝日、年末年始、夏期休暇 等
宿　舎	あり

主な臨床研修協力病院 協力施設

- さいたま市民医療センター
- さいたま赤十字病院
- 埼玉精神神経センター
- 埼玉県立精神医療センター
- 順天堂越谷病院
- 大宮厚生病院
- 自治医科大学附属病院
- 秩父市立病院
- 国保町立小鹿野中央病院
- JCHO さいたま北部医療センター
- 秩父市大滝国民健康保険診療所
- 南魚沼市民病院

当院の魅力

総合医療と専門医療の一体化とその実践を目指します

自治医科大学附属さいたま医療センターは、さいたま市及びその周辺を含む埼玉県中央部における中核医療施設として市民病院的な役割を担っているとともに、大学病院として高度専門医療の提供も重要な責務としています。

開設当初は自治医科大学卒業生による総合診療の基幹病院としての役割と急性期循環器疾患に対する高度先進医療の提供を中心としていましたが、現在では全ての専門分野において最先端の高度医療を提供する施設となりました。しかし、設立目的の１つである総合医診療の実践と総合医の育成についての努力も脈々と続いており、大学病院では経験することの少ない所謂 Common diesease の診療も決しておろそかにすることはなく、また一方では大学病院として一般の市中病院では診られない稀有な疾患や最先端の技術を駆使した高度医療を必要とする症例に至るまでの多彩な疾患の診療にあたっております。

当センターでの研修は、長年の地域医療の経験に基づいた総合医療の基盤に立つ指導と、それに続く高度専門医療の研修を可能にしていることなど多くの特徴があります。中でもそれぞれの専門領域で第一線に立つ専門医が、本学の建学の精神に基づき、総合診療の重要性を理解してそれぞれの専門領域という壁を立てずに研修指導に当たっていることが最も大きな特徴です。

また、さらに良質な研修を提供できるように、意欲のある若い医師の期待に応える研修体制の改善に努力を続けております。

来年の春に皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

研修責任者から message

卒後臨床研修室長
菅原　斉

入職時には、シミュレーション、シャドーイング、電子カルテ、ICLS などの実習からなるきめ細かなオリエンテーションがありますので、臨床研修を円滑に開始できます。このような特色あるプログラムによって、「患者にとって最善をめざす総合医療」と「高度先進医療をめざす専門医療」の一体化とそれを実践する幅広い医学知識と技能を有し、深い人間性に基づいた優れた臨床能力を発揮できる医師を養成していきます。

これらの研修プログラムは、卒後３年目以降の専門研修プログラムとも連動しており、各専門医の取得だけでなく、大学院へ進学し、学位(医学博士)を取得することも可能です。

当センターの研修医は、全国から集まります。様々な情報を研修医間でも共有し、卒後臨床研修室との意見交換を通じて研修プログラムの見直しを行っています。

豊かな経験と業績をもつ指導医、教職員が皆さんの研修を支援します。

先輩研修医から message

研修医２年目
齊間　至成

当センター最大の魅力は、「研修医に対する教育がしっかりしていること」、この一言に集約されると思います。優秀で教育熱心な指導医が多く、手厚い指導を受けることができます。研修医が presentation をする機会が多く、Fujimoto 客員教授の来院時には英語で症例提示をする機会もあり、将来必要になるスキルが初期研修のうちに会得できる環境が整っています。

当センターは大学病院らしい要素だけではなく、市中病院らしい要素も持ち合わせています。救急外来では指導医の監督の下、研修医が主体的に診療しており、手技の機会にも恵まれています。初期研修医でこれほど手技が経験できる大学病院はさほど多くないと思います。

学閥や診療科の垣根が無い当センターで、医師として最初の一歩を踏み出しませんか。百聞は一見に如かず。是非見学にいらしてください。

女性医師支援コーナー

次世代を担う医師のキャリア形成が出産・育児等により中断されることがないよう就業継続のための短時間勤務制度があります。全職員対象の育児短時間勤務（所定勤務時間内において 30 分単位で 2 時間まで勤務時間を短縮）と、医師対象の短時間勤務（週 20 時間勤務。午前・午後をそれぞれ 4 時間とし、週 20 時間になるよう組合せ）があります。2019 年 12 月 1 日現在も 7 名の女性医師が短時間勤務制度を利用しています。また、職員の子の育児を支援するため、院内保育所、病児保育所を設けています。更に、育児中は（申請により）当直を免除するなど配慮しています。また、センター一丸となって、「医師の働き方改革」に取り組んでいます。

連絡先　**自治医科大学附属さいたま医療センター**

卒後臨床研修室

〒 330-8503　さいたま市大宮区天沼町１－８４７

TEL 048-648-5225（直通）　FAX 048-648-5166
E-mail rinshoukenshu2@omiya.jichi.ac.jp
URL http://www.jichi.ac.jp/center/sotsugo/index.html
アクセス JR 大宮駅東口からバスで約 10 分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

※レジナビフェアに埼玉県ブースで出展しています（３月、９月）。
※研修内容説明会を開催しています（７・８月）。
※病院見学は随時受け付けています。当センターホームページ（卒後臨床研修室のページ）をご覧ください。

33 北里大学メディカルセンター

病院の概要

- **医師数（研修医を除く）** 76 名（うち指導医数　24 名）
- **研修医数**　1 年目　4 名　2 年目　2 名
- **研修医の主な出身大学**　北里大学・名古屋大学
- **診療科**　内科　神経内科　呼吸器内科　消化器内科　循環器内科
  腎臓内科　内分泌・代謝内科　リウマチ膠原病内科　精神科
  小児科　外科　消化器外科　呼吸器外科　乳腺外科
  整形外科　形成外科　脳神経外科　皮膚科　泌尿器科　産婦人科
  眼科　耳鼻咽喉科　リハビリテーション科　放射線科　麻酔科　救急科　病理診断科(全 27 科)
- **1 日平均外来患者数**　712 名　● **1 日平均入院患者数**　234 名
- **主な認定施設**　災害拠点病院、埼玉 DMAT・埼玉 SMART（特別機動援助隊）指定病院、
  厚生労働省　臨床研修指定病院、日本医療機能評価機構認定病院、地域医療支援病院　ほか

研修プログラムの特色

臨床研修医が 2 年間に習得する必要のある「臨床研修の到達目標」を満たすとともに、各診療科の臨床研修の到達目標を定め研修医による自己評価と指導医による評価を行い適切、かつ、良質な研修を提供できるよう配慮しています。また、少人数制による密度の高い指導体制を敷いています。

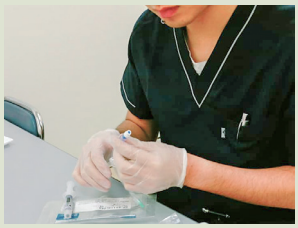
専門分化した医療技術を習得する前段階として、全人的な初期治療のできる臨床医を育成することを目標としており、特にプライマリ・ケアに重きを置き、救急医療疾患に広く対処できるような医師を目指します。また、法人の取り組みとしてのチーム医療教育ができるプログラムです。

2年次には自由選択枠があり､将来の専攻等を考慮し診療科及び研修先を各自で組み立てることができます。

臨床研修医が 2 年間に習得する必要のある「臨床研修の到達目標」を満たすとともに、各診療科の臨床研修の到達目標を定め研修医による自己評価と指導医による評価を行い適切、かつ、良質な研修を提供できるよう配慮しています。また、少人数制による密度の高い指導体制を敷いています。

専門分化した医療技術を習得する前段階として、全人的な初期治療のできる臨床医を育成することを目標としており、特にプライマリ・ケアに重きを置き、救急医療疾患に広く対処できるような医師を目指します。また、法人の取り組みとしてのチーム医療教育ができるプログラムです。

2 年次には自由選択枠があり､将来の専攻等を考慮し診療科及び研修先を各自で組み立てることができます。



プログラム　例　北里大学メディカルセンター臨床研修プログラム（募集定員 8 人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目	内　科						救急部門			麻酔科	外　科	小児科
2 年目	産婦人科	精神科	地域医療	自由選択								

○1 年次
内科 24 週、救急部門 12 週（うち麻酔科 4 週）、自由選択（4 週）、外科（4 週）、小児科（4 週）
○2 年次
産婦人科（4 週）、精神科（4 週）、地域医療（4 週）、自由選択（40 週）
　自由選択枠については、当院を含め北里大学病院、北里大学北里研究所病院及び東京ベイ浦安市川医療センターの各診療科において、希望の診療科と調整の上決定します。将来の専攻等を考慮し診療科及び研修先を各自選択することができます。

研修医の処遇

給　与	1 年次：約 30 万円／月　2 年次：約 33 万円／月
諸 手 当	時間外手当、住宅手当、宿日直手当、救急手当等
保　険	私学共済保険、私学共済年金、労災補償保険、雇用保険
勤務時間	8 時 30 分～ 17 時
当　直	あり（3～4 回／月程度）
休　暇	日曜日、祝日、第 2・第 4 土曜日年末年始（12 月 29 日～ 1 月 3 日） 創立記念日（11 月第一土曜日）有給休暇 :1 年次　12 日　2 年次　16 日 夏季 5 日、その他慶弔時
宿　舎	あり (自己負担：1 万円 + 電気代)
そ の 他	奨励金：年 2 回支給 1 年次　20 万 円（上限額）2 年次　40 万 円　（上限額）

主な臨床研修協力病院 協力施設

- 北里大学病院
- 北里大学 北里研究所病院
- 埼玉県済生会鴻巣病院
- 東京ベイ・浦安市川医療センター
- 渡辺医院
- サンビレッジクリニック鴻巣

当院の魅力

スキルアップ支援とコミュニケーションの充実

当院では医師を中心に様々なメディカルスタッフの協力により、研修医のスキルアップに重要な勉強会を多数開催しています。職種間の垣根も低いので多職種とのコミュニケーションがとりやすい環境です。職種をこえて研修をサポートします！

例）輸液療法・ルート・ポンプの扱い方（主催：看護部）
日本肝癌研究会提唱の肝細胞癌診断アルゴリズム（主催：放射線部）
検査技師による採血指導（主催：検査部）
血液像の読み方（主催：検査部）
抗菌療法のＡＢＣ（感染対策室）・・・等々

全診療科が同じ医局を使用しており、そこに研修医の机を配置することで、診療科の垣根を越えたコミュニケーションがとりやすい環境です。上級医との信頼関係も築きやすく、「相談しやすい・コミュニケーションがとりやすい」と研修医から好評です。

医局とは別に「臨床研修医室」も設けているため研修医だけの環境もあり、適宜自分の時間を確保できるよう配慮しています。

研修責任者から message

臨床研修センター長
長場　泰

大学病院 VS 市中病院、多くの医学生がまず最初に悩むことです。北里大学メディカルセンター（地域支援病院）は、埼玉県県央地区の中核的医療施設として機能しており、北里大学の分院として、大学本院（特定機能病院、相模原市）と北里研究所病院（都市型救急病院、東京白金）との連携を行い大学病院的な医療と地域医療をバランスよく研修することが可能なプログラムを提供しています。3病院の自由選択期間（2年目の6か月間）を設けることにより、プライマリケアから高度先進医療まで、希望する研修を行うことが可能です。また北里大学は薬学部、看護学部、医療衛生学部などを有する医療系総合大学であり診療科や職種を超えたチーム医療を重視しています。「市中病院も大学病院もどちらも経験できる研修プログラム」そんなうまい話がと思ったあなた、ぜひ当院へ見学に来てください。

先輩研修医から message

研修医 1 年目
小川　大輔

当院は埼玉県央地区の拠点病院として様々な common disease を経験できると同時に、北里大学の関連施設であるため専門的な検査や治療を必要とする疾患も診ることができます。研修プログラムは自由度が高く、北里大学病院においても研修することができ、自分の希望に沿った研修をすることが可能です。中規模病院であり、各科の医師同士・コメディカルスタッフ間の距離が非常に近く、様々な方面からたくさんの指導を受けられとても力がつきます。

医局では診療科を超えて症例について相談し合う場面が多くあり大変勉強になります。研修医が少ない分、多くの症例を経験でき、手技も遅れをとりません。

地域に根付いたアットホームな雰囲気の当院で、優しいスタッフと一緒に医師生活をスタートさせましょう！一同心よりお待ちしております。

女性医師支援コーナー

○保育園「オレンジハウス」
豊かな自然環境を背景に自由保育思想を取り入れ、のびのびと子供の個性を育む保育園「オレンジハウス」。子供の成長に合わせた教育システムや多彩な年間行事も充実。仕事と家庭生活の両立を図る当院スタッフの力強い支えとなっています。
夜勤の仕事に携わる職員の要請に応じ、週２回の夜間保育も実施。安心して仕事が継続できるよう、バックアップ体制も万全です。
○病児保育室あり　　定員：3 名

連絡先　**北里大学メディカルセンター**

人事課　人事・教育研修係

〒 364-8501　北本市荒井 6-100

TEL 048-593-1212（代表）　FAX 048-593-1239
E-mail k-rinsho@kitasato-u.ac.jp
URL http://www.kitasato-u.ac.jp/kmc-hp/
アクセス JR 高崎線北本駅からバス約 15 分位

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

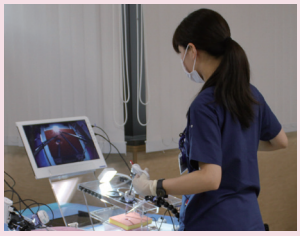
※病院見学　随時受付中です。　いつでもお気軽にご連絡下さい。

34 埼玉医科大学病院

病院の概要

- **医師数（研修医を除く）** 385 名（うち指導医数　147 名）
- **研修医数**　1 年目　32 名　2 年目　32 名
- **研修医の主な出身大学**　埼玉医科大学・秋田大学・東京大学・日本大学・杏林大学・金沢医科大学・島根大学・愛知医科大学・藤田医科大学・大分大学
- **診療科**　血液内科　リウマチ膠原病科　呼吸器内科　消化器内科・肝臓内科、内分泌内科・糖尿病内科　脳神経内科・脳卒中内科　腎臓内科　総合診療内科　感染症科・感染制御科　消化器・一般外科　乳腺腫瘍科　小児外科　麻酔科　小児科　新生児科　産科・婦人科　整形外科・脊椎外科　眼科　耳鼻咽喉科　神経耳科　皮膚科　脳神経外科　形成外科・美容外科　泌尿器科　リハビリテーション科　神経精神科・心療内科　放射線科　放射線腫瘍科　核医学診療科　中央病理診断部　輸血・細胞移植部　健康管理センター　東洋医学診療科　歯科・口腔外科　急患センター（ER）
- **1 日平均外来患者数**　1765 名　**1 日平均入院患者数**　798 名
- **主な認定施設**　日本医療機能評価機構認定病院、特定機能病院、肝疾患診療連携拠点病院、エイズ診療拠点病院、災害拠点病院

研修プログラムの特色



３病院自由選択プログラムは、ローテーションする診療科について”自由度が高く、研修医の希望を最大限に取り入れる”当院で最も人気のあるプログラムです。本学の違った特色を持つ３つの大学病院（総ベッド数 2,500 床）の診療科で自由に研修を行うことができる、オーダーメイドプログラムです。研究マインド育成自由選択プログラムは、３病院自由選択プログラムと臨床研修内容は一緒ですが、研修を行うと同時に大学院に入学することが可能で研修を行いながら、大学院生としての講義、研究を行う充実したプログラムです。総合医育成広域連携病院自由選択プログラムは、総合医を目指す研修医に適したプログラムです。バランスよく診療科を経験でき、プライマリケア医としての対応能力に優れた”総合医”の育成を目指します。周産期・成育医療専門医自由選択プログラムは、将来周産期医療・成育医療を専攻する希望のある研修医を対象に、自由選択期間を最大限に活用した特別プログラムです。将来の専門医取得にも有利な、より専門的な内容まで踏み込んだ指導を行います。外科系プログラムは、外科専門医取得に重点をおき消化器外科は必須として心臓外科、呼吸器外科、乳腺外科、小児外科での研修を選択できるプログラムです。今後の専門医に向けた後期研修にスムーズに移行できるプログラムを目指しています。

プログラム　例　埼玉医科大学 3 病院自由選択プログラム（募集定員 38 人）

	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
1年目▶	導入研修	内科研修						救急研修			外　科	小児科	産婦人科
2年目▶	精神科	地域医療	自由選択研修										

○1 年目　必修研修として内科 24 週、救急部門 12 週、外科、産婦人科、小児科、精神科各々 4 週
○2 年目　地域医療研修 4 週、それ以外 44 週は自由選択研修（最終月は埼玉医科大学病院において研修）
その他　**埼玉医科大学病院　研修マインド育成自由選択プログラム（募集定員 5 人）、埼玉医科大学総合医育成広域連携病院自由選択プログラム（募集定員 6 人）、 周産期・成育医療専門医自由選択プログラム（募集定員 4 人）、埼玉医科大学病院　外科系プログラム（募集定員 2 人）**

研修医の処遇

給　　与	約 25 万円 / 月
諸 手 当	日当直手当、時間外手当
保　　険	公的医療保険、公的年金、労災保険、雇用保険
勤務時間	8 時 30 分～ 17 時 30 分
当　　直	あり　4 回 / 月（診療科により、多少異なります）
休　　暇	原則、1 月 9 休制の 1 ヶ月単位の変形労働制、有給休暇（1 年 :10 日、2 年次 :11 日）
宿　　舎	あり
そ の 他	白衣貸与（クリーニングは病院負担）、研修医個人専用の机、ロッカー、シャワールーム，仮眠室完備、電子カルテ、共用 PC（インターネット接続可能）

主な臨床研修協力病院 協力施設

- 長崎県 6 施設
- 北海道 2 施設
- 新潟病院
- たむら記念病院（千葉県）
- 越生メディカルクリニック
- 小川産婦人科・小児科
- 新渡戸記念中野総合病院（東京都）
- 丸木記念福祉メディカルセンター
- シャローム病院

当院の魅力

環境の整った施設でより良い研修を

埼玉医科大学は埼玉県の西部を中心とした地域の医療を担っていると同時に、特定機能病院として埼玉県全域の医療も担当しています。埼玉県は東京都に隣接しており、人口も 734 万人を数え首都圏に位置し多くの患者さんが来院されます。大学病院の専門性の高い疾患からプライマリケアまで、多くの疾患を経験できるという特徴があります。埼玉医科大学病院には専門医制度にマッチした総合診療内科やアイセンター、てんかんセンター、難病外来等特徴のある診療科も充実しています。また、24 時間管理人が常駐する研修医寮がリニューアルされるなど研修医の為の施設も充実しています。より良い環境豊かな自然と 1 時間で都内へ行けるアクセスの良さで研修が可能です。埼玉医科大学 3 病院で 2,500 床、さらに 3 病院の連携の良さは皆さんに最高の研修を提供いたします。皆さんは、この 3 病院から自分の目的に合った診療科での研修に取り組むことができます。熱心な指導医が多くいのも自慢です。

研修責任者から message

研修管理責任者
申元　秀友

研修医諸君！埼玉医科大学病院は君たちを待っています！

初期研修の目的は「患者さんを全人的に診療する為の基本的な能力を身につけ、プライマリケアに対応できる総合診療能力を養う」事にあります。初期臨床研修に携わる 2 年間は将来の臨床医としての能力を左右する、最も重要な期間です。埼玉医科大学病院は、地域に根ざした重要な基幹病院であり、たくさんの患者さんが来院されます。また大学病院として、最先端の医療を実践しています。そしてたくさんの指導医が、熱心に研修医諸君の臨床研修、研究等に協力してくれます。豊富な症例と熱心な指導医の下、充実した臨床研修が出来る事を保証します。確実に実力がつく研修施設なのです。また緑あふれる自然と 1 時間で東京に行けるアクセスの良さは、最高の研修環境を提供してくれます。セキュリティー完備の研修室には研修医の皆さんに専用のデスク，ロッカー、当直室、シャワールーム等が完備されています。

是非とも一度見学に来てください。お待ちしております。

先輩研修医から message

研修医２年目
小原　祥

私は他大学卒業後、当院で初期研修を行っております。自分以外にも様々な大学出身の研修医が在籍しており、他大学出身の自分でもすぐに馴染めて研修生活をスタートすることができました。当院は埼玉県全域の医療を担っており、高度な医療はもちろん common disease も診療することができるため、豊富な症例を経験することが可能です。また、埼玉医科大学関連の 3 病院から自由に研修プログラムを選択することができ、自分に合わせたカリキュラムで研修をすることが可能です。先生方も大変熱心に指導して下さり、分からないことがあればいつでも相談できる体制が整っております。当院から東京へのアクセスも良好でありながら自然溢れる静かな環境であるため、研修をするには最高の環境であるといえます。是非一度当院を見学してみてください。

女性医師支援コーナー

埼玉医科大学病院では、女性医師ひとりひとりのワークとライフを尊重し、短時間勤務で正規雇用と同等の処遇で働ける制度や日直、当直を免除する制度があります。また、女性医師に関する情報提供、アンケートの実施、シンポジウム開催等の活動を行っています。院内には保育園を設置しており、延長保育にも対応していますので、安心してお子様を預けて仕事をすることができます。さらに、出産、育児、介護のために休業予定の医師に対して復職に必要な情報を提供し、医師として働き続けたい女性をサポートする目的で、女性医師就業継続支援窓口を設け担当者を配置しています。女性サポートに関する相談であれば、男性の相談も受け付けています。

連絡先　**埼玉医科大学病院**

臨床研修センター事務室

〒 350-0495　入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

TEL　049-276-1862（直通）　FAX　049-276-2149
E-mail　kenshui@saitama-med.ac.jp
URL　http://www.saitama-med.ac.jp/hospital/index.html
アクセス　JR 八高線毛呂駅から徒歩 3 分・東武越生線東毛呂駅からバス 5 分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●病院見学（随時受付）
当院ホームページに掲載の見学申込書をダウンロードの上、必要事項を記入し、見学希望日 2 週間前までに臨床研修センター事務室へＥ - ｍａｉｌ（添付）又は郵送でお申込み下さい。

35 埼玉医科大学総合医療センター

病院の概要

- **医師数（研修医を除く）** 400 名（うち指導医数　135 名）
- **研修医数**　1 年目　30 名　2 年目　25 名
- **研修医の主な出身大学**　埼玉医科大学・岩手医科大学・金沢医科大学・帝京大学・杏林大学・東京大学・弘前大学・藤田保健衛生大学・山梨大学・日本大学・島根大学・昭和大学
- **診療科**　消化器・肝臓内科　内分泌・糖尿病内科　血液内科　リウマチ・膠原病内科　心臓内科　呼吸器内科　腎・高血圧内科　神経内科　神経精神科（メンタルクリニック）　小児科　新生児科
  消化管外科・一般外科　肝胆膵外科・小児外科　血管外科　ブレストケア科　呼吸器外科　心臓血管外科　整形外科　形成外科・美容外科　脳神経外科　皮膚科　泌尿器科　産婦人科　産科　眼科　耳鼻咽喉科　リハビリテーション科　放射線科　歯科口腔外科　麻酔科　産科麻酔科　高度救命救急センター　救急科（ER）
  総合診療内科 / 感染症科・感染制御科　輸血・細胞治療部　病理部
- **1 日平均外来患者数**　2128 名　**1 日平均入院患者数**　792 名
- **主な認定施設**　高度救命救急センター、総合周産期母子医療センター、災害拠点病院、災害派遣医療チーム埼玉 DMAT 指定病院、がん診療連携拠点病院、臨床修練指定病院

研修プログラムの特色

当院では病院の特性を活かし、日常的に遭遇する common disease から専門性の高い疾患のマネージメントまで幅広い研修ができるように工夫しています。研修プログラムは、研修医自身が自由にプログラムを組むことができる『埼玉医科大学 3 病院自由選択プログラム』、臨床研修と大学院コースを同時に学べる『研究マインド育成自由選択プログラム』、小児科・産婦人科等での研修を重視した『周産期成育プログラム』があります。

4 月の導入研修（オリエンテーションを含む）では、内科病棟を中心に診療に必要な基本的姿勢、手技を身につけます。内科・救急研修では、時間外外来を経験し、一次から三次まで幅広く救急医療に従事することでプライマリ・ケアに必要な基本的技能を修得することが可能です。地域医療研修では全プログラムで沖縄県での研修を選択することが出来ます。また、2 年目に高度救命救急センターでの研修を選択した場合には、希望があればドクターヘリに搭乗することも可能です。

毎月 1 回の CPC の他に、ランチョンセミナーも月に 2 回開催（2020 年度より毎週開催予定）し、必修項目に関連した講義を行っています。

プログラム　例　埼玉医科大学 3 病院自由選択プログラム（募集定員 50 名）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目 ▶	導入研修	内　科						救　急		麻酔科		小児科
2 年目 ▶	産婦人科	精神科	地域医療	外　科	自由選択							

○必修
内科 24 週、救急 8 週、麻酔科 8 週、外科 4 週、小児科 4 週、産婦人科 4 週、精神科 4 週、地域医療 4 週（2 年目）
○自由選択
2 年目の 40 週（地域医療 8 週の場合は 36 週）は、どの診療科、施設で研修するか、研修期間を含めて研修医自身が選択出来る
その他　周産期成育プログラム（募集定員 6 名）、研究マインド育成自由選択プログラム（定員 4 名）

研修医の処遇

給　　与	基本給 25 万円 / 月
諸 手 当	宿日直手当、時間外手当
保　　険	日本私立学校振興・共済事業団
勤務時間	原則 8 時 30 分～ 17 時 30 分
当　　直	あり（平均 4 回 / 月）
休　　暇	有給休暇（初年度 10 日）
宿　　舎	あり（月額 2 万円）

主な臨床研修協力病院 協力施設

- 埼玉医科大学病院
- 埼玉医科大学国際医療センター
- 沖縄県立北部病院（附属診療所含む）
- 沖縄県立宮古病院（附属診療所含む）
- 秩父病院
- 恵愛病院
- 富家病院　　他

当院の魅力

大学病院から離島まで

埼玉医科大学総合医療センターは、最先端の設備の中で平成 19 年には埼玉県よりドクターヘリ基地病院、平成 28 年には小児救命救急センターの指定を受けた地域基幹病院として高度な医療を提供し地域医療に貢献するのみならず、埼玉医科大学病院群の中では"Super General Hospital"と位置づけられ、診療のみならず大学病院として教育、研究に関しても優れた成果をあげています。

高度救命救急センター新棟を始め、外来化学療法センター、血液浄化センター、内視鏡センター、無菌室病棟などを新設し、病棟も順次改修工事を進めており、最新の設備で充実した研修を行うことが出来ます。

地域医療研修では、沖縄県立北部病院（同附属診療所を含む）、沖縄県立宮古病院（同附属診療所を含む）での研修を 2 ヶ月間選択することができます。（往復の交通費及び宿泊費（上限あり）の補助があります。）実際に研修した先生方からは、大学病院とは大きく異なる環境で研修することで、とても勉強になったと好評です。

小江戸川越は古い街並みを残す歴史のある落ち着いた都市です。都内から近いこともあり近年多くの観光客で賑わっています。伝統と都会的な新しい感覚が混じった川越で研修医としての 2 年間をスタートしてみませんか。

研修責任者から message

研修管理委員長
木崎　昌弘

埼玉医科大学総合医療センターは、歴史あふる小江戸川越に位置する病床数 1,053、1 日外来患者数 2,000 名超、36 診療科に総合周産期母子医療センター、高度救急救命センター及び小児救命救急センターを有する県内最大の医療施設です。診療とともに教育、研究にも力を入れており、初期臨床研修では最新鋭の医療機器の導入による大学病院としての機能を十二分に発揮した先端医療から、common disease を中心とした地域医療まで幅広い疾患を学ぶことができます。私どもは、臨床研修の目標を「日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリー・ケアの基本的診療能力を身につける」ことを基本とし、その上でさらなる専門教育を行なっています。全診療科に研修指導責任者をおき、個々の研修医にはお兄さん、お姉さん役のチューターを配することにより、日常の悩みから効果的な研修などの適切なアドバイスを行い、研修目標が到達できるように支援しています。また、昨年より、研修管理委員会に研修医や若い先生方を委員として加え、研修医の生の声を反映できるような研修システムを作るように心がけています。

2 年間の研修中には、人気の沖縄離島研修も組み込まれていますので、大学病院から離島までの幅広い医療の現場を体験することが可能です。私どもは研修医の先生方ひとりひとりを大切に育て、次世代の我が国の医療を担う人材を育てたいと考えています。研修医として多くの方々がわれわれの門戸を叩いてくれることを心より歓迎いたします。

先輩研修医から message

研修医 1 年目
高橋　久一郎

埼玉県内で初期研修を考えていた私は、①１症例１症例をしっかり消化し自分の物にしたい②自分の治療方針やアセスメントを上級医にキチンと評価してもらいたい③じっくりやりたいけど症例数も積み重ねたい、という３つの理由で総合医療センターを軸に３病院自由選択プログラムを選択しました。

同じ診療科と言えども３病院でその特徴・社会的役割は異なるため、自分の達成したい目標に応じて各病院の診療科を選択できる事は私にとってとても有意義なものでした。

当院は大学病院としての academic な側面はもちろんのこと、市中病院としてカバーする医療圏の広さと患者数の多さから、多岐にわたる common disease を経験する事が出来ます。

また、経験豊富な上級医から丁寧な指導を受けられるため、短期的な治療方針だけでなく、長期的な治療方針についてもディスカッションする事が可能です。

研修医は 60 人前後と多いですが、疾患に対する治療方針・その日にしてしまった間違いや経験した貴重な症例・他科の様子・手技の上手なやり方など、１人では得られない多くの情報を得ることが出来ます。

幅広く症例を経験し消化不良とならないようしっかりとステップアップするために、当院での初期研修をお勧めします。

女性医師支援コーナー

○当院では子育て支援の一環として、非常勤Ⅰ類制度（短時間勤務）を設けており、女性医師の働きやすい環境を支援しています。産前産後の休暇はもちろんのこと、日直、当直の免除や短時間勤務を利用しながら、安心して子育てと研修ができるようサポートしています。

○院内には保育所（定員 80 名）を設置しており、保育士は 25 名以上在籍してますので安心して預けられます。

○女性医師就業継続支援窓口（医療人育成支援センター女性医師部門）を設けています。

連絡先　埼玉医科大学総合医療センター

臨床研修センター

〒 350-8550　川越市鴨田 1981

TEL　049-228-3802（直通）　FAX　049-228-3802
E-mail　kensi@saitama-med.ac.jp
URL　http://www.kawagoe.saitama-med.ac.jp/resident/
アクセス　東武東上線、川越線　川越駅からバス 25 分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●病院見学は随時受け付けています。
当院ホームページに掲載の申込書に入力し、メールに添付してお申込み下さい。

36 埼玉医科大学国際医療センター

JCEP
Japan Council for Evaluation of Postgraduate Clinical Training
卒後臨床研修評価機構
認定病院

病院の概要

- **医師数（研修医を除く）**292 名（うち指導医数　132 名）
- **研修医数**　1 年目　5 名　2 年目　12 名
- **研修医の主な出身大学**　埼玉医科大学・山形大学・山梨大学・金沢大学・ハンガリー国立デブレツェン大学
- **診療科**　脳脊髄腫瘍科　小児腫瘍科　小児外科　造血器腫瘍科　婦人科腫瘍科　泌尿器腫瘍科　乳腺腫瘍科　皮膚腫瘍科　骨軟部組織腫瘍科　頭頸部腫瘍科　形成外科　原発不明・希少がん科　支持医療科　精神腫瘍科　放射線腫瘍科　病理診断科　消化器内科　消化器外科　呼吸器内科　呼吸器外科　心臓内科　不整脈科　心臓血管外科　小児心臓外科　小児心臓科　心臓リハビリテーション科　救命救急科　総合診療地域医療科　脳卒中内科　脳卒中外科　脳血管内治療科　画像診断科　核医学科　運動呼吸器リハビリテーション科　麻酔科　集中治療科
- **1 日平均外来患者数**　734.6 名　● **1 日平均入院患者数**　660.1 名
- **主な認定施設**　JCI 認定施設、日本医療機能評価機構認定病院、心臓移植実施施設、がん診療連携拠点病院、埼玉県災害拠点病院、災害派遣医療チーム埼玉 DMAT 指定病院　他

研修プログラムの特色

当院のプログラムの最大の魅力は大学病院と市中病院の「良いとこどり」ができることです。埼玉医科大学病院および埼玉医科大学総合医療センターのほか、11 の協力型臨床研修病院で研修をすることができ、将来ジェネラルとしても、エキスパートとしても医療現場で活躍できるよう指導を行っています。

○ 3 病院自由選択プログラム（定員 12）：到達目標の達成を念頭に置きながら研修医が自由に診療科を選択することができる、もっとも自由度が高いプログラムです。

○特設外科系プログラム（定員 2）：多彩な症例を通じて多くの手術症例を経験し、手技を積極的に学び、適切な判断ができる外科系医師を育成することを第 1 目標とするプログラムです。最短期間で外科専門医を取得できるように調整することもできます。

○研究マインド育成自由選択プログラム（定員 2）：臨床研修と大学院を同時期に学べるプログラムで、学位を卒後 4 年目、もしくは 5 年目終了時に取得できるプログラムです。研修開始時には大学院の入学試験に合格しておく必要があります。

プログラム　例　埼玉医科大学 3 病院自由選択プログラム（募集定員 12 人）

	1 ～ 4 週	5 ～ 8 週	9 ～ 12 週	13 ～ 16 週	17 ～ 20 週	21 ～ 24 週	25 ～ 28 週	29 ～ 32 週	33 ～ 36 週	37 ～ 40 週	41 ～ 44 週	45 ～ 48 週	49 ～ 52 週
1 年目	導入	内科						救急			産婦人科	小児科	外科
2 年目	精神科	自由選択科			地域医療			自由選択科					

○導入：当院でオリエンテーションを兼ねて研修を行う。　○内科：24 週以上の研修とする。　○救急：12 週以上の研修とする。麻酔科 4 週（上限）、救急 8 週の組み合わせ研修も可能とする。　○外科、産婦人科、小児科、精神科：4 週以上の研修とする。　○地域医療：8 週以上（一般外来 4 週含む）の研修とする。
○自由選択：当院並びに協力型臨床研修病院、臨床研修協力施設より選択できる。
○ 2 年次の最後の 4 週は当院で研修とする。　○臨床研修協力施設での研修は 2 年次以降とする。　○ 2 年間の研修期間のうち、当院での研修は 52 週以上とする。なお、地域医療や保健・医療行政での研修期間 12 週を上限に、当院での研修と見做すものとする。
○その他　埼玉医科大学国際医療センター特設外科系プログラム（定員 2 名）　埼玉医科大学国際医療センター研究マインド育成自由選択プログラム（定員 2 名）

研修医の処遇

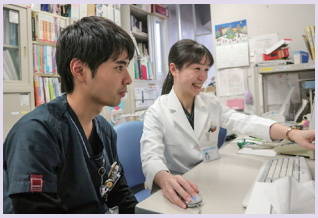
給　与	基本給 25 万円 / 月
諸 手 当	日当直手当・時間外手当
保　険	健康保険：日本私立学校振興・共済事業団、年金：日本私立学校振興・共済事業団、雇用保険：加入、労災保険：加入、医師賠償保険：個人加入
勤務時間	8 時 30 分～ 17 時 30 分
当　直	あり :4 回 / 月（診療科により、多少異なります）
休　暇	9 回 / 月（変形労働時間制）。有給休暇（1 年次 :10 日、2 年次 :11 日）
宿　舎	あり（月額 2 万円、光熱水費、駐車場代、リネンサービス込）
そ の 他	白衣貸与（クリーニングは病院負担）、研修医室あり

主な臨床研修協力病院 協力施設

【協力型臨床研修病院】
- 相澤病院
- 国立病院機構埼玉病院
- さいたま市立病院
- 熊谷総合病院
- 新久喜総合病院
- 行田総合病院
- 西埼玉中央病院
- 小川赤十字病院
- 足利赤十字病院
- 横浜市立市民病院
- 立川綜合病院

当院の魅力

専門研修に連動した初期研修



○症例の質・量ともに抜群の研修環境

埼玉県全域を範囲とし、がん、心臓病・脳卒中に対する高度専門医療に特化し、かつ高度の救命救急医療を提供しています。埼玉西部地区の地域医療の最後の砦を目指していますので、大学病院でありながら地域医療も担っています。このため豊富な症例を経験することができます。

○国内屈指のスペシャリスト集団による指導が初期研修から受けられる

臨床能力の優れた医師が多数在籍しているため、初期研修のうちから一流の診療に携わることができます。また、7 領域（内科、外科、麻酔科、脳神経外科、放射線科、病理、救急）で専門研修基幹施設認定を受けており、初期研修から専門医取得を見越して研修することができます。

2019 年 9 月には本邦で初めて低侵襲手術ロボットシステム「センハンス・デジタル・ラパロスコピー・システム」を導入いたしました。

○すべての救急を短期間で効率よく診ることができる

当院は三次救急施設の認定を受けておりますが、すべての救急搬送を受け入れ、24 時間体制で治療にあたっています。

内科系、外科系共に国内屈指の症例数があり、世界に引けを取らない最先端医療が整っていることが最大のポイントです！

研修責任者から message

研修管理委員長
林　　健

当院は、がん、心臓病、脳卒中を含む救命救急の診療に特に力を入れており、全国屈指の症例数と高度医療の提供を行っております。ICU/HCU が 96 床あることからもわかるように、重症患者が多く、初期研修で特に重要な重症患者の全身管理を学ぶのに適した環境にあります。また、救急の応需率はほぼ 100% でして、断らない救急を経験して力をつけるのにぴったりです。

高度な医療を経験するとともに、多くの施設と協力して common disease を経験する場も十分確保しています。病院全体が研修医を育てて行こうという空気に満ちています。

国際水準の高度医療を提供する、いわば「世界を知る病院」です。若い時からこのような施設で研修することは、そのキャリアに必ず役に立つと思います。専門医取得からその先、さらに海外留学等まで見据えて育てていきます。当院に是非いらしてください。

先輩研修医から message

研修医 1 年目
渡邉　隆一

国際医療センターで、臨床実習を行った際に、研修医の意識、向上心の高さを見て、この環境で研修したらたくさんの刺激をもらえると思い、国際医療センターで研修することを決めました。また、先輩研修医から、レポート提出についてお伺いしたときに、指導医からの手厚い添削を見せていただき、教育環境としても優れていて、真剣に取り組めば知識もしっかりと身についていくと思い、研修医になる前に抱いていた、不安もなくなりました。

実際に研修をしていても、全国各地から、たくさんの医師が勤務しているので、幅広い知識や情報を得ることができます。また Speciality に特化している病院であるため、研修医のうちから各分野の全国トップクラスの医療を経験することができます。それにより、自分自身の学習意欲の刺激になります。また本学 3 病院を自由に選択でき、協力型臨床研修病院・臨床研修協力施設も豊富ですので、自分の考えで、自分の理想の研修をすることができます。ぜひ私たちと、充実した 2 年間を過ごしましょう。

女性医師支援コーナー

当院では、女性医師がキャリアを続けていける制度が充実しています。

医師の約 1/3 を女性が占める時代、その活躍を支援するため、産前・産後並びに育児休暇の取得後、一定の育児期間中は当直の免除や短時間勤務など柔軟に働くことが可能です。

また、院内託児所も整備されており、子供を預けながら臨床業務や研究に集中して取り組むことができます。

さらに、医師として働き続けたい女性をサポートする目的で女性医師就業継続支援窓口（医療人育成支援センター内）を設け、出産、育児、介護のために休業予定の医師に対して復職に必要な情報等の提供を行っています。

連絡先　**埼玉医科大学国際医療センター**

臨床研修センター

〒 350-1298　日高市山根 1397-1

TEL　042-984-0079（直通）　FAX　042-984-0594

E-mail　imckensh@saitama-med.ac.jp

URL　http://www.saitama-med.ac.jp/kokusai/kenshu/

アクセス　JR 川越線・八高線　高麗川駅（路線バス約 10 分）
東武越生線　東毛呂駅（路線バス約 15 分）

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●病院見学は随時可能です。

臨床研修センターの HP より見学申込書をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、見学希望日の 2 週間前までに臨床研修センターへ E-mail（添付）でお申し込みください。見学希望日 2 週間前を過ぎた場合は、臨床研修センターへ電話してください。

埼玉県 臨床研修病院 ガイドブック　2020

■編集・発行
埼玉県保健医療部医療人材課　医師確保対策担当
〒330-8777 さいたま市中央区新都心 1－2
県立小児医療センター南玄関 8 階
TEL：048-601-4600　FAX：048-601-4604
E-mail：a3560-02@pref.saitama.lg.jp

令和 2 年 3 月発行

ホームページ　http://kobaton-med.jp/　コバトンドットメド　検　索